オキページプリンタ

OKI

MICROLINE 22NR

ユーザーズマニュアル　（応用編）

◯このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。
　プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
◯本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル(本書)をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告	
	プリンタ内部の安全スイッチに触れないでください。 高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。 プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。

⚠警告

	プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、プリンタケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。
	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。

⚠注意

	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。 ケガをするおそれがあります。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE 22NR → ML22NR
- Microsoft® Windows® XP operating system日本語版 → WindowsXP
- Microsoft® Windows® Server 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0日本語版 → WindowsNT4.0
- WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows95、Windows2000、Server2003、WindowsNT4.0、の総称→Windows
- マルチパーパスフィーダ → MPF
- 拡張給紙ユニット → トレイ2、セカンドトレイ
- PostScript3エミュレーション→PSE、POSTSCRIPT3エミュレーション、POSTSCRIPT3 EMULATION
- Windows Server 2003の場合は、[プリンタ]の部分を[プリンタとFAX]と読み替えてください。

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

諸注意

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

高調波規制について

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

商標について

MICROLINEは株式会社沖データの商標です。
Microsoft、Windows、WindowsNTは、米国Microsoft Corporationの米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、MacOS、LaserWriterおよびTrueTypeは、米国Apple Computer Inc.の米国及び、その他の国における登録商標または商標、商品名です。
OKIは沖電気工業株式会社の登録商標または商標です。
PostScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標、または商標です。
ESC/Pはセイコーエプソン社の登録商標または商標です。
平成明朝体W3、平成角ゴシック体W5は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可無く複製することはできません。
その他各社名，製品名は各社の登録商標または商品名です。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

以下に記載されているものは、お客様がプリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

お客様へのお願い

プリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に、この本契約書を必ずお読み下さい。
お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却して下さい。

株式会社沖データ(以下「沖データ」といいます)は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア(ただし、Adobe Readerは除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます。)を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

本ソフトウェアに含まれているWindows Me/98用 PostScript®プリンタドライバ、およびそれに関連する説明資料(以下総称して、「マイクロソフトソフトウェア」といいます。)は、米国ワシントン州法に準拠して設立され、米国ワシントン州(One Microsoft Way, Redmond, WA 98052-6399)に本店を置くMicrosoft Corporation(マイクロソフト社)からのライセンスに基づいて沖データが提供するものです。

1. 使用範囲
お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを1部複製することができます。

2. 財産権および義務
(1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
(2) 第1条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
(3) お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
(4) お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。
(5) お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
(1) お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
(2) お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
(3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
(1) 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
・第三者の権利を侵害していないこと。
・特定の目的に適合していること。
(2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為(過失を含むがこれに限定されない)に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 準拠法
本契約中のうち、マイクロソフトソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め、米国ワシントン州法を準拠法とし、マイクロソフトソフトウェアを除く本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。

7. 契約の有効性
本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

8. 輸出管理
本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

9. 完全な合意
お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

10. Notice to U.S. Government End Users（米国政府機関のエンドユーザへの注意）
All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued on or after December 1, 1995 is provided with the commercial license rights and restrictions described elsewhere herein. All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued prior to December 1, 1995 is provided with "Restricted Rights" as provided for in FAR, 48 CFR 52.227-14 (JUNE 1987) or DFAR, 48 CFR 252.227-7013 (OCT 1988), as applicable.
本条項中で使用される"Software"とは、本契約中で定義される本ソフトウェアを指すものとします。

＊＊＊＊＊

なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

※Adobe Reader の使用について
Adobe Readerは沖データがアドビシステム社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様はAdobe Readerに含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステム社からAdobe Readerの使用を許諾されることになります。

目　次

1 Windows ソフトウェア

Windowsスクリーンフォント

WindowsMe/98/95

プリンタドライバをインストールするだけで、プリンタに搭載されている和文フォント名と欧文フォント名(136書体中42書体)がアプリケーションのフォントリストに表示されます。Windowsスクリーンフォントは添付されませんが、画面上ではWindowsのシステムがデザインの近いフォントを選んで表示します。

欧文フォント42書体	
AvantGarde	Lubalin Graph
AvantGarde,BOLD	Lubalin Graph,BOLD
AvantGarde,BOLDITALIC	Lubalin Graph,BOLDITALIC
AvantGarde,ITALIC	Lubalin Graph,ITALIC
Bookman	NewCenturySchlbk
Bookman,BOLD	NewCenturySchlbk,BOLD
Bookman,BOLDITALIC	NewCenturySchlbk,BOLDITALIC
Bookman,ITALIC	NewCenturySchlbk,ITALIC
Courier	Palatino
Courier,BOLD	Palatino,BOLD
Courier,BOLDITALIC	Palatino,BOLDITALIC
Courier,ITALIC	Palatino,ITALIC
Helvetica	Times
Helvetica Condensed	Times,BOLD
Helvetica Condensed,BOLD	Times,BOLDITALIC
Helvetica Condensed,BOLDITALIC	Times,ITALIC
Helvetica Condensed,ITALIC	ZapfChancery,ITALIC
Helvetica,BOLD	ZapfDingbats
Helvetica,BOLDITALIC	
Helvetica,ITALIC	
Helvetica-Narrow	
Helvetica-Narrow,BOLD	
Helvetica-Narrow,BOLDITALIC	
Helvetica-Narrow,ITALIC	

WindowsXP/2000/NT4.0

プリンタドライバをインストールするだけでプリンタに搭載されている書体のうち和文フォント名と欧文フォント名(136書体中115書体)がアプリケーションのフォントリストに表示されます。Windowsスクリーンフォントは添付されませんが、画面上ではWindowsのシステムがデザインの近いフォントを選んで表示します。

欧文 フォント115書体		
Albertus MT	GillSans Condensed,BOLD	NewCenturySchlbk,BOLD
Albertus MT Lt	GillSans ExtraBold	NewCenturySchlbk,BOLDITALIC
Albertus MT,ITALIC	GillSans Light	NewCenturySchlbk,ITALIC
Antique Olive Compact	GillSans Light,ITALIC	Optima
Antique Olive Roman	GillSans,BOLD	Optima,BOLD
Antique Olive Roman,BOLD	GillSans,BOLDITALIC	Optima,BOLDITALIC
Antique Olive Roman,ITALIC	GillSans,ITALIC	Optima,ITALIC
AvantGarde	Goudy	Oxford,ITALIC
AvantGarde,BOLD	Goudy ExtraBold	Palatino
AvantGarde,BOLDITALIC	Goudy,BOLD	Palatino,BOLD
AvantGarde,ITALIC	Goudy,BOLDITALIC	Palatino,BOLDITALIC
Bodoni	Goudy,ITALIC	Palatino,ITALIC
Bodoni Poster	Helvetica	StempelGaramond Roman
Bodoni PosterCompressed	Helvetica Condensed	StempelGaramond Roman,BOLD
Bodoni,BOLD	Helvetica Condensed,BOLD	StempelGaramond Roman,BOLDITALC
Bodoni,BOLDITALIC	Helvetica Condensed,BOLDITALIC	StempelGaramond Roman,ITALIC
Bodoni,ITALIC	Helvetica Condensed,ITALIC	Symbol
Bookman	Helvetica,BOLD	Times
Bookman,BOLD	Helvetica,BOLDITALIC	Times,BOLD
Bookman,BOLDITALIC	Helvetica,ITALIC	Times,BOLDITALIC
Bookman,ITALIC	Helvetica-Narrow	Times,ITALIC
Clarendon	Helvetica-Narrow,BOLD	Univers 45 Light
Clarendon Light	Helvetica-Narrow,BOLDITALIC	Univers 45 Light,BOLD
Clarendon,BOLD	Helvetica-Narrow,ITALIC	Univers 45 Light,BOLDITALIC
Cooper Black	Joanna MT	Univers 45 Light,ITALIC
Cooper Black,ITALIC	Joanna MT,BOLD	Univers 47 CondensedLight,BOLD
Copperplate32bc	Joanna MT,BOLDITALIC	Univers 47 CondensedLight,BOLDITALIC
Copperplate33bc	Joanna MT,ITALIC	Univers 55
Coronet,ITALIC	Letter Gothic	Univers 55,ITALIC
Courier	Letter Gothic,BOLD	Univers 57 Condensed
Courier,BOLD	Letter Gothic,BOLDITALIC	Univers 57 Condensed,ITALIC
Courier,BOLDITALIC	Letter Gothic,ITALIC	Univers Extended
Courier,ITALIC	Lubalin Graph	Univers Extended,BOLD
Eurostile	Lubalin Graph,BOLD	Univers Extended,BOLDITALIC
Eurostile Bold	Lubalin Graph,BOLDITALIC	Univers Extended,ITALIC
Eurostile ExtendedTwo	Lubalin Graph,ITALIC	ZapfChancery,ITALIC
Eurostile ExtendedTwo,BOLD	Marigold,ITALIC	ZapfDingbats
GillSans	Mona Lisa Recut	
GillSans Condensed	NewCenturySchlbk	

PSハーフトーン調整ユーティリティ

プリンタのハーフトーン濃度を調整するユーティリティです。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版の動作するコンピュータ
Windows PSプリンタドライバ

インストールします

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ CD-ROMのアイコンを開きます。

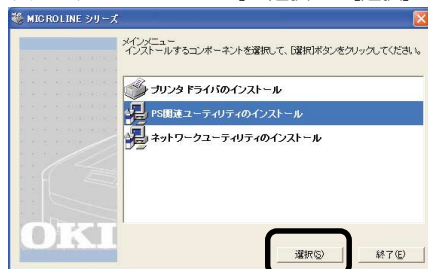
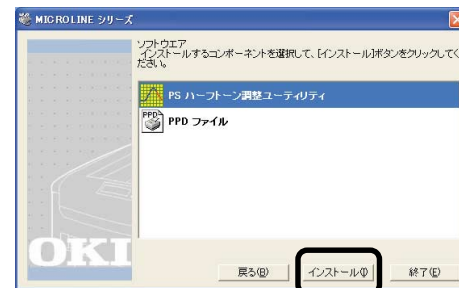
〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

❸ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❹「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❺ [PS関連ユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❻ [PSハーフトーン調整ユーティリティ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❼ 画面の指示に従ってセットアップします。

❽「MICROLINEシリーズ」画面で[終了]をクリックします。

起動します

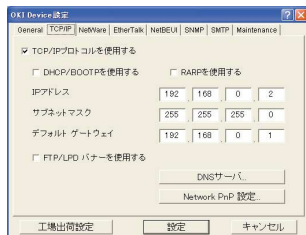
❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[PSハーフトーン調整ユーティリティ]-[PSハーフトーン調整ユーティリティ]を選択します。

詳しくは
- オンラインヘルプ
- 「写真の印刷濃度を調節したい(ハーフトーン調整)」(121ページ)

をご覧ください。

ネットワークユーティリティ

ネットワーク接続時に使用するユーティリティです。
必要に応じてインストールしてください。

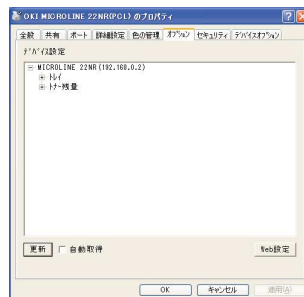
AdminManager（16ページ）

プリンタのネットワークの設定やステータスの確認ができます。IPアドレスの変更やEtherTalkでのプリンタ名の変更、TELNETやNetWareプロトコルの機能変更もできます。

Quick Setup（23ページ）

各プロトコルの有効/無効を簡易に設定します。

OKI LPRユーティリティ（26ページ）

ネットワーク接続での印刷、印刷ジョブの管理、プリンタのステータスを確認することができます。

Network Extension（33ページ）

プリンタドライバからプリンタの設定項目を確認したり、プリンタのオプション構成の設定ができます。

PrintSupreVision（37ページ）

ネットワークに接続されるプリンタを管理するWebベースのアプリケーションです。複数のプリンタの設定情報や消耗品情報を確認できます。

Web Driver Installer（44ページ）

ネットワーク接続されるプリンタの共通設定を自動的に行い、プリントサーバ管理者の負担を軽減することができます。

ネットワークステータスモニタ（54ページ）

ネットワーク接続されているプリンタの状態を監視することができます。

TELNET（67ページ）

TELNETを利用してプリンタのネットワークの設定をすることができます。

Webブラウザ（58ページ）

Web画面で、プリンタのメニューやネットワークの設定を遠隔操作できます。

ユーティリティの機能一覧

○：利用できる機能

項目 / ユーティリティ名	IPアドレスの設定変更	パネル表示	ジョブの管理	オプション品の管理	消耗品情報	ネットワーク管理
AdminManager	○					
OKI LPRユーティリティ		○	○			
Network Extension				○		
PrintSuperVision					○	○
Web Driver Installer						○
ネットワークステータスモニタ		○				
Webブラウザ	○	○			○	
TELNET	○					

AdminManager

プリンタのネットワークの設定や、ステータスの確認ができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版
TCP/IPで動作しているコンピュータ

- コンピュータはプリンタと同一セグメント上に存在している必要があります。
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、WindowsXP Home Editionを例にしています。

起動します

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻ [ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [NICセットアップユーティリティ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽ [日本語]をクリックします。

❾ [OKI Device Standard Setup]をクリックします。

❿ [インストールせずに、直接CD-ROMから起動する]を選択し、[次へ]をクリックします。

AdminManagerが起動します。

プリンタのネットワークの設定を行うことができます。
各項目の詳細については、「ネットワーク設定項目の一覧」（150ページ）をご覧ください。

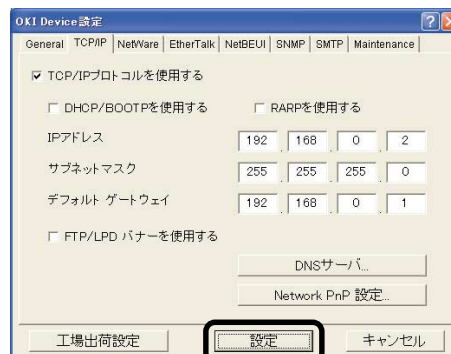
❶ 一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。
機種名には、ML22NRの代わりにMLETB12と表示されます。

注
- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。
- 初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合はサーバから取得したIPアドレスが表示されます。

❷［設定］メニューの［OKI Deviceの設定］を選択します。

❸［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

注
- パスワードは、手順❶で選択した「Ethernetアドレス」の下6桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

❹ 必要な項目を入力し、［設定］をクリックします。

❺ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

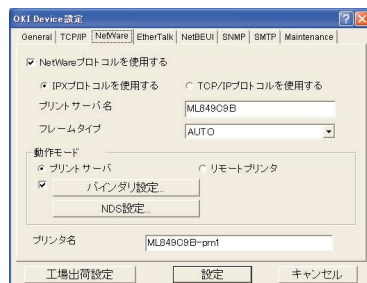
❻ 新しい設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

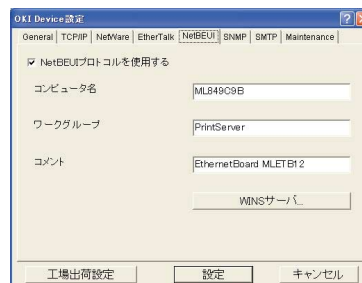
注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

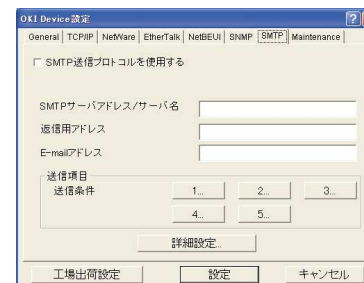
❼ AdminManagerを終了します。

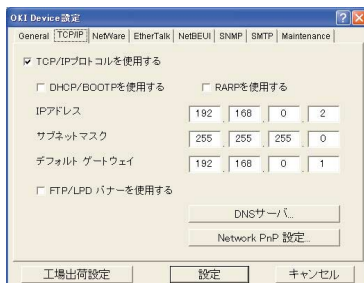
Generalタブ

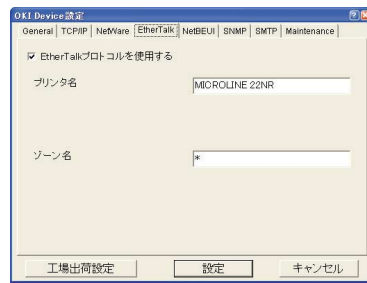
パスワードを変更します。

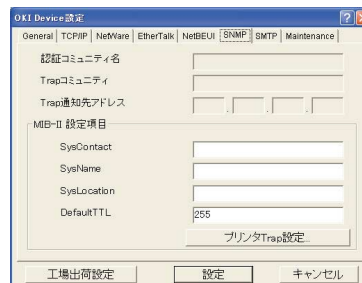
NetWareタブ

NetWareを利用する場合に設定します。（197ページ）

NetBEUIタブ

NetBEUIを利用する場合に設定します。

SMTPタブ

SMTP送信プロトコルを利用する場合に設定します。

TCP/IPタブ

IPアドレスなどの設定をします。

EtherTalkタブ

EtherTalkプリンタ名やゾーン名を変更する場合に設定します。

SNMPタブ

SNMPを利用する場合に設定します。

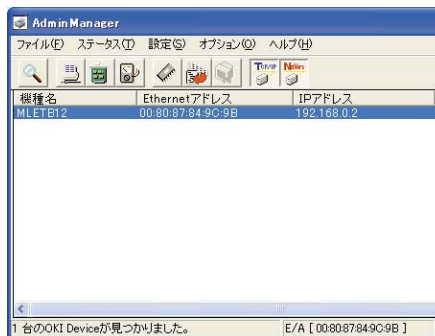
Maintenanceタブ

ネットワークサービスの使用制限を設定します。

NetWareのキュー作成をします

NetWareサーバ上にプリントキューを作成することができます。

NetWare6J/5J/4.1J(NDS)リモートプリンタモードのプリントキューは、NDSモードで作成する必要があります。バインダリモードでは作成できません。

❶一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。
機種名には、ML22NRの代わりにMLETB12と表示されます。

・イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(160ページ参照)
・初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合はサーバから取得したIPアドレスが表示されます。

❷[設定]メニューの[NetWareのキュー作成]を選択します。

❸[次へ]をクリックします。

❹ネットワーク環境にあわせて、[NDSモード]か[バインダリモード]を選択し、[次へ]をクリックします。

❺画面の指示に従い、NetWareキューを作成します。

❻設定内容に間違いがなければ、[実行]をクリックします。

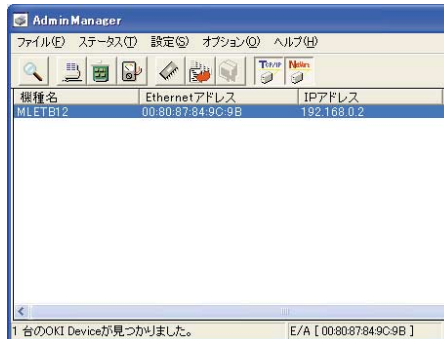
NetWareサーバに設定内容が送信されます。

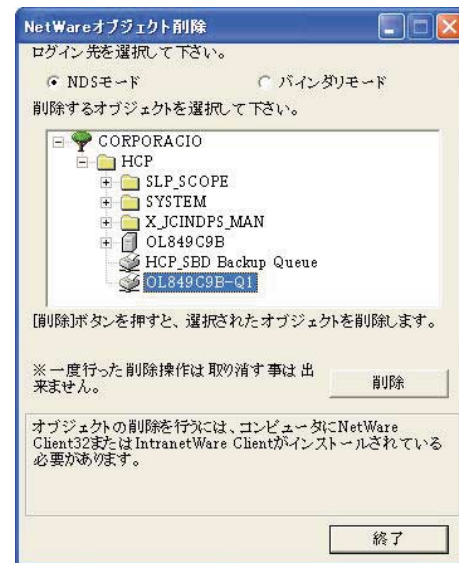
❼[完了]をクリックします。

NetWareのオブジェクト削除をします

NetWareサーバ上に作成しているプリントサーバ、プリントキュー、プリンタを削除することができます。

❶一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。機種名には、ML22NRの代わりにMLETB12と表示されます。

注
・イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（160ページ参照）
・初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合はサーバから取得したIPアドレスが表示されます。

❷［設定］メニューの［NetWareのオブジェクト削除］を選択します。

❸［NDSモード］か［バインダリモード］を選択し、削除するオブジェクトを選択します。

❹［削除］をクリックします。

注 ［削除］は取り消すことができません。十分気をつけてオブジェクトを選んでください。

❺［終了］をクリックします。

環境を設定します

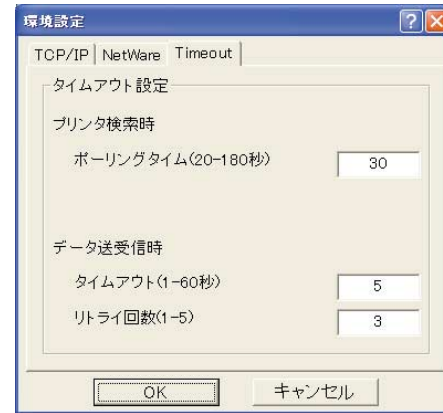
AdminManagerの環境を設定することができます。
[オプション]メニューの[環境設定]を選択します。

TCP/IPタブ

TCP/IPでプリンタの検索をするかどうか設定します。
ブロードキャストアドレスを設定します。

NetWareタブ

NetWare(IPX)プロトコルでプリンタの検索をするかどうか設定します。
検索時に取得できたネットワークだけを検索します。
NetWareでプリンタを検索するときのNetWareネットワーク番号を設定します。
NetWareファイルサーバが多数ある場合は、プリンタが存在するネットワーク番号を設定します。

Timeoutタブ

プリンタからの応答待ち時間を秒単位で設定します。
AdminManagerとプリンタの間のタイムアウト時間を秒単位で設定します。
AdminManagerとプリンタの間のリトライ回数を設定します。

Quick Setup

プリンタの簡易設定ができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版
TCP/IPで動作しているコンピュータ

- コンピュータはプリンタと同一セグメントに存在している必要があります。
- NetWareの設定をするときは、コンピュータにNovel Clientがインストールされている必要があります。
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、WindowsXP Home Editionを例にしています。

起動します

❶プリンタの電源をONにします。

❷Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻[ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼[NICセットアップユーティリティ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽[日本語]をクリックします。

❾ [OKI Device Quick Setup]をクリックします。

❿ [次へ]をクリックします。

⓫ 設定を行うプリンタのイーサネットアドレスを選択して、[次へ]をクリックします。
機種名には、ML22NRの代わりにMLETB12と表示されます。

注 イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（160ページ参照）

Quick Setupで設定します

❶ TCP/IPの設定を行い、[次へ]をクリックします。

❷ NetWareの設定を行い、[次へ]をクリックします。

❸EtherTalkの設定を行い、[次へ]をクリックします。

❹NetBEUIの設定を行い、[次へ]をクリックします。

❺設定内容を確認し、[実行]をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

❻設定値を有効にするために、[完了]をクリックします。

注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

❼Quick Setupを終了します。

OKI LPRユーティリティ

ネットワーク接続での印刷、印刷ジョブの管理、プリンタのステータス確認ができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版で動作しているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ

- TCP/IPのネットワーク接続でプリンタドライバのインストールを行うと、自動的にOKI LPRユーティリティがインストールされます。
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、WindowsXP Home Editionを例にしています。

インストールします

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻ [ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

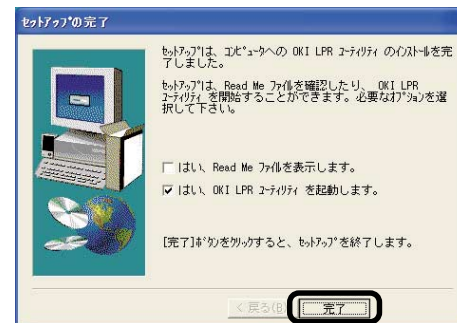
❼ [OKI LPRユーティリティ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽ すでにOKI LPRユーティリティがインストールされて起動している場合、終了する画面がでるので[はい]をクリックします。

❾ セットアッププログラムが開始されるので、[次へ]をクリックします。

❿ インストール先とスプール先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックします。

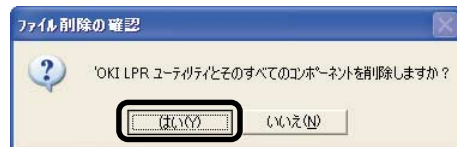
⓫ [スタートアップに登録する]にチェックが入っていることを確認し、[次へ]をクリックします。

⓬ プログラムフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックします。

⓭ [完了]をクリックします。

⓮ [終了]をクリックします。

削除します

❶[ファイル]メニューの[終了]を選択します。

❷[スタート]-[すべてのプログラム](WindowsXP以外では[プログラム])-[沖データ]-[OKI LPRユーティリティ]-[OKI LPRユーティリティの削除]を選択します。

❸[はい]をクリックします。

削除が開始されます。

起動します

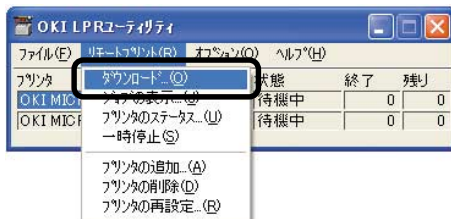
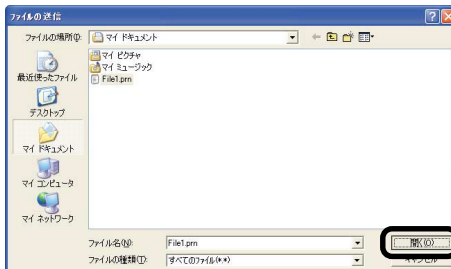
❶[スタート]-[すべてのプログラム](WindowsXP以外では[プログラム])-[沖データ]-[OKI LPRユーティリティ]-[OKI LPRユーティリティ]を選択します。

リモートプリントの設定

ファイルのダウンロード

ファイルをプリンタにダウンロードすることができます。

❶プリンタを選択します。

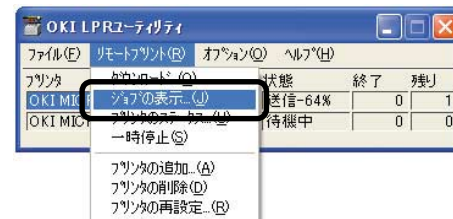
❷[リモートプリント]メニューの[ダウンロード]を選択します。

❸ダウンロードするファイルを選択し、[開く]をクリックします。

ファイルのダウンロードが開始されます。

ジョブの表示、削除と手動転送

印刷ジョブを表示したり、削除することができます。
また、プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

・他社プリンタへは転送できません。
・同じプリンタ機種名へ転送してください。

❶プリンタを選択します。

❷[リモートプリント]メニューの[ジョブの表示]を選択します。

ジョブが表示されます。

❸削除したい印刷ジョブを選択し、[ジョブ]メニューの[削除]を選択します。

ジョブが削除されます。

❹転送したい印刷ジョブを選択し、[ジョブ]メニューの[転送]で転送先のプリンタを選択します。

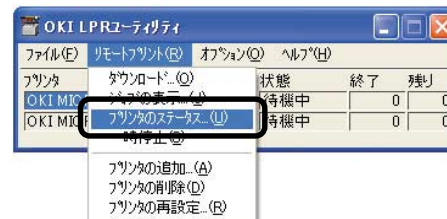
転送先のプリンタにジョブが送られます。

転送できるプリンタは、あらかじめ OKI LPR ユーティリティにセットアップされている必要があります。

プリンタのステータス

プリンタのステータスを表示させることができます。

❶プリンタを選択します。

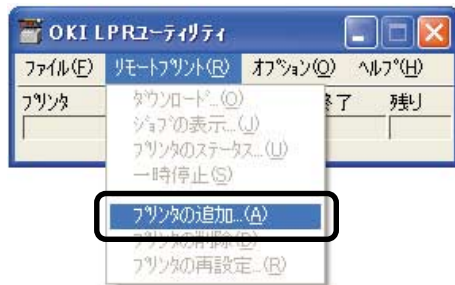
❷[リモートプリント]メニューの[プリンタのステータス]を選択します。

プリンタのステータスが表示されます。

メモ ジョブ表示ダイアログの「ステータス」でも確認することができます。

プリンタの追加

印刷先のポートをOKI LPRポートに変更することができます。

すでにOKI LPRユーティリティに登録されているプリンタは設定できません。ポートを変更したい場合は、「プリンタの再設定」を選択してください。

❶[リモートプリント]メニューの[プリンタの追加]を選択します。

❷[プリンタ]を選択し、[IPアドレス]にプリンタのIPアドレスを入力し、[OK]をクリックします。

注 [プリンタ]には、「プリンタとFAX」(WindowsXP以外の場合は「プリンタ」)フォルダにプリンタドライバが追加されている場合のみ表示されます。WindowsXP/2000/NT4.0でネットワークプリンタに設定している場合は表示されません。

メモ [検索]をクリックしてネットワーク上のMICROLINEプリンタを検索することもできます。

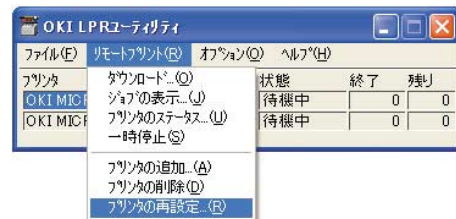
メインウィンドウにプリンタが追加されます。

ジョブの自動転送

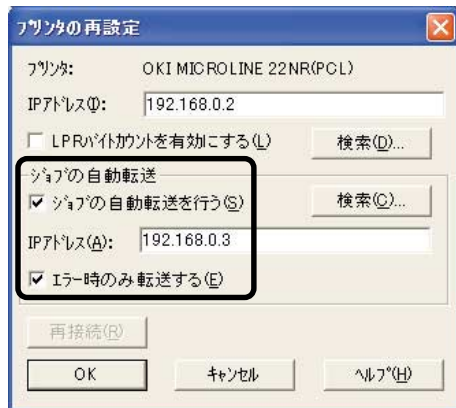
プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、自動的に印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

・他社プリンタへは転送できません。
・必ず、同じプリンタ機種名へ転送してください。

❶プリンタを選択します。

❷[リモートプリント]メニューの[プリンタの再設定]を選択します。

❸[詳細設定]ボタンをクリックします。

❹［ジョブの自動転送を行う］にチェックをつけ、転送先プリンタのIPアドレスを設定します。

プリンタが「オフライン」や「用紙切れ」などのエラーのときのみ転送したい場合は、［エラー時のみ転送する］にもチェックを付けます。

メモ ［検索］をクリックして、ネットワーク上のMICROLINEプリンタを検索することもできます。

❺［OK］をクリックします。

自動的にIPアドレス再設定

DHCPサーバに接続しプリンタの電源を入れる度にプリンタのIPアドレスが変更になる場合、自動的に変更されたIPアドレスを検索し再設定することができます。

注 検索対象は、OKI LPRユーティリティの検索範囲設定に従います。

❶［オプション］メニューの［設定］を選択します。

❷［自動的にIPアドレスを再設定する］にチェックを付けます。

❸［OK］をクリックします。

Network Extension

プリンタドライバからプリンタの設定項目を確認したり、プリンタのオプション構成の設定が容易にできます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ

- プリンタドライバと連動して動作するため、プリンタドライバのインストールが必要です。
- TCP/IPのネットワーク接続でプリンタドライバのインストールを行うと、自動的にNetwork Extensionがインストールされます。
- プリンタドライバの接続先が以下の場合にのみ動作します。
  OKI LPR Port
  Standard TCP/IP Port（WindowsXP/2000/Server2003の場合）
  LPR Port（WindowsNT4.0の場合）
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

インストールします

以下の説明は、WindowsXP Home Editionを例にしています。

❶プリンタの電源をONにします。

❷Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻[ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [Network Extension]を選択し、[インストール]をクリックします。

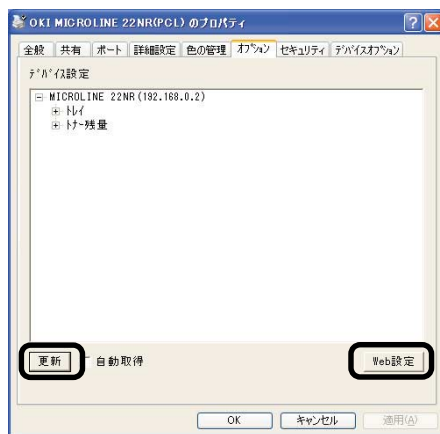
❽ [次へ]をクリックします。

❾ [完了]をクリックします。

❿ [終了]をクリックします。

プリンタの設定を確認します

接続しているプリンタの設定内容などが確認できます。

注 Network Extensionをインストールしても、動作環境に一致しない場合は[オプション]タブは表示されません。

（WindowsXPの画面）

❶ [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。
（WindowsXP以外では[スタート]-[設定]-[プリンタ]をクリックします。）

❷ [OKI MICROLINE 22NR]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [オプション]タブをクリックします。

❹ [更新]ボタンをクリックします。

「デバイス設定」にプリンタの設定内容が表示されます。

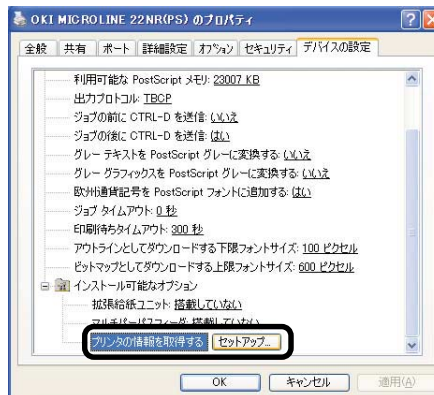
❺ [OK]をクリックします。

メモ [Web設定]ボタンをクリックすると、自動的にWebブラウザが起動し、プリンタの設定内容が表示されます。詳しくは、「Webブラウザ」(58ページ)をご覧ください。

オプションの自動設定をします

接続しているプリンタのオプション構成を取得して、プリンタドライバの設定を自動的に行うことができます。

- Network Extensionをインストールしても、動作環境に一致しない場合は設定できません。
- WindowsMe/98/95 PSドライバでは利用できません。

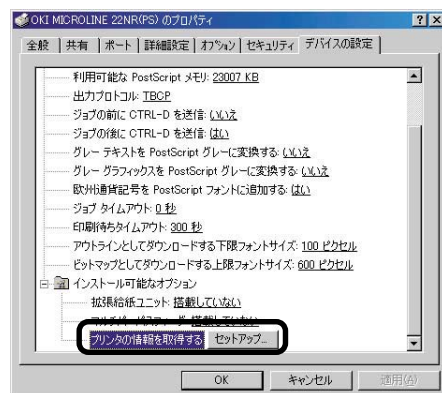
WindowsXP PSドライバの場合

❶ [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。

❷ [OKI MICROLINE 22NR(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [デバイスの設定]タブをクリックします。

❹ [プリンタの情報を取得する]をクリックし、[セットアップ]をクリックします。

❺ [OK]をクリックします。

Windows2000 PSドライバの場合

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 22NR(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [デバイスの設定]タブをクリックします。

❹ [プリンタの情報を取得する]をクリックし、[セットアップ]をクリックします。

❺ [OK]をクリックします。

WindowsNT4.0 PSドライバの場合

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 22NR(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [デバイスの設定]タブをクリックします。

❹ [プリンタの情報を取得する]をクリックし、[プリンタの情報を取得する]ボタンをクリックします。

❺ [OK]をクリックします。WindowsNT4.0でプリンタの情報を取得する機能を使用するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

Windows PCLドライバの場合

❶ [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。(WindowsXP以外では[スタート]-[設定]-[プリンタ]をクリックします。)

❷ [OKI MICROLINE 22NR(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [デバイスオプション]タブをクリックします。

❹ [プリンタの情報を取得する]をクリックします。

❺ [OK]をクリックします。

削除します

❶ [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除](WindowsXP以外では[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除])を選択します。

❷ [OKI Network Extension]を選択し、画面に従って削除します。

PrintSuperVision

ネットワークにつながっているプリンタを管理するためのWebベースアプリケーションです。複数のプリンタの設定情報や消耗品情報を確認することができます。1台のコンピュータにPrintSuperVisionをインストールし、他のコンピュータからWebブラウザを使用して、リモートでPrintSuperVisionにアクセスします。

動作環境

PrintSuperVisionをインストールするコンピュータ

- WindowsXP Professional/2000(Service Pack 1以上)/Server2003日本語版が動作しているコンピュータ
- Microsoftインターネットインフォメーションサーバ(IIS)Ver.5.0以上がインストールされているコンピュータ
- TCP/IPで動作しているコンピュータ
- ウィルスチェックソフト等によりアクティブサーバページ(ASP)の動作が阻害されない環境のコンピュータ

PrintSuperVisionにリモートでアクセスするコンピュータ

- WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版が動作しているコンピュータ
- Microsoft Internet Explorer Ver.4.0以上がインストールされているコンピュータ
- TCP/IPで動作しているコンピュータ

- CODE-REDやNIMDAのようなウィルス感染を回避するために、PrintSuperVisionのインストール前にMicrosoftのホームページから最新のセキュリティパッチを入手し、コンピュータにインストールされることをお勧めします。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

PrintSuperVisionをインストールするコンピュータ
Windows　　: WindowsXP Professional
IPアドレス　: 192.168.0.3

PrintSuperVisionにリモートでアクセスするコンピュータ
Webブラウザ　: Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

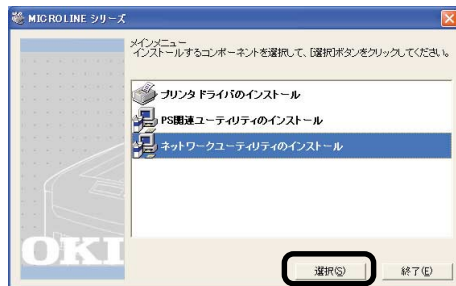
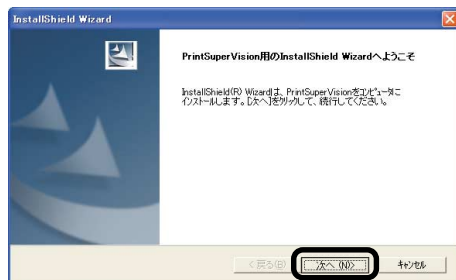
インストールします

1. プリンタの電源をONにします。
2. Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。
3. CD-ROMのアイコンを開きます。

   〈WindowsXPの場合〉
   [スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

   〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
   [マイコンピュータ]を開き、[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。
4. [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

   セットアッププログラムが起動します。
5. 使用許諾契約をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻ [ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [Print Super Vision]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽ [次へ]をクリックします。

❾ プログラムフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックします。

❿ インストール先のフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックします。

⓫ インストールするWebサイトにチェックを付け、[次へ]をクリックします。

⓬ [次へ]をクリックします。

⓭[完了]をクリックします。

再起動画面が表示された場合は、[今すぐにコンピュータを再起動します]を選択し、[完了]をクリックします。

⓮ [終了]をクリックします。

起動します

❶ [スタート]-[すべてのプログラム](WindowsXP以外では[プログラム])-[沖データ]-[PrintSuper Vision]-[PrintSuperVision]を選択します。

削除のしかた

❶ [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除](WindowsXP以外では[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除])を選択します。

❷ [OKI PrintSuperVision]を選択し、画面に従って削除します。

アクセスします

別のコンピュータでWebブラウザを起動して、PrintSuperVisionがインストールされているコンピュータにアクセスし、設定を変更することができます。設定を変更するには、「Admin」の権限でログインする必要があります。

❶ Webブラウザを起動します。

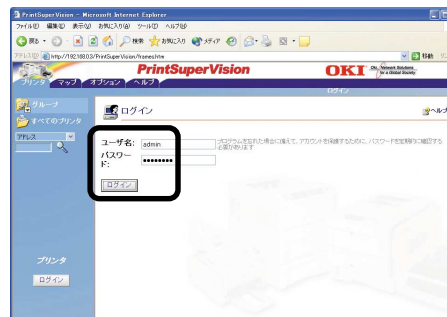
❷ [アドレス]に、URL「http://PrintSuper Visionが起動しているコンピュータのIPアドレス/PrintSuper Vision/」と入力し、Enterキーを押します。

例）コンピュータのIPアドレスが 「192.168.0.3」の場合 http://192.168.0.3/PrintSuperVision/

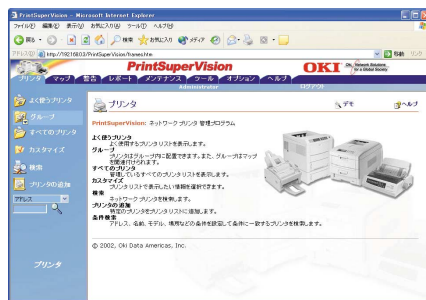
注 IPアドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。

（例） 正しい入力値： http://192.168.0.3/
誤った入力値： http://192.168.000.003/

❸ [ログイン]をクリックします。

❹ [ユーザ名]に「Admin」、[パスワード]に管理者のパスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

メモ パスワードの初期値は「password」です。

プリンタ　タブ

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

[よく使うプリンタ]
頻繁に確認する必要があるプリンタを登録することが可能で、このボタンをクリックすることですぐにプリンタの情報を表示させます。

[グループ]
部門別、フロア別、機種別などでプリンタを監視する場合、グループに登録することで容易に分類し、表示することが可能です。

[すべてのプリンタ]
PrintSuperVisionで監視しているプリンタすべての情報を表示します。

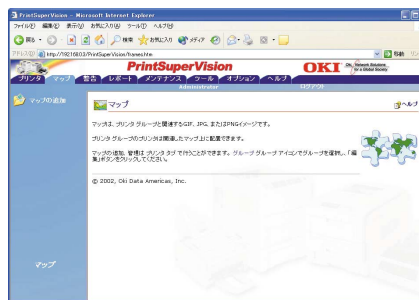
[カスタマイズ]
表示するプリンタ情報をカスタマイズすることができます。

[検索]◎
ネットワークに接続されているプリンタを調べ表示します。

[プリンタの追加]◎
すでにIPアドレスがわかっている場合は[プリンタの追加]で直接アドレスを入力することで特定のプリンタを監視対象に含めることができます。

[条件検索]
アドレス、名前、モデル、場所に一致するプリンタを選択します。

マップ　タブ

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

[マップの追加]◎
GIF、JPGまたはPNG形式のファイルをPrintSuper Visionに登録することができます。登録されたマップ上にプリンタグループにあるプリンタを対応する場所に配置できます。

警告　タブ（ログインした場合のみ表示）

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

[警告]
プリンタで問題が発生した場合にe-mailを送信する場合の条件を指定します。

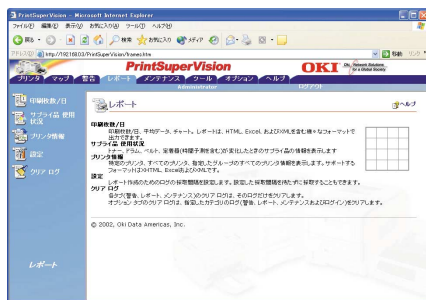
[イベント]
プリンタで問題が発生した場合にPrintSuperVisionで記録をする場合の条件を指定します。

[イベントログ]◎
発生した問題ログを表示します。

[設定]◎
PrintSuperVisionがe-mailを送信させるための各種設定を行います。

[クリアログ]◎
発生したイベントログを削除することができます。

レポート　タブ（ログインした場合のみ表示）

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

[印刷枚数/日]
1日あたりの印刷枚数を表示します。

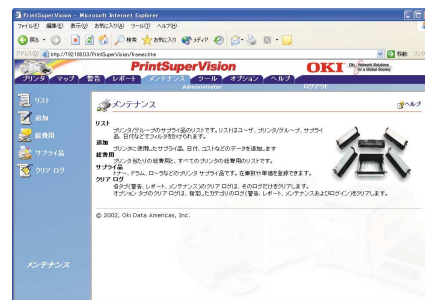
[サプライ品　使用状況]
現在のトナー残量（対応機種のみ）、使用状況から推定したドラム、ベルト、定着器の交換時期などを表示します。

[プリンタ情報]
プリンタの各種情報の表示を行います。

[設定]◎
印刷枚数などのプリンタのデータを収集する間隔を設定します。

[クリアログ]◎
このタブに関係するログ情報を削除します。

メンテナンス　タブ（ログインした場合のみ表示）

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

[リスト]
プリンタに対して行った消耗品交換などのコメントを表示します。

[追加]
プリンタに対して行った消耗品交換などのコメントを追加できます。

[総費用]
入力したコスト金額の累計を表示します。

[サプライ品]
トナー、ドラムなどのプリンタサプライ品の金額を保存できます。

[クリアログ]◎
このタブに関係するログ情報を削除します。

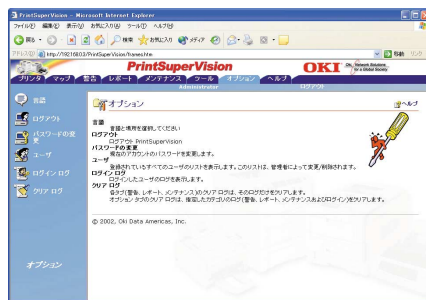
ツール　タブ（「Admin」ユーザのみ表示）

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

[クローニング]◎
1台のプリンタメニュー設定を複数の他のプリンタに反映することができます。

[マルチファイルプリンティング]◎
1つの印刷ジョブを複数のプリンタに送信します。

オプション　タブ

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

[言語]
表示する言語を選択します。

[ログアウト]
PrintSuperVisionからログアウトします。

[パスワードの変更]
ユーザパスワードを変更できます。

[ユーザ]
ユーザの追加などユーザ管理ができます。
Admin以外は表示のみです。

[ログインログ]◎
PrintSuperVisionへのログイン記録が表示されます。

[クリアログ]◎
警告、ログインログなどのログ情報をクリアします。

[ログイン]
ログインしていない場合にのみ表示されます。

ヘルプ　タブ

[コンテンツ]
PrintSuperVisionのオンラインヘルプをツリービューで表示します。

[インデックス]
PrintSuperVisionのオンラインヘルプを選択、表示できます。

[検索]
キーワード入力によるヘルプ検索ができます。

[バージョン情報]
PrintSuperVisionのVersion情報を表示します。

[オンライン]
沖データのホームページにリンクしています。

Web Driver Installer

Web Driver Installerとは

Web Driver Installerは、Webベースのアプリケーションです。以下の作業を自動的に行い管理者の負担を軽減します。

- TCP/IPネットワークにつながったプリンタを検索します。
- 検索したプリンタをWebページに表示します。
- ユーザに検索したプリンタのプリンタドライバインストールプログラムがダウンロードできるURLをe-mailで通知します。

また、部門やフロアごとにグループを作成してプリンタとユーザを管理できます。

特徴

グループ管理

Windowsエクスプローラのように、プリンタやユーザを階層的に管理することができます。

自動検索機能

Web Driver Installerは、新しく接続されたプリンタがあるかを一定時間間隔で検索します。この間隔は、管理者が5分から2週間の間で設定します。この機能は、無効にすることもできます。無効にした場合、管理者は手動で検索する必要があります。
Web Driver Installerに登録されているプリンタドライバがサポートしているプリンタを検出した場合に、ユーザにe-mailを送信します。

プリンタドライバ登録機能

Web Driver Installerにはあらかじめ、登録できるプリンタとプリンタドライバの種類が記憶されています。管理者は、Web Driver Installerの運用を開始する前にTCP/IPネットワーク上に接続されているプリンタのためのプリンタドライバを登録できます。また、運用中に自動検索機能により、新しく検索されたプリンタのプリンタドライバが登録されていないことを通知するe-mailを受け、e-mailに記載されているプリンタドライバを登録できます。
この作業は、Web Driver Installerをインストールしたサーバコンピュータ上で行う必要があります。

e-mail送信機能

Web Driver Installerは、登録されているユーザに自動的にe-mailを送信します。
e-mailの内容は、下表を参照します。

あて先	通知内容	詳　細
管理者	新規プリンタの検出	自動検索機能によって、新しく接続されたプリンタが検索されたことを通知します。
メンテナンスユーザ 一般ユーザ	プリンタの追加	プリンタドライバが登録されているプリンタを検出したときと、既に検出されているプリンタをサポートするプリンタドライバを管理者が登録/更新したときに、プリンタが追加できることを通知します。
	プリンタの削除	Web Driver Installerからプリンタが削除されたことを通知します。
	グループの削除	Web Driver Installerからグループが削除されたことを通知します。
	ユーザの削除	Web Driver Installerからユーザが削除されたことを通知します。
	グループ移動	ユーザが所属しているグループが移動されたことを通知します。
	ユーザ登録確認	新規に登録されたユーザへ登録確認の通知をします。

ユーザ種類

Web Driver Installerのユーザには、管理者、メンテナンスユーザ、一般ユーザと、ゲストユーザの4種類があります。

管理者
　Web Driver Installer の全ての機能を使用できます。
　全てのユーザグループに対してユーザ情報編集などの操作を行えます。
メンテナンスユーザ
　所属しているグループと、その子グループに対してのみ操作を行えます。
一般ユーザ
　管理者またはメンテナンスユーザによって設定された情報を参照してプリンタドライバをインストールできます。
ゲストユーザ
　Web Driver Installerに登録されていないユーザです。プリンタドライバのインストールのみできます。

機　能	管理者	メンテナンスユーザ	一般ユーザ	ゲストユーザ
プリンタドライバのインストール	○	○	○	○
ログイン/ログアウト	○	○	○	
ユーザの編集	○	○*1	○*2	
グループの編集	○	○*1		
プリンタの手動検索	○			
e-mail設定	○			
ドライバ登録	○			

*1　メンテナンスユーザは、自分が属するグループとその子グループの範囲で操作ができます。
*2　一般ユーザは、自分自身のユーザ情報を編集できます。

プリンタドライバインストール機能

ユーザはWebブラウザを通して、表形式または、グラフィカルに表示された地図の中から目的のプリンタを探し出し、プリンタドライバインストーラをダウンロードできます。ダウンロードしたインストーラを実行するだけで印刷可能状態となります。
また、e-mailによる[プリンタの追加]通知に記載されているURLへアクセスすることでプリンタドライバのインストールができます。

動作環境

Web Driver Installerをインストールするコンピュータ(以下、サーバコンピュータと略す)
　Server 2003/ Windows XP Professional/ Windows 2000/ Windows NT 4.0(サービスパック6a)日本語版が動作するコンピュータ
　TCP/IPネットワークに接続されているコンピュータ
　Microsoft インターネットインフォメーションサーバ 4以上がインストールされているコンピュータ

サーバコンピュータからWeb Driver InstallerにWebブラウザを使ってアクセスする場合、Internet Explorer 5.5以上または、Netscape Navigator 6.0以上が必要です。
Webブラウザからマニュアルを参照するためにAcrobat Readerがインストールされている必要があります。

- ウイルス感染を回避するために、Web Driver Installerのインストール前にMicrosoftのホームページから最新のセキュリティパッチを入手し、コンピュータにインストールすることをお勧めします。
- Web Driver Installerをインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。
- インストールした後、インストール先の仮想ディレクトリ名、TCPポート番号と、サイトを変更するとWeb Driver Installerは動作しません。

Web Driver Installerにアクセスするコンピュータ(以下、クライアントコンピュータと略す)
　Windows 日本語版が動作するコンピュータ
　TCP/IPネットワークに接続されているコンピュータ
　Internet Explorer 5.5以上またはNetscape Navigator 6.0以上がインストールされているコンピュータ
　e-mailが受信できるように設定されているコンピュータ
　OkiLPRユーティリティのバージョン3.08以上もインストールされているコンピュータ
また、Webブラウザからマニュアルを参照するためにAcrobat Readerがインストールされている必要があります。

Server 2003、Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0でWeb Driver Installerの「プリンタドライバのインストール」機能を使用するには、コンピュータの管理者権限が必要です。

インストールします

・Web Driver Installerをインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。
・インストールは、サーバコンピュータ上で行います。

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ CD-ROMのアイコンを開きます。

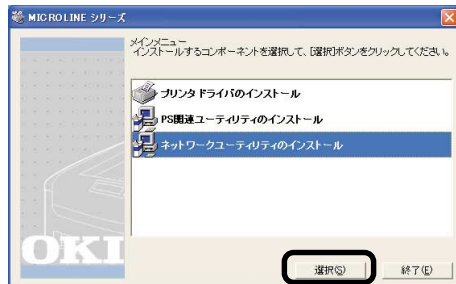
〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈Windows2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

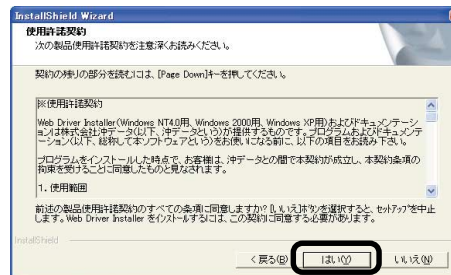
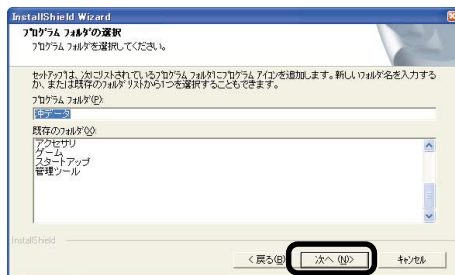
❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺ 使用許諾契約をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻ [ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [Web Driver Installer]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽ [次へ]をクリックします。

❾ [使用許諾契約]をよく読み、[はい]をクリックします。

⑩プログラムフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックします。

⑪インストール先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックします。

⑫インストールするWebサイトを確認し、[次へ]をクリックします。

⑬インストーラは、ファイルのコピーやプログラムの登録などのインストール処理をします。

⑭インストール結果を確認し、[次へ]をクリックします。

⑮[完了]をクリックします。

注 ここで再起動を必要とする趣旨のメッセージが表示された場合は、必ず再起動してください。

⑯[終了]をクリックします。

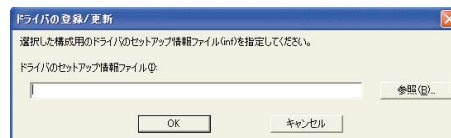
プリンタドライバを登録します

TCP/IPネットワークに接続されているプリンタがあらかじめわかっている場合は、Web Driver Installerの運用を開始する前にプリンタドライバをWeb Driver Installerに登録しておくことをお勧めします。

❶ [スタート]-[プログラム](Windows XPでは、[すべてのプログラム])-[沖データ]-[Web Driver Installer]-[ドライバ登録ツール]を選択します。ドライバ登録ツールが起動します。

メモ　バージョン欄に何も表示されていないドライバ構成はドライバが登録されていないことを意味します。バージョン番号または“<不明>”が表示されていると、ドライバが登録されていることを意味します。

❷ リストビューで登録したいドライバ構成を選択します。ツールバーの[フィルタ]をクリックし、ドライバ構成を選択することで、目的のドライバ構成のみを表示することができます。

❸ [ドライバの登録/更新]をクリックすることで、[ドライバの登録/更新]ダイアログが表示されます。

❹ 選択したドライバ構成にあったドライバのセットアップ情報ファイル(INFファイル)のフルパスを入力します。正確な位置が分からない場合は、[参照]をクリックすることで、ツリー上から選択できます。

- 選択したドライバ構成と一致するプリンタのセットアップ情報ファイルを入力してください。
- プリンタのセットアップ情報ファイルの場所が分からない場合は、プリンタのマニュアルを参照してください。

❺ [OK]をクリックすることで、登録または更新が完了します。

初期設定をします

Web Driver Installerを運用するために最低限必要な設定をします。

この設定をする前に、ユーザを追加や、プリンタの検索をしても、e-mailは送信されません。

❶ デスクトップにあるWeb Driver Installerアイコンをダブルクリックします。

メモ クライアントコンピュータからアクセスするには、Webブラウザを起動し、[アドレス]にURL「http://< Web Driver InstallerがインストールされているPCのIPアドレス>/WebDriverInstaller /」と入力し、Enterキーを押します。
例) PCのIPアドレスが「192.168.0.3」の場合、
「http://192.168.0.3/ WebDriverInstaller」となります。

❷ [ログイン]をクリックします。

❸ [ログイン名]と[パスワード]に管理者のログイン名、パスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

管理者のログイン名、パスワードの初期値は以下の通りです。

ログイン名　admin
パスワード　password

❹ [設定]をクリックします。

❺ [送信メールサーバ]は、Web Driver Installerがe-mailを送信するためのSMTPサーバを指定します。

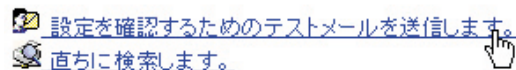
[ポート番号]は、SMTPサーバのポート番号を指定します。通常、25が使用されます。

[管理者のメールアカウント]は、Web Driver Installerの管理者のメールアドレスを指定します。Web Driver Installerは、e-mailを送信するために、ここで指定したメールアドレスを送信者として使用します。

メモ メールサーバによっては、有効な送信者のメールアカウントが必要です。

❻ 設定が終了したら[適用]をクリックします。

❼ 設定内容が正しいかを確認するために、[設定を確認するためのテストメールを送信します]をクリックし、メール受信ソフトで確認メールが届いているかチェックします。[戻る]をクリックすることでメインページに戻ります。

設定を確認するためのテストメールを送信します。
直ちに検索します。

これで、初期設定は完了です。

グループを登録します

Web Driver Installerは、部門やフロアといったネットワークセグメント*1単位のグループ管理をします。

*1 LAN(ローカルエリアネットワーク)におけるネットワークの1単位で、1つの機器から送出されたパケットが無条件に到達する範囲と解釈します。

例として、株式会社ABCは3階建てのビルを持っていて、1階に総務部と経理部、2階に営業1部から営業3部があり、3階に技術1部と技術2部があったとします。Web Driver Installerでグループ分けをすると、下図のようになります。

グループ	検索範囲
株式会社ABC	−
1階	−
総務部	192.168.0.255
経理部	192.168.1.255
2階	−
営業1部	192.168.2.255
営業2部	192.168.2.255
営業3部	192.168.3.255
3階	−
技術1部	192.168.4.255
技術2部	192.168.5.255

このグループ構成をWeb Driver Installerに登録する方法を以下に説明します。

❶ デスクトップにあるWeb Driver Installerアイコンをダブルクリックします。

メモ クライアントコンピュータからアクセスするには、Webブラウザを起動し、[アドレス]にURL「http://< Web Driver Installerがインストールされている PCのIPアドレス>/WebDriverInstaller /」と入力し、Enterキーを押します。
例) PCのIPアドレスが「192.168.0.3」の場合、
「http://192.168.0.3/ WebDriverInstaller」となります。

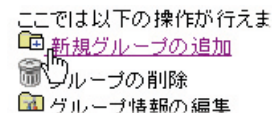
❷ [ログイン]をクリックします。

❸ [ログイン名]と[パスワード]に管理者のログイン名、パスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

管理者のログイン名、パスワードの初期値は以下の通りです。

ログイン名　admin
パスワード　password

❹ [グループの一覧]にある[新規グループの追加]をクリックします。

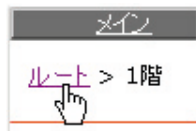
ここでは以下の操作が行えま
新規グループの追加
グループの削除
グループ情報の編集

❺ [グループ設定]ページの[グループ名]に「1階」と入力し、[OK]をクリックします。「2階」、「3階」も同様に追加します。

❻ [グループの一覧]にある「1階」をクリックし、「1階」グループのページを表示します。

❼「1階」グループの[グループの一覧]にある[新規グループの追加]をクリックします。

ここでは以下の操作が行えま
新規グループの追加
グループの削除
グループ情報の編集

❽[グループ設定]ページの[グループ名]に「総務部」と入力します。また、検索範囲に総務部のブロードキャストIPアドレスを入力します。[OK]をクリックします。「経理部」も同様に追加します。

❾「ルート」をクリックして、同様に「2階」の「営業1部」、「営業2部」と、「営業3部」、「3階」の「技術1部」と「技術2部」を作成します。

ユーザを登録します

Web Driver Installerにメンテナンスユーザと一般ユーザを登録します。メンテナンスユーザは、末端グループまたは、親グループに1人の割合で登録できます。また、一般ユーザは末端グループに登録します。例では、総務部グループと経理部グループを管理するメンテナンスユーザ「鈴木 一郎」さんを1階グループに登録します。また、一般ユーザである総務部の「井上 次郎」さんを総務部グループに登録します。

❶デスクトップにあるWeb Driver Installerアイコンをダブルクリックします。

メモ クライアントコンピュータからアクセスするには、Webブラウザを起動し、[アドレス]にURL「http://< Web Driver Installerがインストールされている PCのIPアドレス>/WebDriverInstaller /」と入力し、Enterキーを押します。
例) PCのIPアドレスが「192.168.0.3」の場合、
「http://192.168.0.3/ WebDriverInstaller」となります。

❷[ログイン]をクリックします。

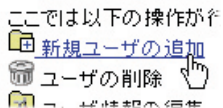
❸[ログイン名]と[パスワード]に管理者のログイン名、パスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

管理者のログイン名、パスワードの初期値は以下の通りです。

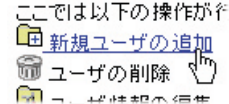
ログイン名 admin
パスワード password

❹[グループの一覧]にある「1階」をクリックし、「1階」グループのページを表示します。

❺［ユーザの一覧］にある［新規ユーザの追加］をクリックし、新規ユーザの情報入力フォームを表示します。

ここでは以下の操作が行
新規ユーザの追加
ユーザの削除

❻［種類］は、メンテナンスユーザを選択します。［ユーザ名］、［e-mailアドレス］と、［ログイン名］をそれぞれ埋めます。必要に応じて、［パスワード］を設定します。［OK］をクリックし、保存します。

❼［グループの一覧］にある「総務部」をクリックし、「総務部」グループのページを表示します。

❽［ユーザの一覧］にある［新規ユーザの追加］をクリックし、新規ユーザの情報入力フォームを表示します。

❾［種類］は、一般ユーザを選択します。［ユーザ名］、［e-mailアドレス］と、［ログイン名］をそれぞれ埋めます。必要に応じて、［パスワード］を設定します。［OK］をクリックし、保存します。

情報入力フォーム

OK キャンセル

設定項目	設定値
種類	メンテナンスユーザ / ◉一般ユーザ
ユーザ名	井上 次郎
e-mailアドレス	inoue@abc.com
ログイン名	inoue
パスワード	
パスワード再入力	

これで、メンテナンスユーザと、一般ユーザが登録されました。

自動検索を有効にします

Web Driver Installerをバックグラウンドで運用するために、[自動検索]を有効にします。以後、検索間隔ごとに末端グループに設定されているブロードキャストIPアドレスを使って新規プリンタが接続されているか検索する処理を繰り返します。

❶ デスクトップにあるWeb Driver Installerアイコンをダブルクリックします。

メモ　クライアントコンピュータからアクセスするには、Webブラウザを起動し、[アドレス]にURL「http://< Web Driver InstallerがインストールされているPCのIPアドレス>/WebDriverInstaller /」と入力し、Enterキーを押します。
例) PCのIPアドレスが「192.168.0.3」の場合、
「http://192.168.0.3/ WebDriverInstaller」となります。

❷ [ログイン]をクリックします。

❸ [ログイン名]と[パスワード]に管理者のログイン名、パスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

管理者のログイン名、パスワードの初期値は以下の通りです。

ログイン名　admin
パスワード　password

❹ [設定]をクリックします。

❺ [自動検索]を「有効」にチェックして、設定を保存するために[適用]をクリックし、[戻る]をクリックすることでメインページに戻ります。

適用　戻る

これで、自動検索機能が有効となりました。

ネットワークステータスモニタ

ネットワークにつながっているプリンタの状態を監視することができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版で動作しているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ
Microsoft Internet Explorer Ver.4.0以上がインストールされているコンピュータ

WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	:	WindowsXP Home Edition
プリンタ	:	ML22NR
IPアドレス	:	192.168.0.2

インストールします

❶プリンタの電源をONにします。

❷Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻[ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼[ネットワークステータスモニタ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽セットアッププログラムが開始されるので、[次へ]をクリックします。

❾インストール先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックします。

❿プログラムフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックします。

⓫[完了]をクリックします。

⓬[終了]をクリックします。

起動します

❶ [スタート]-[すべてのプログラム](WindowsXP以外では[プログラム])-[沖データ]-[ネットワークステータスモニタ]-[ネットワークステータスモニタ]を選択します。

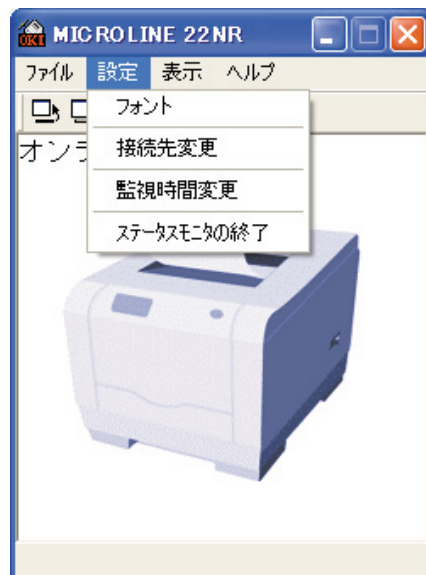
❷ 接続するプリンタのIPアドレスを入力し、[OK]をクリックします。

メモ
- 複数のプリンタに接続したい場合は、手順❶～❷を繰り返します。
- すでにネットワークステータスモニタを起動してプリンタに接続している場合は、以前入力したIPアドレスが表示されます。

削除します

❶ [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除](WindowsXP以外では[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除])を選択します。

❷ [OKI Network Status Monitor]を選択し、画面に従い削除します。

設定メニュー

［接続先変更］
接続したいプリンタのIPアドレスを入力して、接続しているプリンタを変更します。

［監視時間変更］
値を入力して監視間隔を変更します。初期値は5秒です。9桁までの数字を入力してください。0秒は設定できません。

表示メニュー

［最小化表示］
最小化時の表示状態を設定します。［タスクバー］、［アイコン］が選択できます。

・タスクバー設定時の表示

・アイコン設定時の表示

［サブウィンドウ］
詳細なステータス表示をするかしないかを設定します。

［ポップアップ］
接続しているプリンタにエラーが発生した場合、最小化状態からポップアップし、プリンタの状態を表示するかしないかを設定します。

Webブラウザ

プリンタのネットワークの設定や、メニュー設定ができます。

動作環境

Microsoft Internet Explorer Ver.4.0以上もしくはNetscape Navigator Ver.4.0以上がインストールされているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ

お使いのブラウザの設定が以下のようになっているか確認してください。

Microsoft Internet Explorer Ver.4.xの場合は、[表示]メニューの[セキュリティ]-[このゾーンのセキュリティレベル]を「中」に設定します。

Microsoft Internet Explorer Ver.5.xの場合は、[ツール]メニューの[インターネットオプション]-[セキュリティ→このゾーンのセキュリティレベル]を「中」に設定します。

Microsoft Internet Explorer Ver.6.xの場合は、[ツール]メニューの[インターネットオプション]-[プライバシー]-[設定]を「中」に設定します。

Netscape Navigator 4.xの場合は、[編集]メニューの[設定]-[詳細]-[すべてのCookieを受け付ける]に設定します。

Netscape Navigator 6.x～7の場合は、[編集]メニューの[設定]-[プライバシーとセキュリティ]-[Cookie]-[すべてのCookieを有効にする]に設定します。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	: ML22NR
プリンタのIPアドレス	: 192.168.0.2
イーサネットアドレス	: 00:80:87:84:9C:9B
Webブラウザ	: Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(160ページ参照)

起動します

❶ Webブラウザを起動します。

❷ [アドレス]にURL「http://プリンタのIPアドレス/」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

IPアドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。

(例) 正しい入力値：http://192.168.0.2/
誤った入力値：http://192.168.000.002/

[プリンタステータス]画面の[ステータス更新]ボタンを有効にするにはWebブラウザで次の設定が必要です。

Microsoft Internet Explorer5.0Jの場合は、[表示]メニューの[インターネットオプション]を選択し、[全般]タブ-[インターネット一時ファイル]-[設定]-[保存しているページの新しいバージョンの確認：]を[ページを表示するごとに確認する]に設定します。

Netscape Navigator4.04Jの場合は、[編集]メニューの[設定]を選択し、[詳細]-[キャッシュ]-[キャッシュしたドキュメントとネットワーク上のドキュメントとの比較]を[セッション毎]に設定します。

設定の変更直後にWebブラウザの大きさを変更すると、[セキュリティ情報]ダイアログが表示されることがあります。その場合は、ダイアログの中の[次回もこの警告を表示する]のチェックを外してください。

設定します

注 Webブラウザでプリンタの設定変更を行うには、プリンタの管理者としてログインする必要があります。

❶ [ログイン]をクリックします。

❷ [ユーザー名]に「root」、[パスワード]に現在のパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

注 パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。
イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(160ページ参照)

❸ 必要な設定をした後、[送信]をクリックします。

新しい設定値がプリンタに送信されると、次のような画面が表示されます。

パスワードの設定

プリンタの管理者としてログインするときに使用するパスワードを変更することができます。

❶［ログイン］をクリックします。

❷［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ　パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。
イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（160ページ参照）

❸［メンテナンス］タブをクリックします。

❹［パスワード設定］をクリックします。

❺ [新しいパスワードの入力]に新しいパスワードを入力し、[新しいパスワードの再入力]に再度新しいパスワードを入力します。

注
- パスワードを入力すると、画面上では「*****」と表示されます。
- パスワードは0～15桁までの英数字を入力してください。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

❻ [送信]をクリックします。

新しいパスワードが設定されると、次のような画面が表示されます。

新しいパスワードは、次回の設定を変更するときから有効となります。プリンタの電源のOFF/ONは必要ありません。

このパスワードはTELNET、AdminManagerのパスワードと共通です。ここでパスワードを変更すると、TELNET、AdminManagerのパスワードも変更されます。

ステータス　タブ

［プリンタステータス］

プリンタの状態を確認できます。操作パネル上の表示と同じ情報を表示する他、「障害情報」としてプリンタに発生しているすべての警告やエラーを表示します。

また、各ネットワークサービスの動作状況やプリンタ情報の一覧、プリンタに設定されているIPアドレスも確認することができます。

［プリンタ情報］

プリンタのシステム仕様を確認することができます。

［ネットワーク情報］

ネットワークの設定情報を確認することができます。

プリンタ　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示される項目

［プリンタ情報］

プリンタのシステム仕様を確認することができます。

［印刷メニュー］

コピー枚数、自動トレイ切り替え、モノクロ印刷速度、印刷品質、印刷位置等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

［メディアメニュー］

各トレイの用紙サイズ、名称付け、カスタム用紙等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

［プリンタ構成メニュー］

パワーセーブへの移行、アラーム発生時の動作、タイムアウト等を設定できます。

［エミュレーション］

サポートしているエミュレーションを設定できます。

［インタフェースメニュー］

ネットワーク以外のインタフェースを設定できます。

［メモリメニュー］

受信バッファサイズの設定。

ネットワーク　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示される項目

［ネットワーク情報］
ネットワークの設定情報を確認することができます。

［一般設定］
ネットワーク上で確認できるプリンタの情報を設定できます。

1）System Contact ......
管理者への連絡先記載エリア

2）System Name ....
プリンタの名称記載エリア

3）System Location .....
プリンタの置き場所記載エリア

［TCP/IP］
TCP/IPに関する情報を設定できます。

［NetWare］
NetWareに関する情報を設定できます。

［EtherTalk］
EtherTalkに関する情報を設定できます。

［NetBEUI/WINS］
NetBEUI/WINSに関する情報を設定できます。

［Email設定］
プリンタに発生した事象をEmailで通知する機能を設定できます。

［SNMP Traps］
プリンタに発生した事象をSNMPで通知する機能を設定できます。

［IPP］
IPP印刷をする機能を設定できます。

ジョブリスト　タブ

［ジョブキュー］
プリンタに送られた印刷ジョブの一覧を表示します。不要なジョブであれば削除することも可能です。

メンテナンス　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示される項目

[設定ページの印刷]
メニューマップ、ネットワークの設定情報(Network Information)、デモページを印刷します。メニューマップ、ネットワークの設定情報(Network Information)は一緒に印刷されます。

[再起動/初期化]

プリンタの再起動

プリンタを再起動します。ネットワーク機能も同時に再起動されますので、再起動が完了するまでWebブラウザからアクセスしても、Web Pageは表示されません。

ネットワークの再起動

ネットワーク機能だけを再起動します。プリンタに対してネットワーク経由でアクセスしている場合にはこのコネクションは切断されてしまいます。再起動が完了するまでWebブラウザからアクセスしても、Web Pageは表示されません。

工場出荷時設定

プリンタとネットワークを初期化します。初期化すると、プリンタは動作できますがIPアドレスが初期状態に戻ってしまうため、手動で設定した情報は失われてしまいます。その場合は、Web Pageも表示できなくなってしまいます。

[操作パネルのロック]
操作パネル(オペレータパネル)の操作を禁止状態に設定します。

[サービスの設定]
ネットワーク上の各サービスを停止させることができます。ウィルスの発生によりプリンタが攻撃されるような場合には、この機能を使用して回避する必要があります。SNMPだけはなるべく「ENABLE」で使うようお願いします。

[LANの規模の設定]
ネットワーク上でより効率よく動作するための設定です。スパニングツリー機能を持つHUBを使用する場合、クロスケーブルでコンピュータとプリンタを1対1で接続する場合などに効果を発揮します。

[IPフィルタリング]
TCP/IPによるアクセスを制限することができます。「IPアドレスでのアクセス制限機能(IPフィルタ)を使います」(172ページ)をご覧ください。
「この人には印刷だけ許可しよう」「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能はIPアドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。

[Hexダンプ]
受信した印刷データをすべて16進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。

[パスワード設定]
管理者のパスワードを変更します。初期状態でのパスワードはイーサネットアドレス下6桁です。

リンク　タブ

［リンク］

製造元で設定したリンクの他、管理者が設定したリンクを表示します。

［リンク編集メニュー］

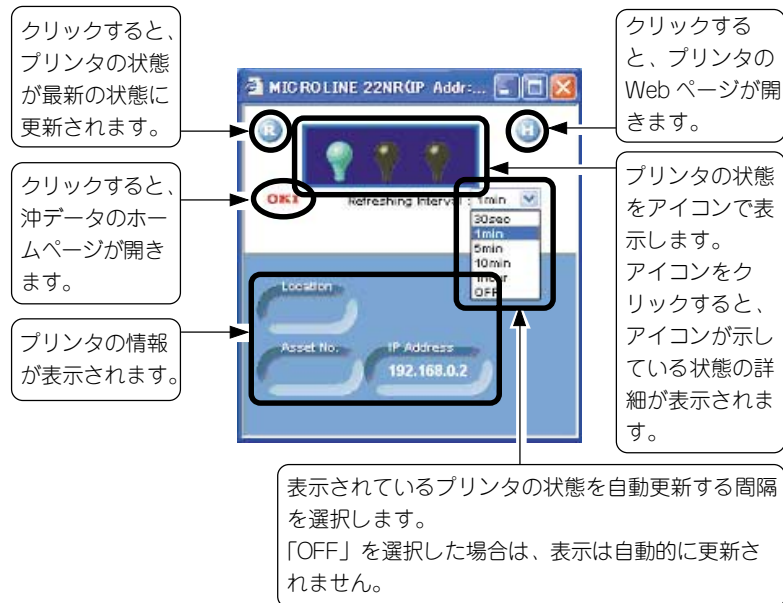
管理者が好きなURLを設定できます。

サポートリンクを5件、その他リンクを5件登録できます。

URLは、http://も含めて入力してください。

ステータスウインドウを使います

ネットワーク上のコンピュータからプリンタの状態をWebブラウザで確認できます。

 「Webブラウザ」(58ページ)の「動作環境」を確認してください。

機能説明

プリンタの状態は、3つのランプで表示されます。

	点　灯	消　灯
左のランプ	オンライン	オフライン
中央のランプ	軽障害（印刷は可能）	軽障害なし
右のランプ	重障害（印刷は不可能）	重障害なし

表示例

- トレイに用紙がない場合

中央のランプをクリックすると、ランプが示す状態の詳細が表示されます。

[×]ボタンをクリックすると、状態の詳細は消えます。

- カバーが開いている場合

右のランプをクリックすると、ランプが示す状態の詳細が表示されます。

[×]ボタンをクリックすると、状態の詳細は消えます。

TELNET

プリンタの各ネットワークプロトコルの設定ができます。

設定します

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows　　: Windows2000 Professional
プリンタ　　: ML22NR
IPアドレス　 : 192.168.0.2
イーサネットアドレス : 00:80:87:84:9C:9B

注 イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(160ページ参照)

❶ Windowsのコマンドプロンプトを起動します。

❷ pingコマンドで接続を確認します。

```
C:¥WINDOWS>ping 192.168.0.2
```

❸ telnetでプリンタに接続します。

ユーザ名は「root」、パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。

ML22NRは「MLETB12」と表示されます。

```
telnet  192.168.0.2
Trying 192.168.0.2 ...
Connected to 192.168.0.2
Escape character is '^]'.
EthernetBoard MLETB12 Ver P1.09 TELNET server.
login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.
No. Message     Value    (level.1)
-------------------------------------
 1 : Setup TCP/IP
 2 : Setup SNMP
 3 : Setup NetWare
 4 : Setup EtherTalk
 5 : Setup NetBEUI
 6 : Setup printer trap
 7 : Setup SMTP(E-Mail)
 9 : Maintenance
10 : Setup printer port
11 : Display Status
12 : IP Filtering Setup
97 : Network Reset
98 : Set default(Network)
99 : Exit setup
Please select(1-99)?
```

注
11： 設定内容を表示します。
97： ネットワークを再起動します。
98： プリンタのネットワークの設定を初期化します。
99： 設定を変更して前画面に戻ります。

❹ 変更する項目の番号を入力し、「Enter」キーを押します。

❺ 各項目を設定します。

❻ プリンタからログアウトします。

新しい設定がプリンタに送信されます。

設定項目

TCP/IP設定画面

```
Please select(1 - 99)? _1

 No.  Message                 Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : TCP/IP Protocol     : ENABLE
  2 : IP Address          : 192.168.0.2
  3 : Subnet Mask         : 255.255.255.0
  4 : Default Gateway     : 192.168.0.1
  5 : RARP Protocol       : DISABLE
  6 : DHCP/BOOTP Protocol: DISABLE
  7 : Auto IP Address     : DISABLE
  8 : DNS Server(Pri.)    : 0.0.0.0
  9 : DNS Server(Sec.)    : 0.0.0.0
 10 : root Password       : "*******"
 11 : Network PnP Setup
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1 - 99)? 11

 No.  Message                 Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : Discovery              : ENABLE
  3 : Device Name            : “ML849C9B”
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

SNMP設定画面

```
Please select(1-99)? _2

 No.  Message                 Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : SysContact              : “”
  2 : SysName                 : “”
  3 : SysLocation             : “”
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

NetWare設定画面

```
Please select(1-99)? _3

 No.  Message                 Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : NetWare Protocol : ENABLE
  2 : Protocol         : IPX
  3 : Frame Type       : AUTO
  4 : Printer Name     : “ML849C9B-prn1”
  5 : NetWare Mode     : PSERVER
  6 : Setup PSERVER(IP)
  7 : Setup PSERVER(IPX)
  8 : Setup RPRINTER(IPX)
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _6

 No.  Message                 Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : NDS Tree                : “”
  2 : NDS Context             : “”
  3 : Print Server Name       : “ML849C9B”
  4 : Password                : “”
  5 : Job Polling Time        : 4
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _7

 No.  Message                 Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : NDS Tree               : “”
  2 : NDS Context            : “”
  3 : Print Server Name      : “ML849C9B”
  4 : Password               : “”
  5 : Job Polling Time       : 4
  6 : Bindery Mode           : ENABLE
  7 : File Server 1          : “”
  8 : File Server 2          : “”
  9 : File Server 3          : “”
 10 : File Server 4          : “”
 11 : File Server 5          : “”
 12 : File Server 6          : “”
 13 : File Server 7          : “”
 14 : File Server 8          : “”
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _8

 No.  Message                 Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : Print Server 1          : “”
  2 : Print Server 2          : “”
  3 : Print Server 3          : “”
  4 : Print Server 4          : “”
  5 : Print Server 5          : “”
  6 : Print Server 6          : “”
  7 : Print Server 7          : “”
  8 : Print Server 8          : “”
  9 : Job Timeout             : 10
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

EtherTalk設定画面

```
Please select(1-99)? _4

 No.  Message                   Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : EtherTalk Protocol: ENABLE
  2 : Printer Name       : "MICROLINE 22NR"
  3 : Zone Name          : "*"
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

NetBEUI設定画面

```
Please select(1-99)? _5

 No.  Message                   Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : NetBEUI Protocol : ENABLE
  2 : Computer Name    : "ML849C9B"
  3 : Workgroup Name   : "PrintServer"
  4 : Comment          : "EthernetBoard
                                  MLETB12"
  5 : Setup WINS
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _5

 No.  Message                   Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : WINS Server (Pri.)     : 0.0.0.0
  2 : WINS Server (Sec.)     : 0.0.0.0
  3 : Scope ID               : ""
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

printer trap設定画面

```
Please select(1-99)? _6

 No.  Message                   Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : Prn-Trap Community     : "public"
  2 : Setup TCP#1 trap
  3 : Setup TCP#2 trap
  4 : Setup TCP#3 trap
  5 : Setup TCP#4 trap
  6 : Setup TCP#5 trap
  7 : Setup IPX   trap
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _2

 No.  Message                   Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : TCP#1 Trap Enable      : DISABLE
  2 : Printer Reboot Trap    : DISABLE
  3 : Receive Illegal Trap   : DISABLE
  4 : Online Trap            : DISABLE
  5 : Offline Trap           : DISABLE
  6 : Paper Out Trap         : DISABLE
  7 : Paper Jam Trap         : DISABLE
  8 : Cover Open Trap        : DISABLE
  9 : Printer Error Trap     : DISABLE
 10 : TCP#1 Trap Address     : 0.0.0.0
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _7

 No.  Message                   Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : IPX   Trap Enable      : DISABLE
  2 : Printer Reboot Trap    : DISABLE
  3 : Receive Illegal Trap   : DISABLE
  4 : Online Trap            : DISABLE
  5 : Offline Trap           : DISABLE
  6 : Paper Out Trap         : DISABLE
  7 : Paper Jam Trap         : DISABLE
  8 : Cover Open Trap        : DISABLE
  9 : Printer Error Trap     : DISABLE
 10 : IPX   Trap Address     : "000000000000"
 11 : IPX   Trap Net         : "00000000"
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

SMTP(E-Mail)設定画面

```
Please select(1-99)? _7

 No.  Message                  Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : SMTP Transmit           : DISABLE
  3 : SMTP Server Name        : ""
  4 : SMTP Port Number        : 25
  5 : E-mail Address          : ""
  6 : Reply-To Address        : ""
  7 : Event to Address 1
  8 : Event to Address 2
  9 : Event to Address 3
 10 : Event to Address 4
 11 : Event to Address 5
 12 : Signature line 1        : ""
 13 : Signature line 2        : ""
 14 : Signature line 3        : ""
 15 : Signature line 4        : ""
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _7

 No.  Message                  Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : To Address 1            : ""
  2 : Re-send Interval        : DISABLE
  3 : Off Line                : DISABLE
  4 : Consumable Message      : DISABLE
  5 : Toner Low/Out           : DISABLE
  6 : Paper Low/Out           : DISABLE
  7 : Paper Jam               : DISABLE
  8 : Cover Open              : DISABLE
  9 : Stacker Error           : DISABLE
 10 : Mass Storage Error      : DISABLE
 11 : Recoverable  Error      : DISABLE
 12 : Service Call Req.       : DISABLE
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

Maintenance設定画面

```
Please select(1-99)? _9

 No.  Message                  Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : FTP Service             : ENABLE
  2 : Telnet Service          : ENABLE
  3 : Web Service             : ENABLE
  4 : SNMP Service            : ENABLE
  5 : LAN Scale               : NORMAL
  6 : DefaultTTL              : 255
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

printer port設定画面

```
Please select(1-99)? _10

 No.  Message                  Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : BOJ String              : ""
  2 : EOJ String              : ""
  3 : BOJ String(KANJI)       : ""
  4 : EOJ String(KANJI)       : "\x04"
  5 : Printer Type            : PS
  6 : TAB Size    (char.)     : 8
  7 : Page Width (char.)      : 78
  8 : Page Length(line)       : 64
  9 : FTP/LPR Banner          : NO
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

IP Filtering設定画面

```
Please select(1-99)? _12

 No.  Message                  Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : IP Filtering            : DISABLE
  2 : IP Address range 1
  3 : IP Address range 2
  4 : IP Address range 3
  5 : IP Address range 4
  6 : IP Address range 5
  7 : IP Address range 6
  8 : IP Address range 7
  9 : IP Address range 8
 10 : IP Address range 9
 11 : IP Address range 10
 12 : Admin IP Address        : 0.0.0.0
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

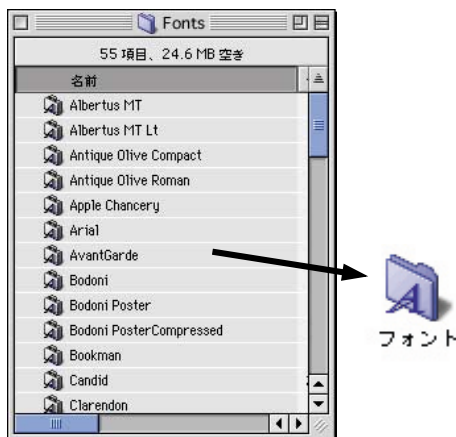
2 Macintosh ソフトウェア

Macintoshスクリーンフォント

欧文スクリーンフォントをインストールします

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ [Fonts]フォルダを開きます。

❸ 使用したいフォントを[システムフォルダ]-[フォント]フォルダにコピーします。

❹ Macintoshを再起動します。

- Mac OS Xでは常にTrueTypeスクリーンフォントで印刷されます。
- [Chicago]、[Geneva]、[Monaco]、[NewYork]は添付されておりません。MacOS添付のフォントをご使用ください。
- Macintoshのシステムに負荷がかかりますので、使用する欧文スクリーンフォントのみをインストールしてください。
- すでにシステムに同名のスクリーンフォントがインストールされている場合は、新たにインストールしなおす必要はありません。
- 和文スクリーンフォントはMacOS添付の平成明朝、平成角ゴシックをご使用ください。フォントの置き換え機能により、文書のレイアウトはそのままにプリンタフォントに置き換えて高速に印刷されます。

MicrolinePS Utility

以下の設定をMacintoshで行うユーティリティです。

- ウェイトタイム、パワーセーブなどプリンタの操作パネルで行う各機能
- プリンタ名/ゾーン名の変更
- PostScriptファイルのダウンロード
- フォントリスト表示
- フォントの置き換え
- ハーフトーン調整

動作環境

Mac OS8.1、8.5、8.5.1、8.6、9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2、Mac OS X Classic環境日本語版が動作するMacintoshでEthernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種
Mac OS9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2日本語版が動作するMacintoshでUSBインタフェースを搭載している機種
LaserWriter8プリンタドライバ

PCLプリンタドライバでは利用できません。

インストールします

PSプリンタソフトウェアをインストールすると、[MicrolinePS]フォルダ内に[MicrolinePS Utility]も同時にインストールされます。

複数のOSを切り替えて使用するときは、各OSにMicrolinePS Utilityをインストールしてください。

起動します

❶ ネットワーク接続の場合、セレクタで[LaserWriter8]をクリックし、プリンタ名を選択し、セレクタを閉じます。

USB接続の場合、デスクトッププリンタアイコンをクリックし、[プリンタ]メニューの[省略時プリンタに指定]を選択します。

❷ [MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]フォルダ内の[MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

MicrolinePS Utility

詳しくは

- オンラインヘルプ
- 「コンピュータからプリンタの設定を変更したい」(145ページ)
- 「プリンタ内蔵フォントを確認したい」(146ページ)
- 「ポストスクリプトファイルをダウンロードしたい」(136ページ)
- 「プリンタフォントに置き換えて印刷したい」(126ページ)
- 「コンピュータのフォントで印刷したい」(129ページ)
- 「写真の印刷濃度を調整したい(ハーフトーン調整)」(121ページ)

をご覧ください。

Webブラウザ

プリンタのネットワークの設定や、メニュー設定ができます。

動作環境

Microsoft Internet Explorer Ver.4.0以上、SafariもしくはNetscape Navigator Ver.4.0以上がインストールされているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ

お使いのブラウザの設定が以下のようになっているか確認してください。

Microsoft Internet Explorer Ver.4.xの場合は、[表示]メニューの[セキュリティ]-[このゾーンのセキュリティレベル]を「中」に設定します。

Microsoft Internet Explorer Ver.5.xの場合は、[ツール]メニューの[インターネットオプション]-[セキュリティ→このゾーンのセキュリティレベル]を「中」に設定します。

Netscape Navigator 4.xの場合は、[編集]メニューの[設定]-[詳細]-[すべてのCookieを受け付ける]に設定します。

Netscape Navigator 6.x～7の場合は、[編集]メニューの[設定]-[プライバシーとセキュリティ]-[Cookie]-[すべてのCookieを有効にする]に設定します。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	：ML5400
プリンタのIPアドレス	：192.168.0.2
イーサネットアドレス	：00:80:87:84:9C:9B
Webブラウザ	：Microsoft Internet Explorer Ver.5.2

イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(160ページ参照)

起動します

❶ Webブラウザを起動します。

❷ [アドレス]にURL「http://プリンタのIPアドレス/」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

IPアドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。

（例） 正しい入力値：http://192.168.0.2/
誤った入力値：http://192.168.000.002/

[プリンタステータス]画面の[ステータス更新]ボタンを有効にするにはWebブラウザで次の設定が必要です。

Microsoft Internet Explorer5.0Jの場合は、[表示]メニューの[インターネットオプション]を選択し、[全般]タブ-[インターネット一時ファイル]-[設定]-[保存しているページの新しいバージョンの確認：]を[ページを表示するごとに確認する]に設定します。

Netscape Navigator4.04Jの場合は、[編集]メニューの[設定]を選択し、[詳細]-[キャッシュ]-[キャッシュしたドキュメントとネットワーク上のドキュメントとの比較]を[セッション毎]に設定します。
設定の変更直後にWebブラウザの大きさを変更すると、[セキュリティ情報]ダイアログが表示されることがあります。その場合は、ダイアログの中の[次回もこの警告を表示する]のチェックを外してください。

設定します

注 Webブラウザでプリンタの設定変更を行うには、プリンタの管理者としてログインする必要があります。

❶ [ログイン]をクリックします。

❷ [ユーザー名]に「root」、[パスワード]に現在のパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

注 パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（160ページ参照）

❸ 必要な設定をした後、[送信]をクリックします。

新しい設定値がプリンタに送信されると、次のような画面が表示されます。

パスワードの設定

プリンタの管理者としてログインするときに使用するパスワードを変更することができます。

❶［ログイン］をクリックします。

❷［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ　パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。
イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（160ページ参照）

❸［メンテナンス］タブをクリックします。

❹［パスワード設定］をクリックします。

❺ [新しいパスワードの入力]に新しいパスワードを入力し、[新しいパスワードの再入力]に再度新しいパスワードを入力します。

注

- パスワードを入力すると、画面上では「*****」と表示されます。
- パスワードは0～15桁までの英数字を入力してください。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

❻ [送信]をクリックします。

新しいパスワードが設定されると、次のような画面が表示されます。

新しいパスワードは、次回の設定を変更するときから有効となります。プリンタの電源のOFF/ONは必要ありません。

このパスワードはTELNET、AdminManagerのパスワードと共通です。ここでパスワードを変更すると、TELNET、AdminManagerのパスワードも変更されます。

2

Webブラウザ

ステータス　タブ

［プリンタステータス］

プリンタの状態を確認できます。操作パネル上の表示と同じ情報を表示する他、「障害情報」としてプリンタに発生しているすべての警告やエラーを表示します。

また、各ネットワークサービスの動作状況やプリンタ情報の一覧、プリンタに設定されているIPアドレスも確認することができます。

［プリンタ情報］

プリンタのシステム仕様を確認することができます。

［ネットワーク情報］

ネットワークの設定情報を確認することができます。

プリンタ　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示される項目

［プリンタ情報］

プリンタのシステム仕様を確認することができます。

［印刷メニュー］

コピー枚数、自動トレイ切り替え、モノクロ印刷速度、印刷品質、印刷位置等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

［メディアメニュー］

各トレイの用紙サイズ、名称付け、カスタム用紙等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

［プリンタ構成メニュー］

パワーセーブへの移行、アラーム発生時の動作、タイムアウト等を設定できます。

［エミュレーション］

サポートしているエミュレーションを設定できます。

［インタフェースメニュー］

ネットワーク以外のインタフェースを設定できます。

［メモリメニュー］

受信バッファサイズの設定。

ネットワーク　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示される項目

[ネットワーク情報]
ネットワークの設定情報を確認することができます。

[一般設定]
ネットワーク上で確認できるプリンタの情報を設定できます。

1) System Contact ...... 管理者への連絡先記載エリア
2) System Name .... プリンタの名称記載エリア
3) System Location ..... プリンタの置き場所記載エリア

[TCP/IP]
TCP/IPに関する情報を設定できます。

[NetWare]
NetWareに関する情報を設定できます。

[EtherTalk]
EtherTalkに関する情報を設定できます。

[NetBEUI/WINS]
NetBEUI/WINSに関する情報を設定できます。

[Email設定]
プリンタに発生した事象をEmailで通知する機能を設定できます。

[SNMP Traps]
プリンタに発生した事象をSNMPで通知する機能を設定できます。

[IPP]
IPP印刷をする機能を設定できます。

ジョブリスト　タブ

[ジョブキュー]
プリンタに送られた印刷ジョブの一覧を表示します。不要なジョブであれば削除することも可能です。

メンテナンス　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示される項目

［設定ページの印刷］

メニューマップ、ネットワークの設定情報(Network Information)、デモページを印刷します。メニューマップ、ネットワークの設定情報(Network Information)は一緒に印刷されます。

［プリンタの再起動］

プリンタを再起動します。ネットワーク機能も同時に再起動されますので、再起動が完了するまでWebブラウザからアクセスしても、Web Pageは表示されません。

［ネットワークの再起動］

ネットワーク機能だけを再起動します。プリンタに対してネットワーク経由でアクセスしている場合にはこのコネクションは切断されてしまいます。再起動が完了するまでWebブラウザからアクセスしても、Web Pageは表示されません。

［工場出荷時設定］

プリンタとネットワークを初期化します。初期化すると、プリンタは動作できますがIPアドレスが初期状態に戻ってしまうため、手動で設定した情報は失われてしまいます。その場合は、Web Pageも表示できなくなってしまいます。

［オペパネのロック］

操作パネル(オペレータパネル)の操作を禁止状態に設定します。

［サービスの設定］

ネットワーク上の各サービスを停止させることができます。ウィルスの発生によりプリンタが攻撃されるような場合には、この機能を使用して回避する必要があります。SNMPだけはなるべく「ENABLE」で使うようお願いします。

［その他、特殊機能］

ネットワーク上でより効率よく動作するための設定です。スパニングツリー機能を持つHUBを使用する場合、クロスケーブルでコンピュータとプリンタを1対1で接続する場合などに効果を発揮します。

［IPフィルタリング］

TCP/IPによるアクセスを制限することができます。「IPアドレスでのアクセス制限機能(IPフィルタ)を使います」(172ページ)をご覧ください。「この人には印刷だけ許可しよう」「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能はIPアドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。

［Hexダンプ］

受信した印刷データをすべて16進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。

［パスワード設定］

管理者のパスワードを変更します。初期状態でのパスワードはイーサネットアドレス下6桁です。

リンク　タブ

［リンク］

製造元で設定したリンクの他、管理者が設定したリンクを表示します。

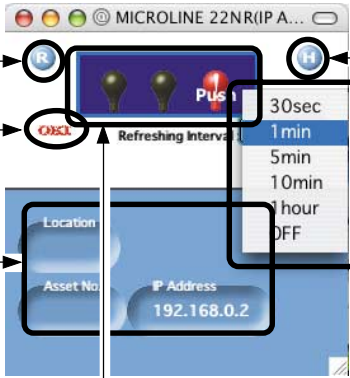
［リンク編集メニュー］

管理者が好きなURLを設定できます。
サポートリンクを5件、その他リンクを5件登録できます。
URLは、http://も含めて入力してください。

2

Webブラウザ

ステータスウインドウを使います

ネットワーク上のコンピュータからプリンタの状態をWebブラウザで確認できます。

「Webブラウザ」(74ページ)の「動作環境」を確認してください。

機能説明

プリンタの状態は、3つのランプで表示されます。

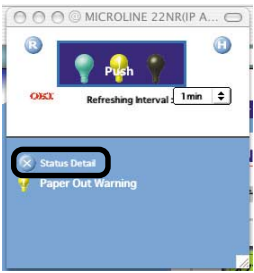
	点　灯	消　灯
左のランプ	オンライン	オフライン
中央のランプ	軽障害(印刷は可能)	軽障害なし
右のランプ	重障害(印刷は不可能)	重障害なし

表示例

- トレイに用紙がない場合

中央のランプをクリックすると、ランプが示す状態の詳細が表示されます。

[×]ボタンをクリックすると、状態の詳細は消えます。

- カバーが開いている場合

右のランプをクリックすると、ランプが示す状態の詳細が表示されます。

[×]ボタンをクリックすると、状態の詳細は消えます。

Setup Utility

プリンタのネットワークの設定ができます。

動作環境

MacOS8.1〜9.2.2日本語版
TCP/IPが動作しているMacintosh

- MacintoshにTCP/IPの設定が必要です。[コントロールパネル]-[TCP/IP]で設定を行ってください。
- Mac OS X、Mac OS X Classic環境には対応していません。

起動します

すでにSetup Utilityがインストールされている場合は、必ず先に削除してください。

❶ プリンタの電源がONになっていることを確認します。

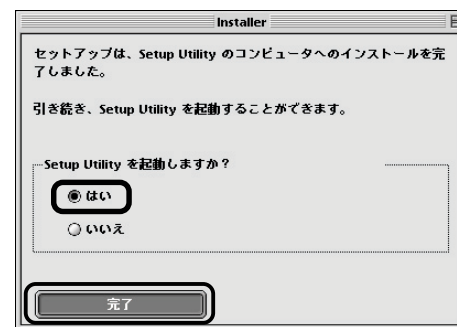
❷ Macintoshが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ [Utility]-[Network]フォルダの中の[Installer]をダブルクリックします。

❹ [Japanese]を選択し、[OK]をクリックします。

❺ インストール先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックします。

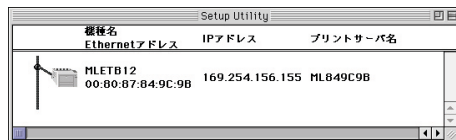
初期設定では、Macintosh HDの[Oki Tools]フォルダにインストールされます。

❻ [Setup Utilityを起動しますか？]で[はい]を選択し、[完了]をクリックします。

Setup Utilityが起動します。

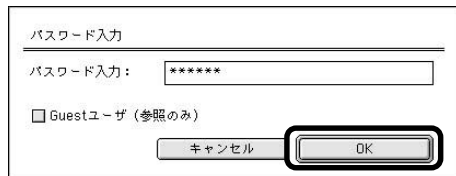
Oki Deviceの設定

各項目の詳細については、「ネットワーク設定項目の一覧」(150ページ)をご覧ください。

❶ 一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。

機種名には、ML22NRの代わりにMLETB12と表示されます。

注 イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(160ページ参照)

❷ [設定]メニューの[Oki Deviceの設定]を選択します。

❸ [パスワード入力]に[イーサネットアドレスの下6桁]を入力し、[OK]をクリックします。

注
- パスワードは、手順❶で選択した「イーサネットアドレス」の下6桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

❹ 必要な項目を設定し、[設定]をクリックします。

❺ 設定に間違いがなければ、[OK]をクリックします。

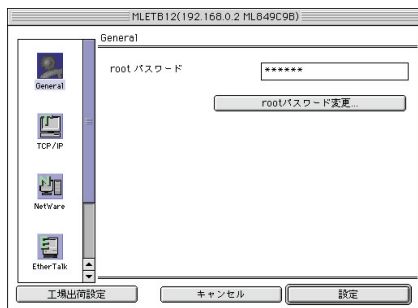
設定値がプリンタに送信されます。

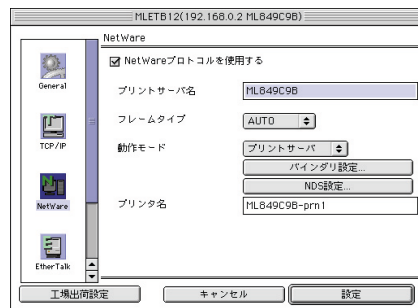
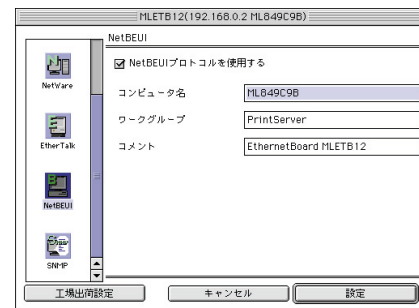
❻ 新しい設定値を有効にするため、[OK]をクリックします。

注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

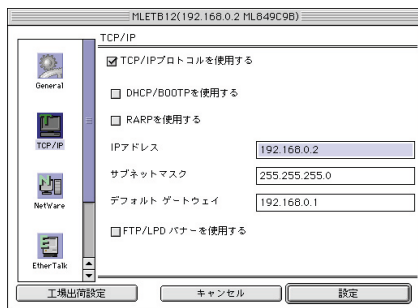
❼ プリンタの電源をOFF/ONします。

❽ Setup Utilityを終了します。

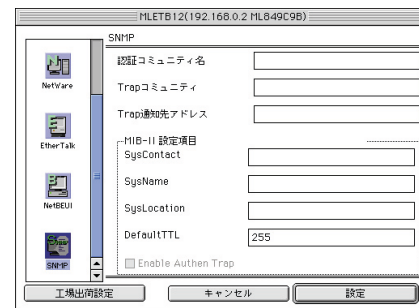
General

パスワードを変更します。

NetWare

NetWareを利用する場合に設定します。
（197ページ）

NetBEUI

NetBEUIを利用する場合に設定します。

TCP/IP

IPアドレスなどの設定をします。

EtherTalk

EtherTalkプリンタ名やゾーン名を変更する場合に設定します。

SNMP

SNMPを利用する場合に設定します。

3 いろいろな用紙に印刷するための設定

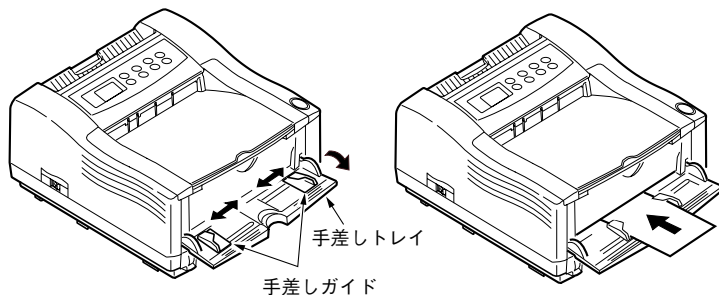
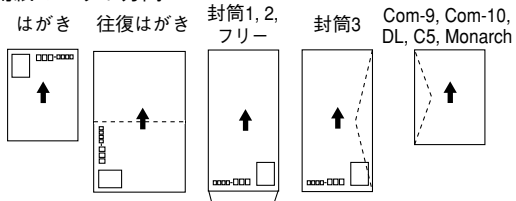
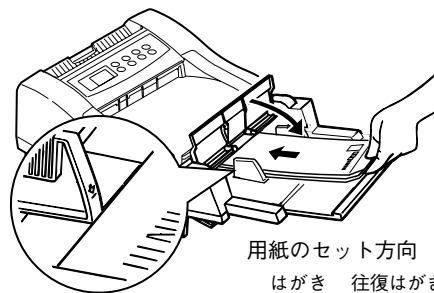
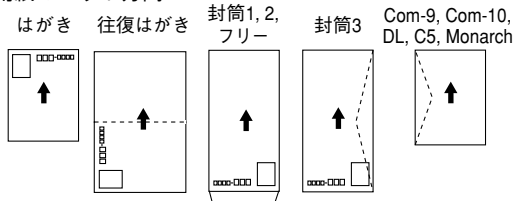
- この章では、Windowsでは[ワードパッド]、Macintoshでは[SimpleText]、Mac OS Xでは[TextEdit]を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。
- Mac OS X 10.0から10.0.4ではPSプリンタドライバの[プリンタの機能]パネル内の機能は使用できません。

はがき、往復はがき、封筒に印刷したい

1 用紙をセットし、セットボタンを押します。

はがき、往復はがき、封筒は手差しトレイやマルチパーパスフィーダ（オプション）から印刷することができます。

- はがき、往復はがき、封筒は用紙カセットからの印刷はできません。
- 印刷速度は遅くなります。

手差しトレイから印刷する場合

マルチパーパスフィーダから印刷する場合

2 フェイスアップスタッカを開きます。

3 操作パネルで用紙サイズと用紙厚を設定します。

ここでは、手差しトレイを使って封筒に設定する手順を説明します。

❶「メニュー」スイッチを数回押し、[メディア／メニュー]を表示します。

❷「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[テサシ　サイズ]を表示します。

❸「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、[フウトウ1]を表示します。

❹「メニュー選択」スイッチを押し、設定値の右側に[＊]を付けます。

❺「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[テサシ　ウエイト]を表示します。

❻「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、[ヨリアツイカミ]を表示します。

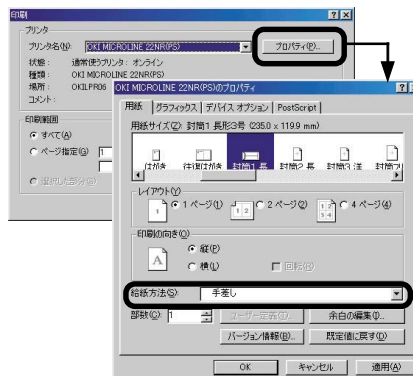
❼「メニュー選択」スイッチを押し、設定値の右側に[＊]を付けます。

❽「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

4 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶ [ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

❷ [サイズ]で封筒サイズ、[印刷の向き]で[縦]または[横]を選択し、[OK]をクリックします。

❸ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❹ [プロパティ]をクリックします。

❺ [用紙]タブの[給紙方法]で[手差し]を選択し、[OK]をクリックします。

- 封筒1～3、封筒フリーで、縦長（長形でフラップ(のりしろ)が上になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の[印刷の向き]で[横]を選択します。
- 封筒1～3、封筒フリーで、横長（長形でフラップ(のりしろ)が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の[印刷の向き]で[縦]を選択します。「印刷」画面の[プロパティ]をクリックし、[デバイスオプション]タブの[プリンタの機能]の[180°]で[回転あり]を選択します。

❻「印刷」画面で[ＯＫ]をクリックし、印刷します。

WindowsXP/2000/Server2003 PS プリンタドライバ

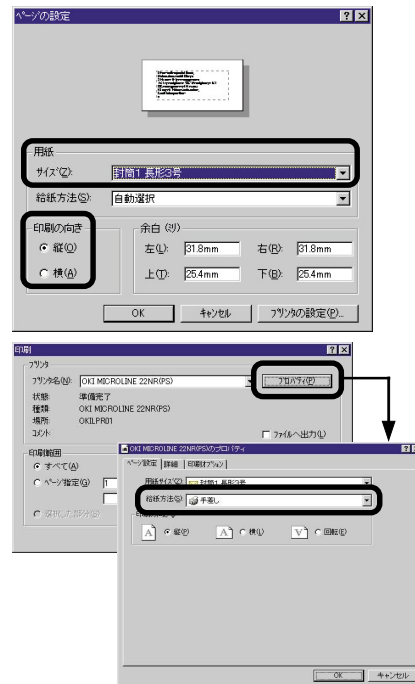
❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で封筒サイズ、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺［用紙 / 品質］タブの［給紙方法］で［手差し］を選択し、［OK］をクリックします。（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

・封筒1～3、封筒フリーで、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［横］を選択します。
・封筒1～3、封筒フリーで、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［縦］を選択します。「印刷」画面の［用紙 / 品質］タブの［詳細設定］をクリックして［180°］で［回転あり］を選択します。

❻「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

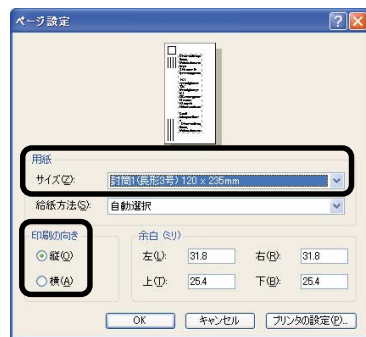
❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で封筒サイズ、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］をクリックします。

❺［詳細］タブの［給紙方法］で［手差し］を選択し、［OK］をクリックします。

・封筒1～3、封筒フリーで、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［横］を選択します。
・封筒1～3、封筒フリーで、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［縦］を選択します。「印刷」画面の［プロパティ］をクリックし、［詳細］タブの［180°］で［回転あり］を選択します。

❻「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

Windows PCL プリンタドライバ

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で封筒サイズ、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］（WindowsXPでは［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［手差し］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❻「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

Macintosh PSプリンタドライバ

❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷［用紙］で封筒サイズ、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙元］で［手差し］を選択します。

メモ
- 封筒1～3、封筒フリーで、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「用紙設定」画面の［方向］で横方向を選択します。
- 封筒1～3、封筒フリーで、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「用紙設定」画面の［方向］で縦方向を選択します。［ファイル］の「プリント」画面の［ジョブオプション］パネルで［180°］にチェックを付けます。

❺［プリント］をクリックし、印刷します。

Macintosh PCLプリンタドライバ

❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷［用紙］で封筒サイズ、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙元］で［手差し］を選択します。

- 封筒1〜3、封筒フリーで、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「用紙設定」画面の［方向］で横方向を選択します。
- 封筒1〜3、封筒フリーで、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「用紙設定」画面の［方向］で縦方向を選択します。［ファイル］の「プリント」画面の［ジョブオプション］パネルで［180°］にチェックを付けます。

❺［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS X PSプリンタドライバ

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で封筒サイズ、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺［給紙］パネルで［手差し］を選択します。

- 封筒1〜3、封筒フリーで、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［方向］で縦方向を選択します。［ファイル］の「プリント」画面の［プリンタ機能］パネルの［印刷オプション］機能セットで［180°］にチェックを付けます。
- 封筒1〜3、封筒フリーで、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［方向］で横方向（中央のアイコン）を選択します。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS X PCLプリンタドライバ

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で封筒サイズ、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺［給紙］パネルで［手差し］を選択します。

メモ
- 封筒1～3、封筒フリーで、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、180°逆に印刷される制限があります。
- 封筒1～3、封筒フリーで、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［方向］で横方向（中央のアイコン）を選択します。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

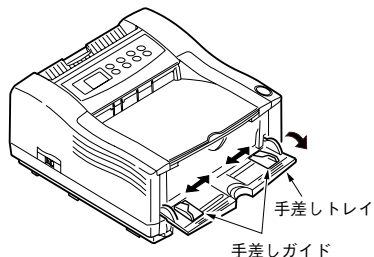
ラベル紙、OHPシートに印刷したい

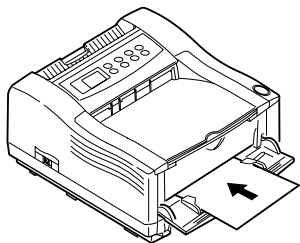
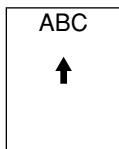
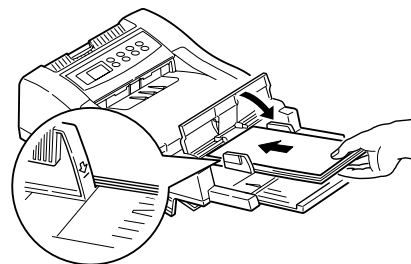
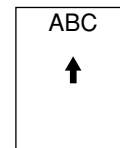
3

ラベル紙、OHPシートに印刷したい

1 用紙をセットし、セットボタンを押します。

ラベル紙、OHPシートは手差しトレイやマルチパーパスフィーダ（オプション）から印刷することができます。

- はがき、往復はがき、封筒は用紙カセットからの印刷はできません。
- 印刷速度は遅くなります。

手差しトレイから印刷する場合

用紙のセット方向

マルチパーパスフィーダから印刷する場合

用紙のセット方向

2 用紙の排出先をセットします。

3 操作パネルで用紙サイズと用紙厚を設定します。

ここでは、手差しトレイを使ってラベル紙に設定する手順を説明します。

❶「メニュー」スイッチを数回押し、[メディア／メニュー]を表示します。

❷「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[テサシ　サイズ]を表示します。

❸「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、[ラベルシ]を表示します。

❹「メニュー選択」スイッチを押し、設定値の右側に[✱]を付けます。

❺「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[テサシ　ウエイト]を表示します。

❻「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、[ヨリアツイカミ]を表示します。

❼「メニュー選択」スイッチを押し、設定値の右側に[✱]を付けます。

❽「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

4 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバ

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］をクリックします。

❺［用紙］タブの［給紙方法］で［手差し］を選択し、［OK］をクリックします。

❻「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

WindowsXP/2000/Server2003 PS プリンタドライバ

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺［用紙/品質］タブの［給紙方法］で［手差し］を選択し、［OK］をクリックします。（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❻「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶[ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

❷[サイズ]で[A4]または[レター]、[印刷の向き]で[縦]または[横]を選択し、[OK]をクリックします。

❸[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❹[プロパティ]をクリックします。

❺[詳細]タブの[給紙方法]で[マルチパーパストレイ]を選択し、[OK]をクリックします。

❻「印刷」画面で[OK]をクリックし、印刷します。

Windows PCL プリンタドライバ

❶[ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

❷[サイズ]で[A4]または[レター]、[印刷の向き]で[縦]または[横]を選択し、[OK]をクリックします。

❸[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❹[プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❺[設定]タブの[給紙方法]で[手差し]を選択し、[OK]をクリックします。
(Windows2000では、[OK]をクリックする必要はありません。)

❻「印刷」画面で[OK]または[印刷]をクリックし、印刷します。

Macintosh PSプリンタドライバ

❶[ファイル]メニューの[用紙設定]を選択します。

❷[用紙]で[A4]または[レター]、[方向]で適切な方向を選択し、[OK]をクリックします。

❸[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❹[給紙元]で[手差し]を選択します。

❺[プリント]をクリックし、印刷します。

Macintosh PCLプリンタドライバ

❶[ファイル]メニューの[用紙設定]を選択します。

❷[用紙]で[A4]または[レター]、[方向]で適切な方向を選択し、[OK]をクリックします。

❸[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❹[給紙元]で[手差し]を選択します。

❺[プリント]をクリックし、印刷します。

Mac OS X PSプリンタドライバ

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［A4］または［レター］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺［給紙］パネルで［手差し］を選択します。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS X PCLプリンタドライバ

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［A4］または［レター］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

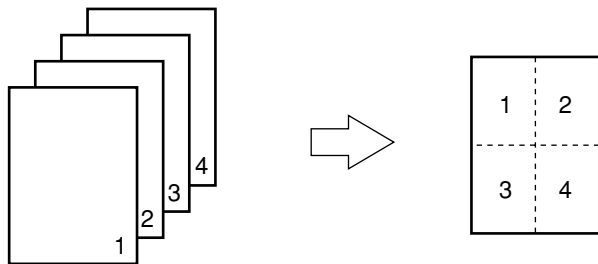
❺［給紙］パネルで［手差し］を選択します。

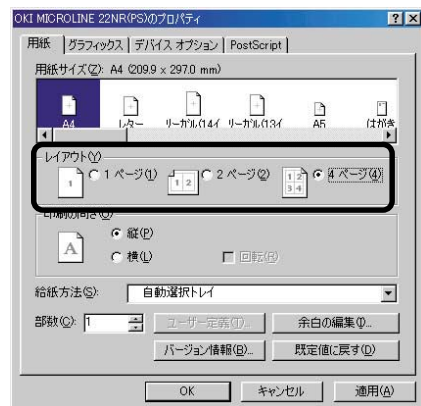
❻［プリント］をクリックし、印刷します。

4 便利な印刷機能

- この章では、Windowsでは[ワードパッド]、Macintoshでは[SimpleText]、Mac OS Xでは[TextEdit]を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。
- Mac OS X 10.0から10.0.4ではPSプリンタドライバの[プリンタの機能]パネル内の機能は使用できません。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバのウォーターマーク機能を使用するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

複数ページを1枚に印刷したい

複数ページのデータを1枚の用紙に縮小して印刷できます。

- この機能はデータを縮小して印刷する機能なので、用紙の中央が正確に合わない場合があります。
- Windows PCLプリンタドライバ、Macintosh PCLプリンタドライバでとじ代の値を変更すると、とじ代の幅に合わせてページ全体を縮小して印刷するため、他の辺の余白も大きくなります。
- Macintosh PCLプリンタドライバの[レイアウト]パネルは[プリント]ダイアログでも選択できます。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [用紙]タブの[レイアウト]を選択します。

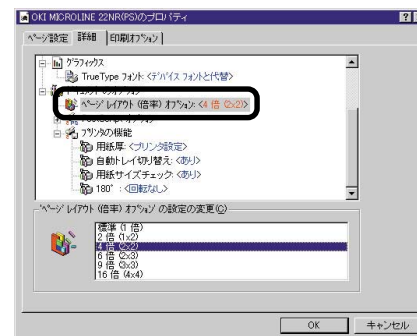
WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [詳細設定]をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

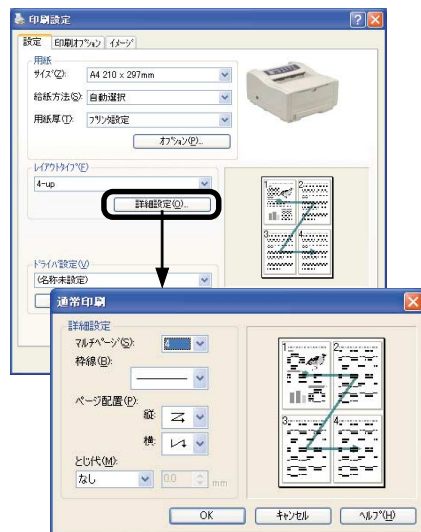
❹ [レイアウト]タブの[シートごとのページ]を選択します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [詳細]タブの[ドキュメントのオプション]-[ページレイアウト(倍率)オプション]を選択します。

Windows PCLプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹[設定]タブの[レイアウトタイプ]で[n-up](nは1枚に印刷するページ数)を選択します。

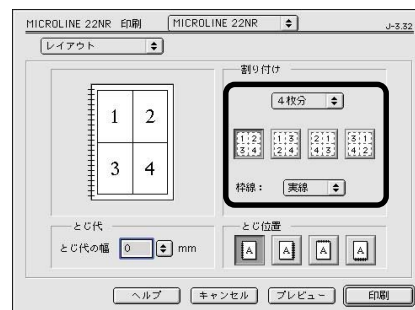
❺[詳細設定]をクリックし、必要に応じて[枠線]、[ページ配置]、[とじ代]を設定します。とじ代は上下左右に0〜30mmまで設定できます。

Macintosh PSプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸[レイアウト]パネルの[ページ割り付け]、[レイアウト方向]、[枠線]を選択します。

Macintosh PCLプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[用紙設定]を選択します。

❸[レイアウト]パネルの[割り付け]、[枠線]を選択します。

❹必要に応じて[とじ代]を設定します。
とじ代は上下左右に0〜30mmまで設定できます。

Mac OS X PS/PCLプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸[レイアウト]パネルの[ページ数/枚]、[レイアウト方向]、[枠線]を選択します。

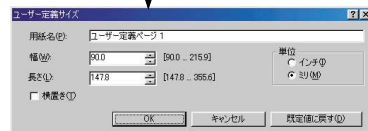
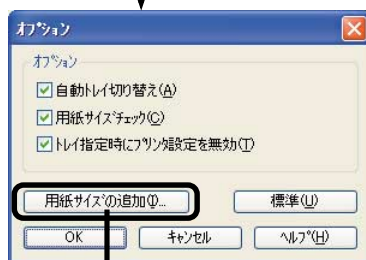
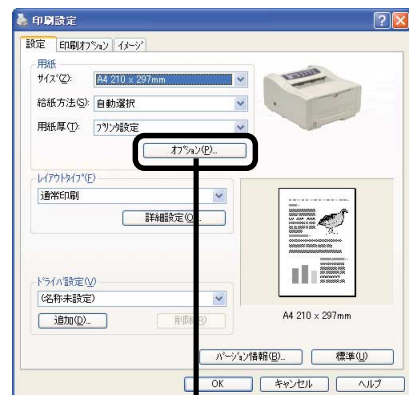
任意の用紙サイズに印刷したい(カスタムページ)

独自の用紙サイズを設定して通常の用紙サイズと同じように使用できます。

- 用紙サイズは必ず縦長に設定してください。
- Windows PSプリンタドライバ、Macintosh PSプリンタドライバでは、[封筒フリー]を選択することができますが、任意の用紙サイズを設定することはできません。画面上は215.9×297mmのサイズで表示され、印刷時はトレイにセットされている用紙で印刷されます。
- WindowsNT4.0 PCLプリンタドライバではコンピュータの管理者の権限が必要です。

［設定できるサイズ］
幅　：90～215.9mm
長さ：148～355.6mm

※・トレイ2は幅148～215.9mm、長さ（高さ）210～355.6mm
　・マルチパーパスフィーダは長さ（高さ）148～297mm
　・プリンタドライバによって設定できる範囲が多少異なります。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

1. アプリケーションを起動します。
2. [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。
3. [プロパティ]をクリックします。
4. [用紙]タブの[用紙サイズ]の中から、[ユーザー定義ページ1]を選択します。
5. [ユーザー設定]をクリックし、「ユーザー定義サイズ」画面で[用紙名]、[幅]、[長さ]、[横置き]を入力、または選択します。
6. [OK]をクリックします。

[ユーザー定義ページ]は1～3までの3つが選択でき、それぞれに任意の値を入力できます。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[詳細設定]をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹[レイアウト]タブの[詳細設定]をクリックします。

❺[用紙サイズ]で、[PostScriptカスタムページサイズ]を選択します。

❻「PostScriptカスタムページサイズの定義」画面で[幅]、[高さ]、[用紙の向き]を入力、または選択します。

❼[OK]をクリックします。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ]をクリックします。

❹[ページ設定]タブの[用紙サイズ]で、[Post Scriptカスタムページサイズ]を選択します。

❺「PostScriptカスタムページサイズの定義」画面で[幅]、[高さ]、[用紙の向き]を入力、または選択します。

❻[OK]をクリックします。

Windows PCLプリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。
(WindowsXPでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。)

❷ プロパティを開きます。

WindowsMe/98/95の場合
[OKI MICROLINE 22NR(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003の場合
[OKI MICROLINE 22NR(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定]を選択します。

WindowsNT4.0の場合
[OKI MICROLINE 22NR(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[ドキュメントの既定値]を選択します。

❸ [設定]タブの[オプション]をクリックします。

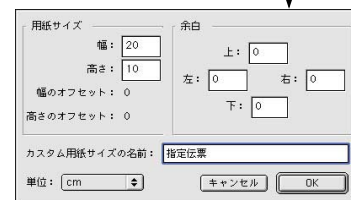
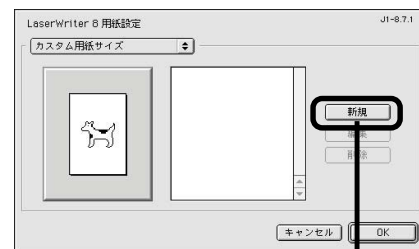
❹「給紙オプション」画面で[用紙サイズの追加]をクリックします。

❺「用紙サイズの追加」画面で[名称]、[幅]、[長さ]を入力します。

❻ [追加]をクリックします。

❼ [OK]をクリックします。

作成した用紙は、[設定]タブの[サイズ]リストの下の方に表示されます。合計32個まで定義できます。

Macintosh PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

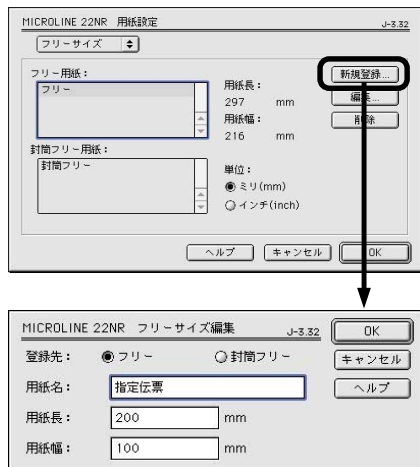
❷ [ファイル]メニューの[用紙設定]を選択します。

❸ [カスタム用紙サイズ]パネルの[新規]をクリックします。

❹「カスタム用紙サイズ編集」画面で、[カスタム用紙サイズの名前]、[幅]、[高さ]を入力します。

❺ [OK]をクリックします。

作成した用紙は[ページ属性]パネルの[用紙]リストの下の方に表示されます。

Macintosh PCLプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[用紙設定]を選択します。

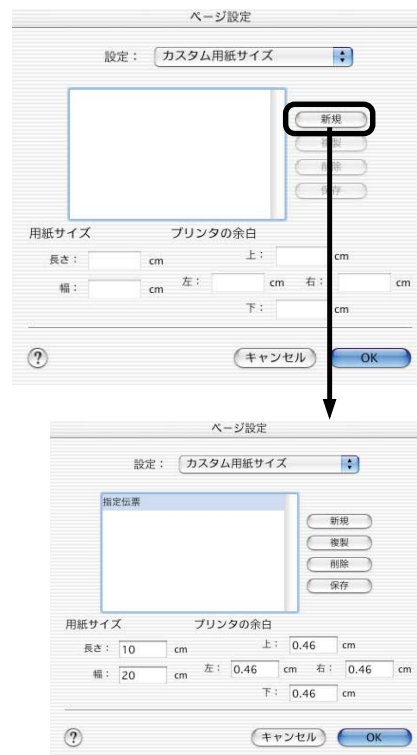
❸[フリーサイズ]パネルの[新規登録]をクリックします。

❹「フリーサイズ編集」画面で[登録先]を選択し、[用紙名]、[用紙長]、[用紙幅]を入力します。

❺[OK]をクリックします。

作成した用紙は、[用紙設定]ダイアログの[一般設定]パネルの[用紙]リストの下の方に表示されます。フリー用紙、封筒フリー用紙をそれぞれ8個まで定義できます。

Mac OS X PS/PCLプリンタドライバ

Mac OS X 10.2.3以前のバージョンでは利用できません。

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

❸[カスタム用紙サイズ]パネルの[新規]をクリックします。

❹「カスタム用紙サイズ編集」画面で、[カスタム用紙サイズの名前]、[幅]、[長さ]を入力します。

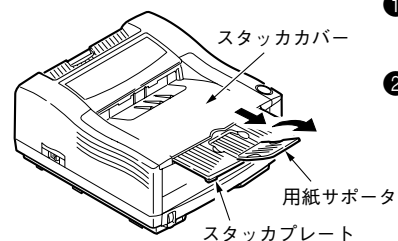
❺[保存]をクリックします。

作成した用紙は[ページ属性]パネルの[用紙サイズ]リストの下の方に表示されます。

ページ順に取り出したい

複数ページの文書を印刷するとき、ページ順で取り出せます。
二通りの方法があります。

フェイスダウンスタッカに排出する

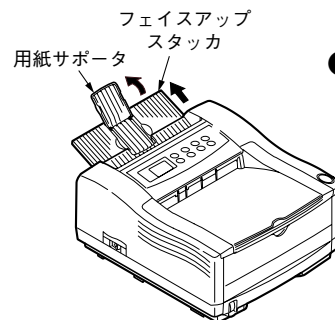
印刷面が下になって排出されます。

❶プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

❷スタッカプレートを引き出し、用紙サポータを起こします。

- A5よりも小さい用紙（長さ210mm未満）、はがき、封筒、ラベル紙、OHPシート、連量76kg以上の用紙は、紙づまりの原因になりますので、必ずフェイスアップで排出してください。
- 薄手の用紙で紙づまりが発生する場合は、フェイスアップで排出してください。

フェイスアップスタッカを使い、逆順に印刷する

印刷面が上になって排出されます。

WindowsMe/98/95/NT4.0 PSプリンタドライバ、Windows PCLプリンタドライバ、Macintoshプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。

❶プリンタ背面のフェイスアップスタッカを引き出し、用紙サポータを開きます。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

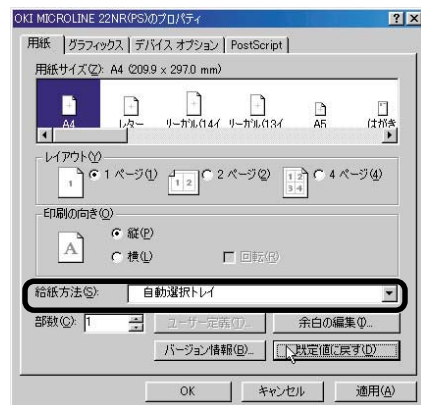
❸[詳細設定]をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹[レイアウト]タブの[ページの順序]で[逆]を選択します。

トレイを自動的に選択したい

プリンタドライバで設定した用紙サイズに一致するトレイ(用紙カセット(トレイ1、2(2はオプション))、マルチパーパスフィーダ(オプション))を自動的に選択して印刷できます。

- Macintosh PCLプリンタドライバ、Mac OS X PCLプリンタドライバでは利用できません。
- 必ず操作パネルで、用紙カセット(トレイ1、2)、マルチパーパスフィーダの用紙サイズと用紙厚を設定してください。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [用紙]タブの[給紙方法]で[自動選択トレイ]を選択します。

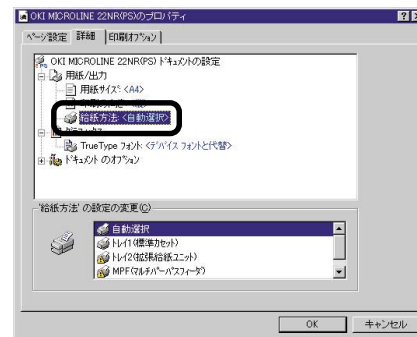
WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [詳細設定]をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [用紙/品質]タブの[給紙方法]で[自動選択]を選択します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [詳細]タブの[給紙方法]で[自動選択]を選択します。

Windows PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [設定]タブの[給紙方法]で[自動選択]を選択します。

Macintosh PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [一般設定]パネルの[給紙元]で[全体]、[自動選択]を選択します。

Mac OS X PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [給紙]パネルで[全体]、[自動選択]を選択します。

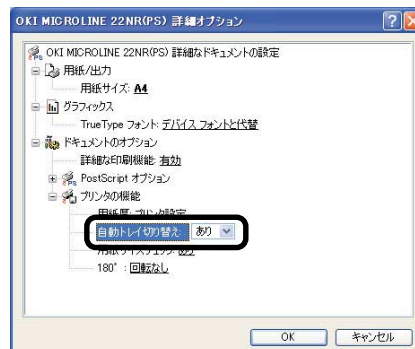
同じ用紙サイズを大量に印刷したい

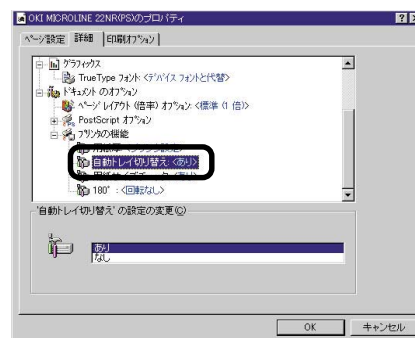
トレイ(用紙カセット(トレイ1、2(2はオプション))、マルチパーパスフィーダ(オプション))に同じ用紙サイズ、同じ用紙厚の用紙をセットしている場合に、トレイの用紙がなくなったら、他のトレイから印刷することができます。

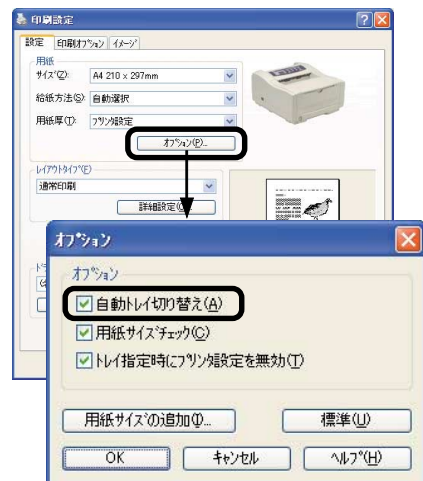
必ず操作パネルで、用紙カセット(トレイ1、2)、マルチパーパスフィーダの用紙サイズと用紙厚を設定してください。各トレイの用紙サイズ、用紙厚が異なる場合、自動トレイ切り替えはできません。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

1. アプリケーションを起動します。
2. [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。
3. [プロパティ]をクリックします。
4. [デバイスオプション]タブの[自動トレイ切り替え]で[あり]を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

1. アプリケーションを起動します。
2. [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。
3. [詳細設定]をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)
4. [レイアウト]タブの[詳細設定]をクリックします。
5. [自動トレイ切り替え]で[あり]を選択します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

1. アプリケーションを起動します。
2. [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。
3. [プロパティ]をクリックします。
4. [詳細]タブの[ドキュメントのオプション]-[プリンタの機能]-[自動トレイ切り替え]で[あり]を選択します。

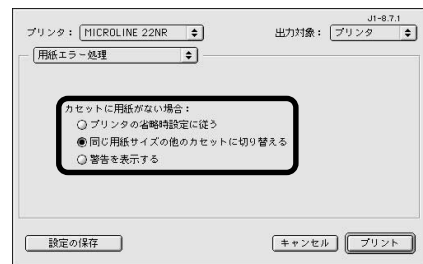
Windows PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [設定]タブの[オプション]をクリックします。

❺ [自動トレイ切り替え]にチェックを付けます。

Macintosh PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [用紙エラー処理]パネルの[カセットに用紙がない場合]で[同じ用紙サイズの他のカセットに切り替える]を選択します。

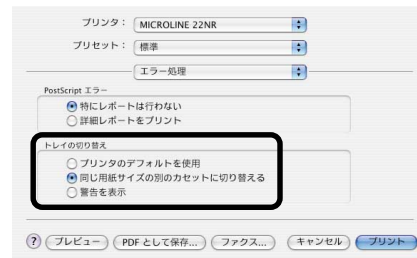
Macintosh PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [オプション]パネルの[拡張給紙ユニット]または[マルチパーパスフィーダ]が[あり]になっていることを確認し、[自動トレイ切り替え]にチェックを付けます。

[自動トレイ切り替え]の設定は印刷する書類が異なっても常に有効です。

Mac OS X PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [エラー処理]パネルの[トレイの切り替え]で[同じ用紙サイズの別のカセットに切り替える]を選択します。

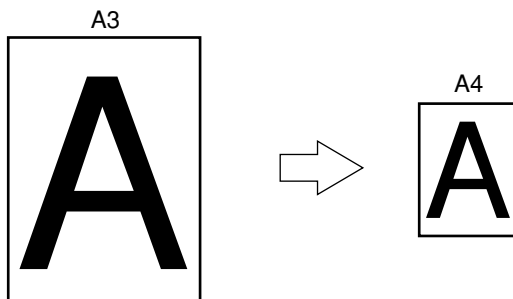
Mac OS X PCLプリンタドライバ

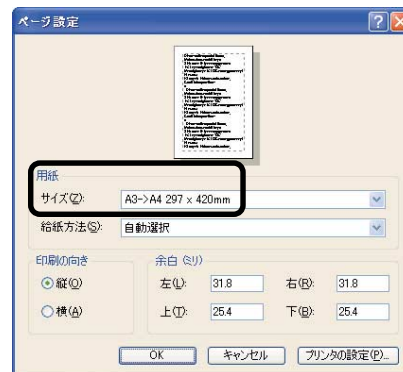
❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [プリンタオプション]パネルの[自動トレイ切り替え]にチェックを付けます。

用紙サイズを変更したい

印刷データに手を加えることなく、異なる用紙サイズに印刷できます。

- Windows PSプリンタドライバ、Macintosh PSプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。
- 用紙サイズを変換できるのは[A3→A4]、[B4→A4]のみです。
- アプリケーションによっては、正常に動作しない場合があります。
- Windowsのプロパティの[印刷オプション]タブの[拡大・縮小](またはMacintoshの[用紙設定]ダイアログの[一般設定]パネルの[拡大／縮小率])はデータを縮小するもので、用紙サイズを変換するものではありません。

Windows PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

❸ [サイズ]で[A3→A4]または[B4→A4]を選択します。

Macintosh PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

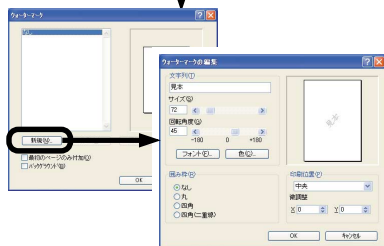
❷ [ファイル]メニューの[用紙設定]を選択します。

❸ [一般設定]パネルの[用紙]で[A3→A4]または[B4→A4]を選択します。

ウォーターマークを印刷したい(スタンプ印刷)

アプリケーションから印刷される内容とは独立して[見本]や[社外秘]などの文字を重ね印刷できます。

- WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ、Macintosh PSプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバのウォーターマーク機能を使用するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003 PSプリンタドライバ

1. アプリケーションを起動します。
2. [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。
3. [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)
4. [印刷オプション]タブの[ウォーターマーク]をクリックします。
5. [新規]をクリックします。
6. 「ウォーターマークの編集」画面で[文字列]を入力し[サイズ]他を選択します。
7. [OK]をクリックします。
8. 印刷するウォーターマークが選択されていることを確認し、[OK]をクリックします。

Windows PCLプリンタドライバ

1. アプリケーションを起動します。
2. [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。
3. [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)
4. [印刷オプション]タブの[ウォーターマーク]をクリックします。

5. [新規]をクリックします。

6. 「ウォーターマークの編集」画面で[文字列]を入力し[サイズ]他を選択します。
7. [OK]をクリックします。
8. 印刷するウォーターマークが選択されていることを確認し、[OK]をクリックします。

Macintosh PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [ウォーターマーク]パネルの[新規]をクリックします。

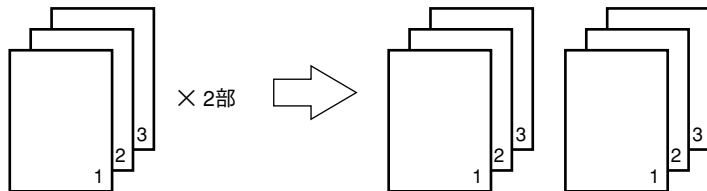
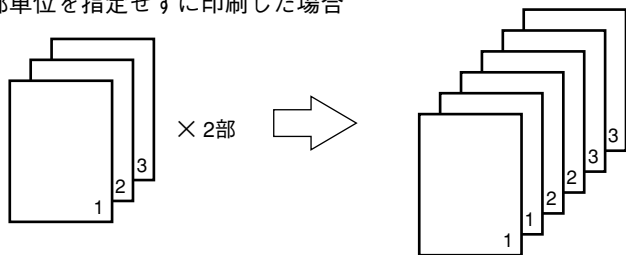
❹ [名称]、[文字列]を入力し、[フォント]、[サイズ]他を選択し、[保存]をクリックします。

❺ [ウォーターマーク]パネルの[ウォーターマーク]を[あり]にし、[リストボックス]で印刷するウォーターマークが選択されていることを確認します。

メモ [ファイル登録]をクリックしてPICT形式のファイルを指定すると画像をウォーターマークにすることができます。

文書を部単位で印刷したい（丁合印刷）

印刷ジョブをプリンタのメモリに蓄えて部単位で印刷することができます。

部単位を指定して印刷した場合

部単位を指定せずに印刷した場合

- アプリケーションの部単位印刷機能はオフにしてください。
- Windows PSプリンタドライバ、Windows PCLプリンタドライバでは利用できません。

Macintosh PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [一般設定]パネルの[部数]に印刷部数を入力し、[丁合い]にチェックを付けます。

Macintosh PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [一般設定]パネルの[部数]に印刷部数を入力し、[丁合い]にチェックを付けます。

Mac OS X PS/PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [印刷部数と印刷ページ]パネルの[部数]に印刷部数を入力し、[丁合い]にチェックを付けます。

高解像度で印刷したい

1200×600dpiの高解像度で印刷することができます。

- PSドライバを利用する場合、[きれい]または[ふつう]を指定すると複雑なファイルを印刷できないことがあります。このようなときは[はやい]で印刷してください。
- 高解像度に設定すると、印刷時間が長くなる場合があります。このプリンタは印刷処理をコンピュータ側でも行っています。PCLプリンタドライバを利用する場合、処理速度の速いコンピュータを使用すると印刷時間を短くできます。
- Macintosh PCLプリンタドライバを利用する場合、アプリケーションによっては、プリンタドライバが通知するPICT解像度によって印刷品位が変わる場合があります。このようなときは「プリンタドライバの初期設定を変更したい」(132ページ)でPICT解像度を変更してください。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで本画面を表示するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

1. アプリケーションを起動します。
2. [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。
3. [プロパティ]をクリックします。
4. [グラフィックス]タブの[解像度]で[きれい]を選択します。

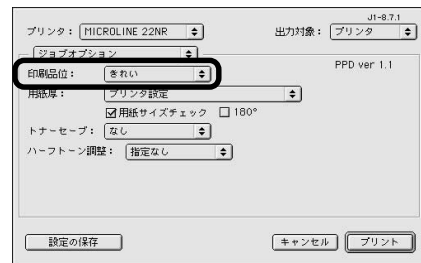
WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003 PSプリンタドライバ

1. アプリケーションを起動します。
2. [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。
3. [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)
4. [印刷オプション]タブの[印刷品位]で[きれい]を選択します。

   WindowsNT4.0 PSプリンタドライバで、本画面が表示されない場合は、[詳細]タブの[グラフィックス]の[解像度]で[1200]を選択します。

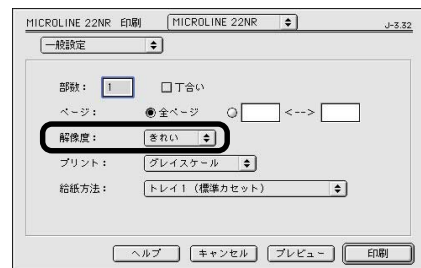
Windows PCLプリンタドライバ

1. アプリケーションを起動します。
2. [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。
3. [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)
4. [印刷オプション]タブの[印刷品位]で[きれい]を選択します。

Macintosh PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [ジョブオプション]パネルの[印刷品位]で[きれい]を選択します。

Macintosh PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [一般設定]パネルの[解像度]で[きれい]を選択します。

Mac OS X PSプリンタドライバ

Mac OS X 10.0〜10.0.4では利用できません。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [プリンタの機能]パネル（Mac OS X 10.1.5以前では[プリンタ機能]パネル）の[印刷品位]機能セットの[解像度]で[きれい]を選択します。

Mac OS X PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

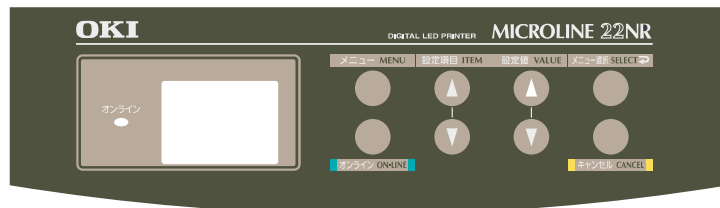
❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [印刷品質]パネルで[きれい]を選択します。

印刷濃度を濃くしたい、薄くしたい

印刷濃度を5段階に変更できます。小さな文字がつぶれたり、イメージデータが濃くなる場合は「薄い(マイナス)」の方向に設定してください。細い線が途切れる場合は「濃い(プラス)」の方向に設定してください。

- Macintosh PCLプリンタドライバ、Mac OS X PCLプリンタドライバを使用する場合は、プリンタドライバの設定が常に優先されます。
- Windows PCLプリンタドライバを使用する場合は、[プリンタの印刷濃度を調整する]にチェックを付けると、プリンタドライバの設定が優先されます。
- Windows PSプリンタドライバ、Macintosh PSプリンタドライバ、Mac OS X PSプリンタドライバでは指定できません。操作パネルで設定してください。

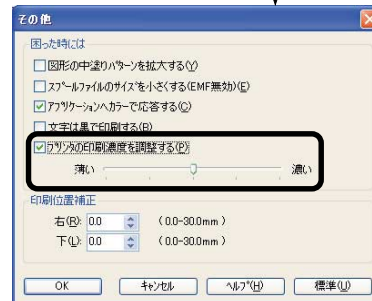
操作パネルを使う場合

❶「メニュー」スイッチを数回押し、[メンテナンス/メニュー]を表示します。

❷「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[インサツノウド]を表示します。

❸「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、目的の値を表示します。

❹「メニュー選択」スイッチを押し、値の右端に[＊]を付けます。

❺「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

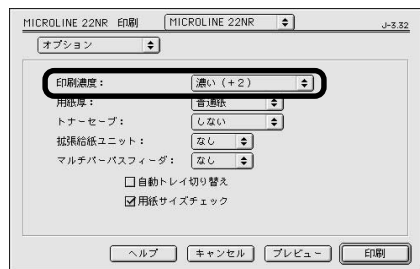
Windows PCLプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹[印刷オプション]タブの[その他]をクリックします。

❺[プリンタの印刷濃度を調整する]にチェックを付け、適切な値を選択します。

Macintosh PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [オプション]パネルの[印刷濃度]で適切な値を選択します。

[印刷濃度]の設定は印刷する書類が異なっても常に有効です。

Mac OS X PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

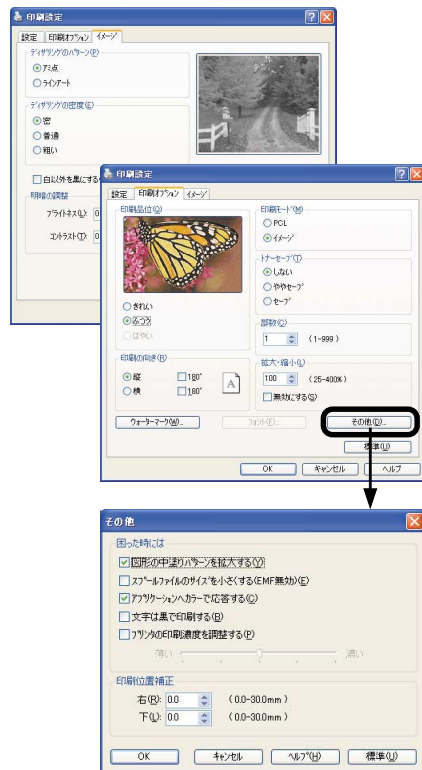
❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [プリンタオプション]パネルの[印刷濃度]で適切な値を選択します。

画像印刷の仕上りを変更したい

PCLプリンタドライバでは、プリンタドライバの設定によって画像の印刷結果が総合的に決まります。希望する結果が得られるまでこれらの設定をいろいろ変更してください。

Windows PSプリンタドライバ、Macintosh PSプリンタドライバ、Mac OS X PSプリンタドライバでは利用できません。

Windows PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [イメージ]タブの[ディザリングのパターン]、[ディザリングの密度]、[明暗の調整]を選択します。

❺ [印刷オプション]タブの[印刷品位]を選択します。

❻ [その他]をクリックします。

❼ [図形の中塗りパターンを拡大する]の設定を変更します。

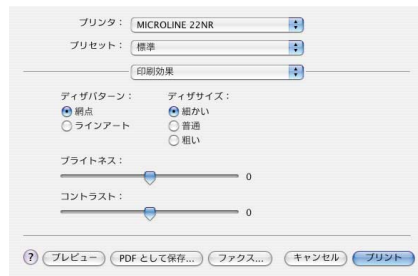
Macintosh PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [印刷効果]パネルの[ディザパターン]、[ディザサイズ]、[パターンサイズ]、[ブライトネス]、[コントラスト]を選択します。

❹ [一般設定]パネルの[解像度]、[プリント]を選択します。

Mac OS X PCLプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸[印刷効果]パネルの[ディザパターン]、[ディザサイズ]、[ブライトネス]、[コントラスト]を選択します。

❹[印刷品質]パネルで[印刷品質]を選択します。

写真の印刷濃度を調節したい(ハーフトーン調整)

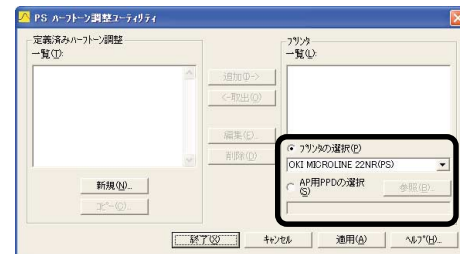
イメージデータのハーフトーン濃度を調整することができます。写真などの画像が濃すぎる場合に調節してください。

- Windows PCLプリンタドライバ、Macintosh PCLプリンタドライバ、Mac OS X PCLプリンタドライバでは利用できません。
- PSハーフトーン調整ユーティリティ(Windows)のセットアップについては、142ページをご覧ください。
- Windowsでは[ハーフトーン調整名]を登録後、WindowsMe/98/95ではプロパティの[デバイスオプション]タブ、WindowsXP/2000/Server2003では[用紙/品質]タブの[詳細設定]、WindowsNT4.0では[詳細]タブに[ハーフトーン調整]メニューまたはその内容が表示されない場合があります。この場合はコンピュータを再起動してください。
- ハーフトーン調整を使用すると、印刷が遅くなる場合があります。速度を優先したい場合は、[ハーフトーン調整]で[指定なし]を選択してください。
- Adobe PageMaker7.0J/6.5Jの場合は、[プリント]ダイアログの[形式]で[プリンタ名]を選択してから[プリンタ特性]をクリックし、[ハーフトーン調整]で「ハーフトーン調整名」を指定してください。
- 「ハーフトーン調整名」を登録する以前から起動されていたアプリケーションは、印刷前に再起動する必要があります。
- アプリケーションによっては、ドットゲインの補正やハーフトーン調整を印刷時に指定したり、またはEPSファイルにその設定を含める機能を持つものがあります。アプリケーション側のこのような機能を利用する場合は、[ハーフトーン調整]で[指定なし]を選択してください。
- PSハーフトーン調整ユーティリティの「プリンタの選択」リストには機種名が表示されます。[プリンタ](WindowsXPは[プリンタとFAX])フォルダに複数の同一機種プリンタが存在する場合は、登録した「ハーフトーン調整名」すべての同一機種プリンタに有効となります。

Windows PSプリンタドライバ

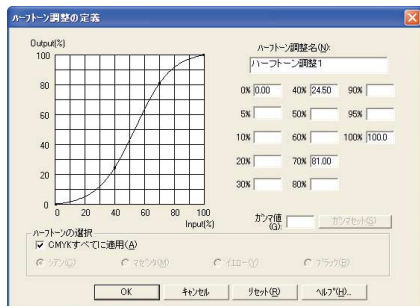
1 ハーフトーン調整名を登録します。

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[PSハーフトーン調整ユーティリティ]-[PSハーフトーン調整ユーティリティ]を選択します。

❷ [プリンタの選択]から、プリンタを選択します。

注 アプリケーション(Adobe PageMaker等)によっては印刷時に独自に用意されたPPDファイルを使用するものがあります。この場合は[AP用PPDの選択]を選択し、[参照]をクリックしてアプリケーションの使用するPPDファイルを選択します。

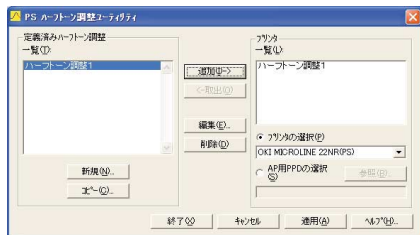
❸ [新規]をクリックします。

❹次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力してから[OK]をクリックします。

- グラフ線を直接操作する。
  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。
- ガンマ値を入力する。
  ガンマ値を入力し、[ガンマセット]をクリックします。自動的に13の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は0.01から99.99まで指定できます。1.0より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

❺[追加→]をクリックします。

ハーフトーン調整名が[プリンタ]の[一覧]に表示されます。

❻[適用]をクリックします。

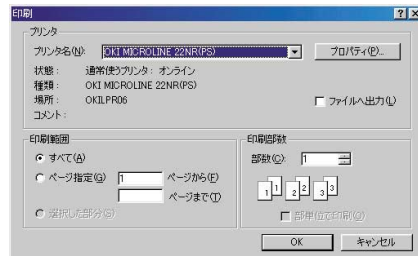
1つのPPDファイルにWindowsMe/98/95では1つ、WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では最大6つまで「ハーフトーン調整名」を登録できます。

❼PPDへの登録完了画面で[OK]をクリックします。

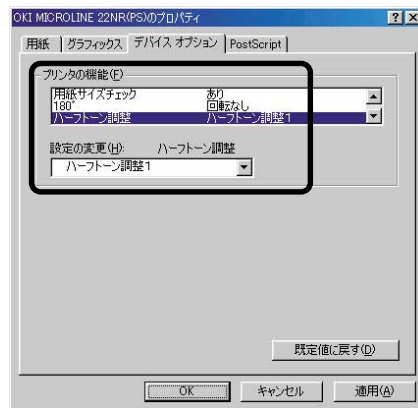
❽[終了]をクリックし、PSハーフトーン調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバでハーフトーン調整名を選択し、印刷します。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ]をクリックします。

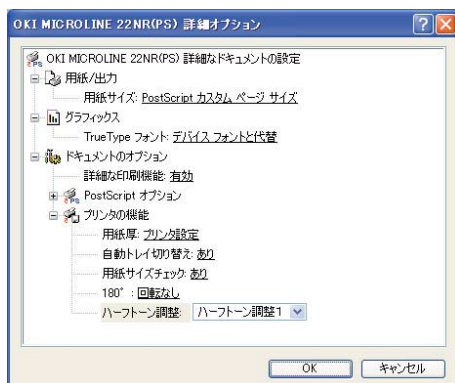
❹[デバイスオプション]タブの[ハーフトーン調整]で、手順1の❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

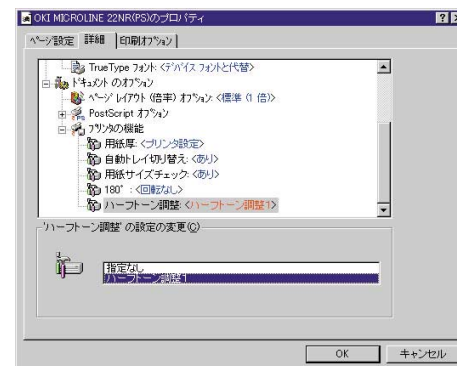
❸[詳細設定]をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹[用紙/品質]タブの[詳細設定]をクリックします。

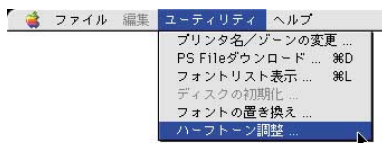
❺[ハーフトーン調整]で、手順1の❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

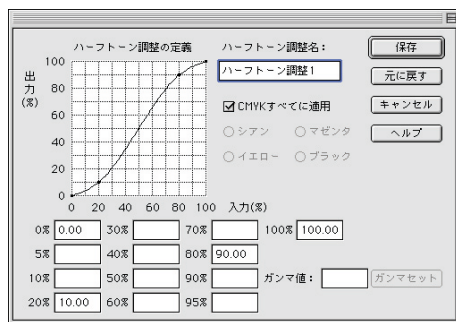
❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ]をクリックし、[詳細]タブの[ハーフトーン調整]で、手順1の❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

Macintosh PSプリンタドライバ

❶ [MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]-[MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

❷ [ユーティリティ]メニューから[ハーフトーン調整...]を選択します。

❸ [新規ハーフトーン調整の定義]をクリックします。

❹ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力し、[保存]をクリックします。

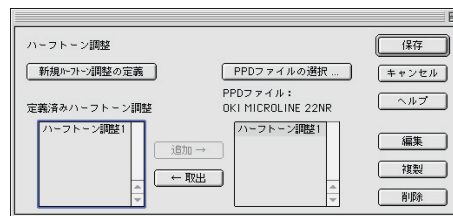
- グラフ線を直接操作する。
  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。
- ガンマ値を入力する。
  ガンマ値を入力し、[ガンマセット]をクリックします。自動的に13の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は0.01から99.99まで指定できます。1.0より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

❺ ハーフトーン調整を登録するPPDファイルが選択されているか確認します。

別のPPDファイルが選択されている場合は[PPDファイルの選択...]をクリックし、目的のPPDファイルを選択します。

❻ [追加→]をクリックします。

新しいハーフトーン濃度調整名が右の登録一覧に表示されます。

❼ [保存]をクリックします。

登録一覧に表示しているハーフトーン濃度調整名を、選択されているPPDファイルに登録します。

❽ MicrolinePS Utilityを終了します。

❾ アプリケーションを起動します。

❿ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

⓫ [ジョブオプション]パネルの[ハーフトーン調整]で、手順❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

Mac OS X PSプリンタドライバ

❶ [アプリケーション]-[OKIDATA]-[PSハーフトーン調整ユーティリティ]をダブルクリックします。

❷ [新規ハーフトーン調整の定義]をクリックします。

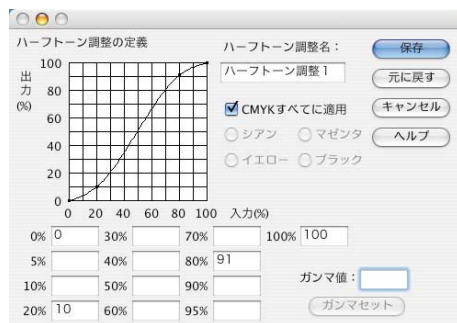
❸ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力し、[保存]をクリックします。
各色ごとに調整するときは、[CMYKすべてに適用]のチェックを外し、調整する色にチェックを付けます。

- グラフ線を直接操作する。

  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。

- ガンマ値を入力する。

  ガンマ値を入力し、[ガンマセット]をクリックします。自動的に13の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は0.01から99.99まで指定できます。1.0より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。

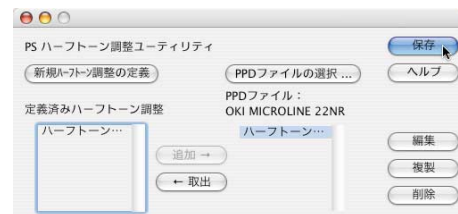
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

❹ ハーフトーン調整を登録するPPDファイルが選択されているか確認します。

別のPPDファイルが選択されている場合は[PPDファイルの選択...]をクリックし、目的のPPDファイルを選択します。

❺ [追加→]をクリックします。

新しいハーフトーン調整名が右の登録一覧に表示されます。

❻ [保存]をクリックします。「認証」画面が表示された場合は、管理者権限をもつユーザ名とパスワードを入力します。

登録一覧に表示しているハーフトーン調整名を、選択されているPPDファイルに登録します。

❼ PSハーフトーン調整ユーティリティを終了します。

❽ [プリンタ設定ユーティリティ]（Mac OS X 10.2以前では[プリントセンター]）に登録されているハーフトーン調整を行ったプリンタを一旦削除し、プリンタを再登録します。

❾ アプリケーションを起動します。

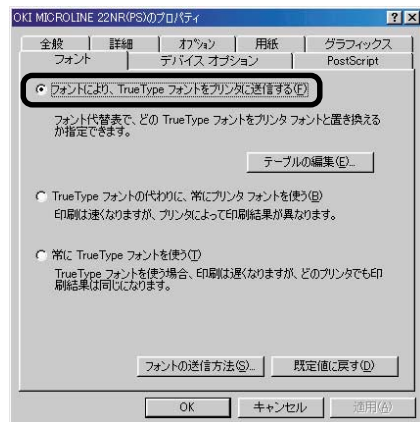
❿ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

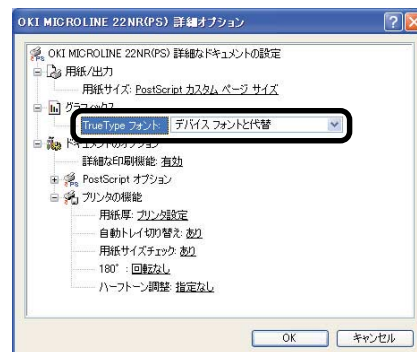
⓫ [プリンタの機能]パネルの[印刷オプション]機能セットの[ハーフトーン調整]で、手順❸で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

プリンタフォントに置き換えて印刷したい

TrueTypeフォントをプリンタ内蔵フォントに置き換えて印刷できます。

- Macintosh PCLプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。
- フォントの置き換え機能は、文書の体裁は保持しますが、フォントのデザインを再現させるものではありません。フォントのデザインを正確に印刷する必要がある場合は、フォントの置き換え機能を無効にしてください。
- 独自のプリンタドライバを使用している一部のアプリケーションでは、フォントの置き換え機能が正常に動作しないことがあります。
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003 PSプリンタドライバ、WindowsNT4.0 PCLプリンタドライバは、コンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

1. [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。
2. [OKI MICROLINE 22NR(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。
3. [フォント]タブの[フォントにより、TrueTypeフォントをプリンタに送信する]を選択します。
4. [テーブルの編集]をクリックし、[フォント代替表]でTrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換え、[OK]をクリックします。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

1. [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。
（WindowsXPでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。）
2. [OKI MICROLINE 22NR(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。
3. [デバイスの設定]タブの[フォント代替表]で、TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換え、[OK]をクリックします。
4. アプリケーションの[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。
5. [詳細設定]をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）
6. [レイアウト]タブの[詳細設定]をクリックします。
7. [TrueTypeフォント]で[デバイスフォントと代替]にします。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

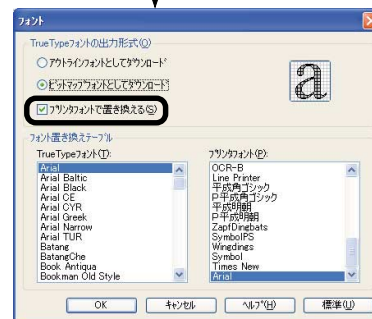
❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷［OKI MICROLINE 22NR（PS）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスの設定］タブの［フォント代替表］で、TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換え、［OK］をクリックします。

❹アプリケーションの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

❺［プロパティ］をクリックし、［詳細］タブの［TrueTypeフォント］で［デバイスフォントと代替］を選択します。

Windows PCLプリンタドライバ

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

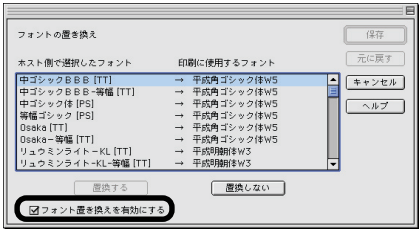
❷プロパティを開きます。
WindowsMe/98/95の場合
［OKI MICROLINE 22NR（PCL）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。
WindowsXP/2000/Server2003の場合
［OKI MICROLINE 22NR（PCL）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。
WindowsNT4.0の場合
［OKI MICROLINE 22NR（PCL）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの既定値］を選択します。

❸［印刷オプション］タブの［印刷モード］で［PCL］を選択します。

❹［フォント］をクリックします。

❺［プリンタフォントで置き換える］にチェックを付けます。

❻［フォント置き換えテーブル］でTrueTypeフォントをどのプリンタフォントに置き換えるかを指定します。

Macintosh PSプリンタドライバ

❶ [MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]-[MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

❷ [ユーティリティ]メニューから[フォントの置き換え...]を選択します。

❸ [ホスト側で選択したフォント]ごとに、[置換する]または[置換しない]をクリックします。

❹ [フォント置き換えを有効にする]にチェックを付けます。

❺ [保存]をクリックします。

置き換えフォント一覧表

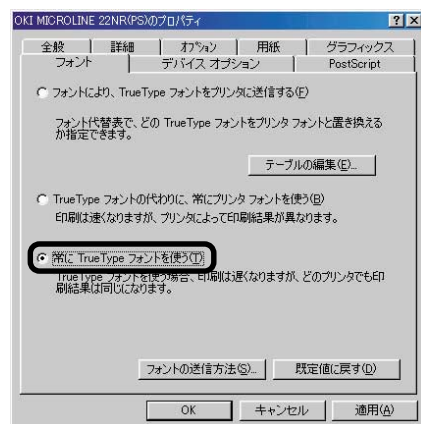
ホスト側で選択したフォント		フォント種別	印刷に使用するフォント
通常表示	Adobe Illustrator等の表示		
中ゴシックBBB	ChuGothicBBB Medium	TT	平成角ゴシック体W5
中ゴシックBBB-等幅	ChuGothicBBB Medium Mono	TT	平成角ゴシック体W5
中ゴシック体	GothicBBB-Medium	PSE	平成角ゴシック体W5
等幅ゴシック	—	PSE	平成角ゴシック体W5
Osaka	Osaka Regular	TT	平成角ゴシック体W5
Osaka-等幅	Osaka Regular-Mono	TT	平成角ゴシック体W5
リュウミンライト-KL	Ryumin Light KL	TT	平成明朝体W3
リュウミンライト-KL-等幅	Ryumin Light KL Mono	TT	平成明朝体W3
細明朝体	Ryumin Light	PSE	平成明朝体W3
等幅明朝	—	PSE	平成明朝体W3
平成角ゴシック	HeiseiKakuGothic W5	TT	平成角ゴシック体W5
平成明朝	HeiseiMincho W3	TT	平成明朝体W3
本明朝-M	HonMincho-Medium	TT	平成明朝体W3
B太ゴB101	FutoGoB101-Bold	PSE	平成角ゴシック体W5
B太ミンA101	FutoMinA101-Bold	PSE	平成明朝体W3
見出ゴMB31	MidashGo-MB31	PSE	平成角ゴシック体W5
見出ミンMA31	MidashMin-MA31	PSE	平成明朝体W3

TT：True Typeフォント
PSE：PostScript Emulationフォント

コンピュータのフォントで印刷したい

TrueTypeフォントを画面表示のまま出力できます。

- Macintosh PCLプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは設定の必要はありません。
- 印刷時間が長くなることがあります。
- WindowsNT4.0 PCLプリンタドライバは、コンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 22NR(PS)]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [フォント]タブで[常に、TrueTypeフォントを使う]を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

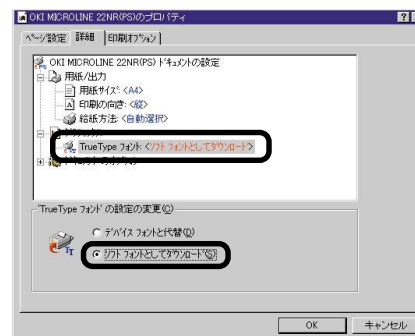
❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [詳細設定]をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [レイアウト]タブの[詳細設定]をクリックします。

❺ [TrueTypeフォント]で[ソフトフォントとしてダウンロード]を選択します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [詳細]タブの[TrueTypeフォント]で[ソフトフォントとしてダウンロード]を選択します。

Windows PCLプリンタドライバ

❶[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。
(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。)

❷プロパティを開きます。
WindowsMe/98/95の場合
　[OKI MICROLINE 22NR(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。
WindowsXP/2000/Server2003の場合
　[OKI MICROLINE 22NR(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定]を選択します。
WindowsNT4.0の場合
　[OKI MICROLINE 22NR(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[ドキュメントの既定値]を選択します。

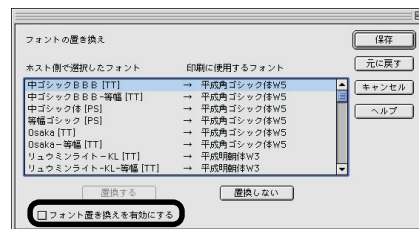
❸[印刷オプション]タブの[印刷モード]で[PCL]を選択します。

❹[フォント]をクリックします。

❺[プリンタフォントで置き換える]のチェックを外します。

アウトラインフォントとしてダウンロード
　プリンタでフォントイメージを作成します。

ビットマップフォントとしてダウンロード
　プリンタドライバでフォントイメージを作成します。

Macintosh PSプリンタドライバ

❶[MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]-[MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

❷[ユーティリティ]メニューから[フォントの置き換え...]を選択します。

❸[フォント置き換えを有効にする]のチェックを外します。

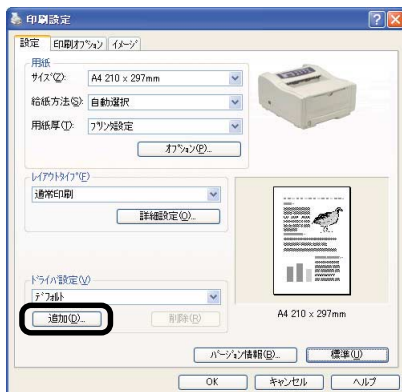
❹[保存]をクリックします。

4
コンピュータのフォントで印刷したい

プリンタドライバの設定を保存して、繰り返し使用したい

プリンタドライバで設定した内容を保存することができます。
複数箇所の設定を変更した内容を保存しておくと、次回からドライバ設定を指定するだけで自動的に複数箇所の設定が保存されていた内容に変更されます。

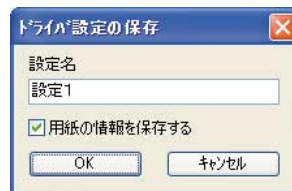
- Windows PSプリンタドライバ、Macintoshプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでは利用できません。
- WindowsNT4.0はコンピュータの管理者の権限が必要です。

Windows PCLプリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。
（WindowsXPでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。）

❷ プロパティを開きます。

WindowsMe/98/95の場合
[OKI MICROLINE 22NR(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003の場合
[OKI MICROLINE 22NR(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定]を選択します。

WindowsNT4.0の場合
[OKI MICROLINE 22NR(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[ドキュメントの既定値]を選択します。

❸ 各設定を変更します。

❹ [設定]タブの[ドライバ設定]で[追加]を選択します。

❺ [設定名]に設定の名前を入力し、[OK]をクリックします。

用紙情報を保存する
チェックを付けると、[設定]タブの[用紙]の設定も保存します。

最大14個まで保存することができます。

保存した設定を呼び出して使います

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [ドライバ設定]で、使用する設定を選択し、[OK]をクリックします。

プリンタドライバの初期設定を変更したい

頻繁に変更する機能は初期設定を変更すると便利です。

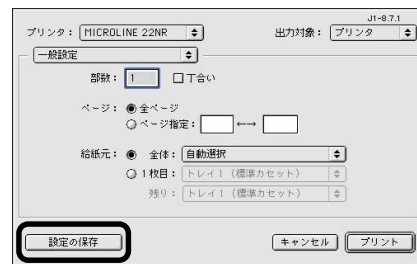
 WindowsNT4.0はコンピュータの管理者の権限が必要です。

Windowsプリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。
(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。)

❷ プロパティを開きます。
WindowsMe/98/95の場合
[OKI MICROLINE 22NR(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。
WindowsXP/2000/Server2003の場合
[OKI MICROLINE 22NR(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定]を選択します。
WindowsNT4.0の場合
[OKI MICROLINE 22NR(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[ドキュメントの既定値]を選択します。

❸ 各設定を変更し、[OK]をクリックします。

Macintosh PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ 各設定を変更し、[設定の保存]をクリックします。

❹ [OK]をクリックします。

- [用紙設定]ダイアログの初期設定は変更できません。
- アプリケーション独自の設定項目は保存されません。

Macintosh PCLプリンタドライバ

❶[アップル]メニューの[セレクタ]を選択します。

❷[ML22NR(USB)]アイコンをクリックします。

❸右側のボックスからプリンタ名を選択し、[設定]をクリックします。

❹[用紙設定ダイアログ]をクリックし、各設定を変更し、[設定]をクリックします。

❺[印刷ダイアログ]をクリックし、各設定を変更し、[設定]をクリックします。

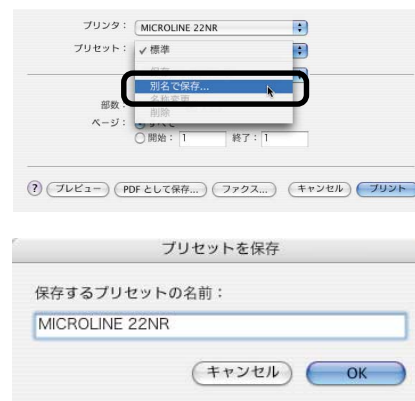
❻[保存]をクリックし、セレクタを閉じます。

[部数]、[ページ]は変更できません。

メモ

PICT解像度

プリンタドライバがアプリケーションに通知する解像度を選択します。アプリケーションによっては印刷品位と印刷時間に影響します。

Mac OS Xプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

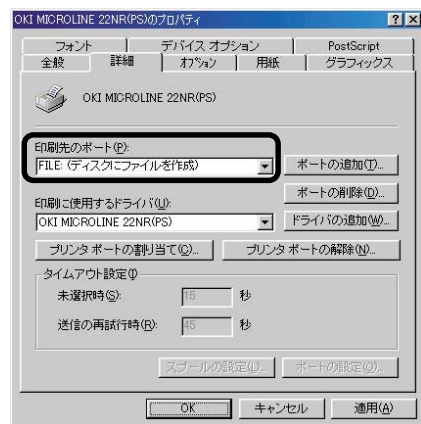
❸各設定を変更し、Mac OS X 10.1.5以前では[カスタム設定を保存]を選択します。Mac OS X 10.2以降の場合、[プリセット]で[別名で保存]を選択し、適当な設定名を入力し、[OK]をクリックします。

- [ページ設定]ダイアログの初期設定は変更できません。
- 印刷時に[プリセット]で保存した設定名(Mac OS X 10.1.5以前の場合は、[カスタム])を選択してください。

印刷データをファイルに出力したい

印刷データをファイルに書き出して保存することができます。

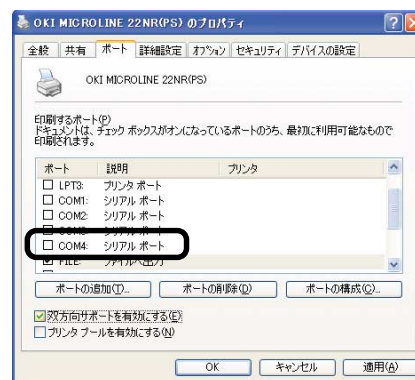
- Macintosh PCLプリンタドライバ、Mac OS X PCLプリンタドライバでは利用できません。
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98/95プリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI MICROLINE 22NR(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [詳細]タブの[印刷先のポート]で[FILE:]を選択し、[OK]をクリックします。

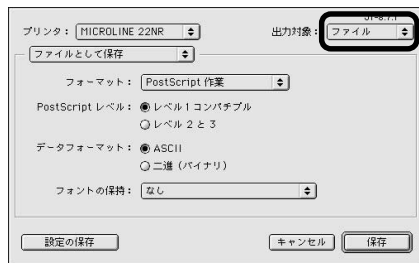
❹ 印刷します。[ファイルへ出力]で[ファイル名]を入力し、[フォルダ]を選択し[OK]をクリックします。

WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003プリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。)

❷ [OKI MICROLINE 22NR(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [ポート]タブの[印刷するポート]で[FILE:]を選択し、[OK]をクリックします。

❹ 印刷します。[ファイルへ出力]で[出力先ファイル名]を入力し、[OK]をクリックします。

Macintosh PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [出力対象]で[ファイル]を選択します。

❹ [ファイルとして保存]パネルで設定を行います。

フォーマット
ポストスクリプトファイル形式を指定します。

PostScriptレベル
出力するプリンタに合わせて指定します。

データフォーマット
アスキー/バイナリ形式のいずれで保存するか指定します。

バイナリのPostScript言語ファイルを転送する場合、通信サービスがバイナリデータ転送をフルサポートしている必要があります。

フォントの保持
ファイルにダウンロード可能なフォントを含めるか指定します。PostScriptフォントしか使っていない場合は[なし]を選択します。

❺ 印刷します。[名前]に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、[保存]をクリックします。

Mac OS X PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

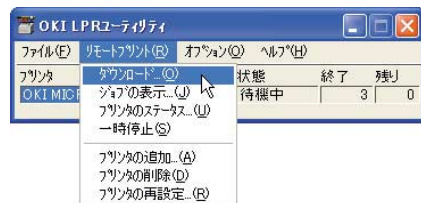
❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [出力オプション]パネルで[ファイルとして保存]にチェックを付け、[フォーマット]で[PostScript]を選択し、[保存]をクリックします。

❹ [別名で保存]に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、[保存]をクリックします。

ポストスクリプトファイルをダウンロードしたい

ファイルに出力したポストスクリプトファイルなどをプリンタにダウンロードし、印刷することができます。

OKI LPRユーティリティ（Windows）を使う場合

 TCP/IPでネットワークに接続している場合に利用できます。

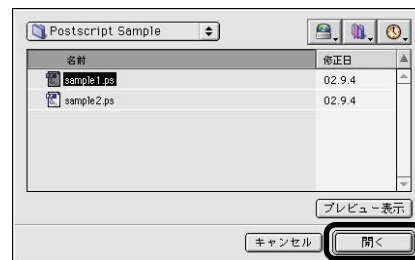
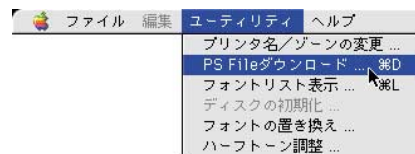
❶ OKI LPRユーティリティを起動します。

❷ [リモートプリント]メニューの[ダウンロード...]を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、[開く]をクリックします。

ポストスクリプトファイルのダウンロードが開始されます。

MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

 Mac OS Xでは利用できません。

❶ [MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]-[MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

❷ [ユーティリティ]メニューから[PS Fileダウンロード...]を選択します。

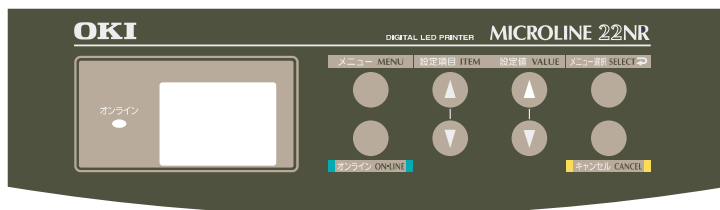
❸ ダウンロードするファイルを選択し、[開く]をクリックします。

ポストスクリプトファイルのダウンロードが開始されます。

メモ ポストスクリプトファイルをMicrolinePS Utilityアイコン上にドラッグ＆ドロップすることでもダウンロードできます。

ポストスクリプトエラーを印刷したい

ポストスクリプトエラーが発生したときに、エラー内容を印刷することができます。

操作パネルを使う場合

❶「メニュー」スイッチを数回押し、[システムコウセイ／メニュー]を表示します。

❷「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[エラーレポート]を表示します。

❸「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、目的の値を表示します。

❹「メニュー選択」スイッチを押し、値の右端に[＊]を付けます。

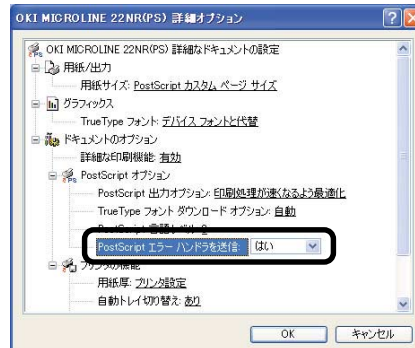
❺「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ

❶[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷[OKI MICROLINE 22NR(PS)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸[PostScript]タブの[PostScriptエラー情報を印刷する]にチェックを付け、[OK]をクリックします。

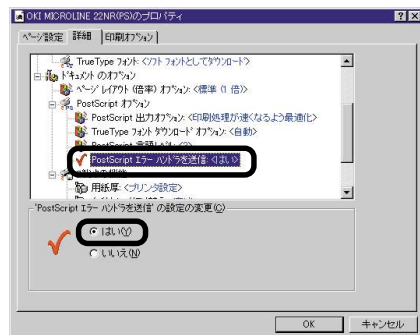
WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバ

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[詳細設定]をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹[レイアウト]タブの[詳細設定]をクリックします。

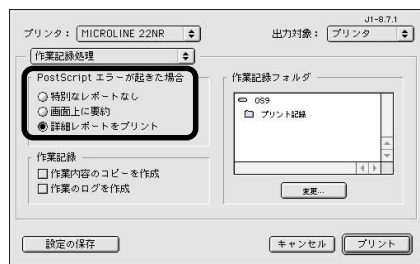
❺[PostScriptオプション]-[PostScriptエラーハンドラを送信]で[はい]を選択します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

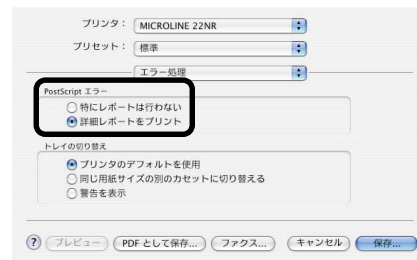
❸ [プロパティ]をクリックします。

❹ [詳細]タブの[PostScriptオプション]-[PostScriptエラーハンドラを送信]で[はい]を選択します。

Macintosh PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [作業記録処理]パネルの[PostScriptエラーが起きた場合]で[詳細レポートをプリント]を選択します。

Mac OS X PSプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [エラー処理]パネルの[PostScriptエラー]で[詳細レポートをプリント]を選択します。

アプリケーション別の設定

PSプリンタドライバで印刷する場合に注意が必要なアプリケーションについて簡単に説明します。詳しくは各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

Adobe PageMaker(Windows版)

Adobe PageMaker7.0J/6.5J/6.0Jで印刷するには、PPDファイルのインストールが必要です。

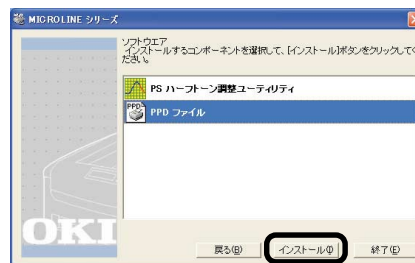
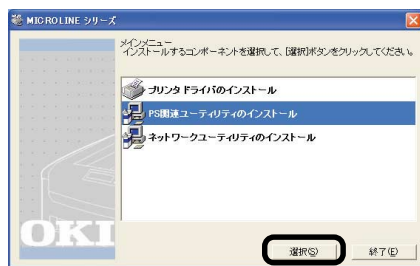
❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ CD-ROMのアイコンを開きます。
〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブルメディアのある領域]の[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。
〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0の場合〉
[マイコンピュータ]-[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

❸ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❹「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❺ [PS関連ユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❻ [PPDファイル]を選択し、[インストール]をクリックします。

❼「インストール先の選択」画面が表示されたら、[参照]をクリックして、インストールするフォルダを選択し、[OK]をクリックします。

PageMaker7.0Jの場合 pagemaker7.0J¥rsrc¥ japanese¥ppd4 PageMaker6.5Jの場合 pm65j¥rsrc¥japanese¥ppd4 PageMaker6.0Jの場合 pm6¥rsrc¥ppd4

❽ [次へ]をクリックします。

PPDファイルがインストールされます。

❾ [完了]をクリックします。

❿ [終了]をクリックします。

⓫ PageMakerの[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。

⓬ [プリンタ]と[形式]で[OKI MICROLINE 22NR(PS)]を選択します。

[プリンタ]はプリンタドライバを、[形式]はPPDファイルを意味しています。

⓭ [印刷]をクリックします。

QuarkXPress4.1/4.0J（Windows版、Macintosh版）

- [ファイル]メニューの[印刷]-[出力]パネルで[ハーフトーン]を必ず[プリンタ]にしてください。[計算値]にすると印刷が粗くなります。
- MacintoshとUSBで接続している場合は[ファイル]メニューの[印刷]-[プリンタフォント]タブでプリンタフォントを検索することができません。
  プリンタフォントを使うときは[プリンタフォント]タブの[ポストスクリプト印刷]の欄をクリックして使用するフォントにチェックを付けてください。

Adobe Photoshop7.0/6.0/5.5/5.0J（Windows版、Macintosh版）

- [ファイル]メニューの[用紙設定]で[ハーフトーンスクリーン]をクリックし、[プリンタの初期設定値を使う]を必ずONにしてください(Macintoshでは[ファイル]メニューの[用紙設定]-[Adobe PhotoshopXX]パネルの[ハーフトーンスクリーン])。OFFにして印刷すると印刷が粗くなることがあります。
- ハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含むEPSファイルは、印刷が粗くなることがあります。プリンタに最適なハーフトーンで印刷するには、EPSファイルの作成時にハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含めないようにしてください。

Adobe Illustrator10.0/9.0/8.0/7.0J（Windows版、Macintosh版）

- [ファイル]メニューの[書類設定]で[プリンタの初期設定値を使う]を必ずONにしてください。OFFにして印刷すると印刷が粗くなることがあります。

Microsoft PowerPoint（Windows版、Macintosh版）

- 白抜き文字や色のついた文字が黒色で印刷される場合は、次の設定を行ってください。

PowerPoint 2001以前（Windows版、Macintosh版）

- [ファイル]メニューの[印刷]（Macintosh版は[ファイル]メニューの[印刷]-[Microsoft PowerPoint]パネル）で[グレースケール]のチェックを外してください。

PowerPoint 2002（Windows版）

- [ファイル]メニューの[印刷]の[カラー/グレースケール]で[カラー]を選択してください。

PowerPoint X for Mac（Macintosh版）

- [ファイル]メニューの[印刷]-[Microsoft PowerPoint]パネルの[アウトプット]で[カラー]を選択してください。

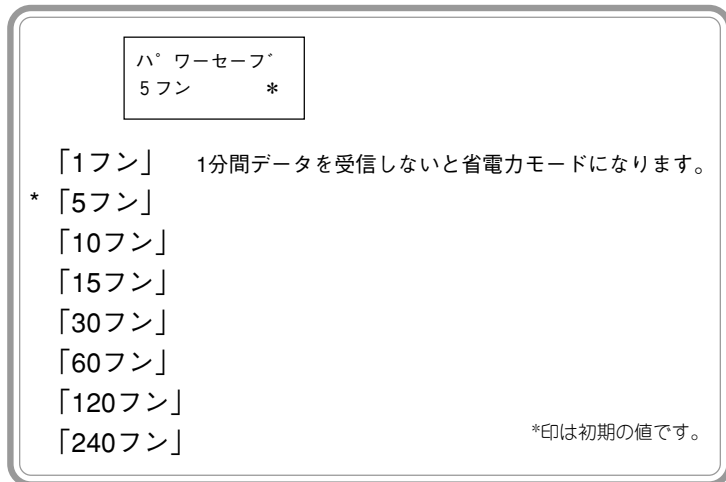
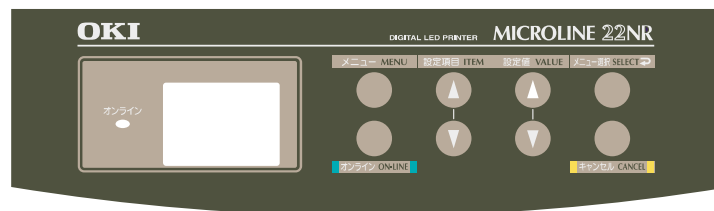
5 プリンタメニューの使い方について

省電力モード(パワーセーブ)に入るまでの時間を変更したい

省電力モードに入るまでの時間を設定できます。
省電力モードに入るまでの時間を長くすると、印刷開始までの時間を短くできる場合があります。

```
パ゜ワーセーフ゛
5 フン          ＊
```

「1フン」　1分間データを受信しないと省電力モードになります。
* 「5フン」
「10フン」
「15フン」
「30フン」
「60フン」
「120フン」
「240フン」

*印は初期の値です。

ここでは操作パネルで時間を変更する手順を説明します。

❶「メニュー」スイッチを数回押し、[システムコウセイ／メニュー]を表示します。

❷「設定項目▲」スイッチを押し、[パワーセーブ]を表示します。

❸「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、目的の値を表示します。

❹「メニュー選択」スイッチを押し、値の右端に[✱]を付けます。

❺「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

メモ　プリンタのメンテナンスメニューで[パワーセーブ]を[ムコウ]にすると省電力モードに入らなくなりますが、定着器を印刷可能温度に保つため電力を消費します。プリンタを使用しないときは電源をOFFにしてください。

印刷をキャンセルしたい

プリンタで処理中のデータをキャンセルすることができます。

 印刷が開始されたジョブはキャンセルできません。

1 コンピュータで印刷ジョブを削除します。

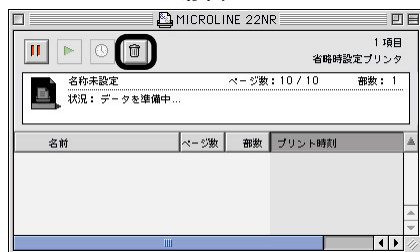
Windowsの場合

❶[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。（Windows XPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。）

❷[OKI MICROLINE 22NR(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))アイコンをダブルクリックします。

❸印刷をキャンセルしたいファイル名を選択します。

❹キーボード上の「Delete」キーを押します。

Macintoshの場合

❶デスクトップ上の[MICROLINE 22NR]アイコンをダブルクリックします。

❷印刷をキャンセルしたいファイル名を選択します。

❸「ごみ箱」アイコンをクリックします。

Mac OS Xの場合

❶ハードディスクの[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリントセンター](Mac OS X 10.1.5以前では[Applications]-[Utilities]フォルダ内の[Print Center])をダブルクリックします。

❷[MICROLINE 22NR]をダブルクリックします。

❸印刷をキャンセルしたいファイル名を選択します。

❹「削除」アイコンをクリックします。

2 操作パネルの表示を確認します。

[ショリチュウ]または[データアリ]が表示されている場合はプリンタの操作パネルで印刷をキャンセルします。

3 プリンタの操作パネルの「キャンセル」スイッチを押し、印刷をキャンセルします。

 MacintoshとUSB接続している場合、印刷をキャンセルした後正常に印刷できないときは、USBケーブルを差し直すか、電源をOFF/ONしてください。

コンピュータからプリンタの状態を確認したい

ネットワーク上のコンピュータからプリンタの状態を確認できます。

Windowsの場合、PrintSuperVision、ネットワークステータスモニタでも行うことができます。詳しくは「1 Windowsソフトウェア」(41ページ)をご覧ください。

Webブラウザを使う場合

TCP/IPでネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Webブラウザを起動し、[アドレス]にプリンタのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。

「プリンタステータス」画面が表示されます。

OKI LPRユーティリティ(Windows)を使う場合

TCP/IPでネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ OKI LPRユーティリティを起動します。

❷ [リモートプリント]メニューの[プリンタのステータス...]または[ジョブの表示...]を選択します。

プリンタの表示パネルの内容が表示されます。

AdminManager(Windows)を使う場合

TCP/IPまたはIPX/SPXでネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ AdminManagerを起動します。

❷ [ステータス]メニューの[プリンタステータス]を選択します。

プリンタステータス画面が表示されます。

コンピュータからプリンタの設定を変更したい

プリンタの設定の一部を変更することができます。

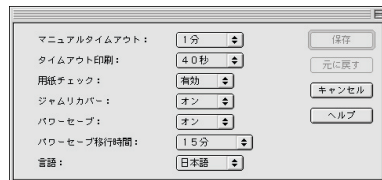
MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

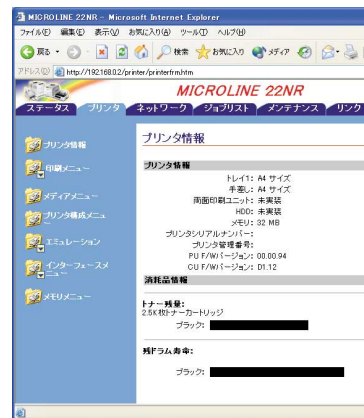
- 現在の設定内容によって、各画面の表示内容は異なります。
- [タイムアウト印刷]の値は[5秒]、[20秒]、[40秒]、[5分]、[無限]のみ表示・設定できます。プリンタでこれ以外に設定されている場合は近い値を表示します。
- Mac OS Xでは利用できません。

❶ [MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]-[MicrolinePS Utilty]をダブルクリックします。

❷ 設定を変更し[設定]をクリックします。

メイン画面

オプション画面

Webブラウザを使う場合

注 TCP/IPでネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Webブラウザを起動し、[アドレス]にプリンタのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。

「プリンタステータス」画面が表示されます。

❷ ページ左側にある[ログイン]をクリックします。

❸ [ユーザー名]に「root」、[パスワード]に「イーサネットアドレスの下6桁」を入力し、[OK]をクリックします。

イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）で確認できます。（160ページ）

❹ 上のタブから設定を変更したい項目の種類をクリックします。項目の詳細が左のフレームに表示されますので、設定を変更したい項目をクリックします。

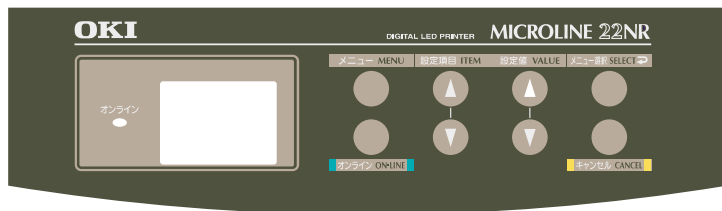
❺ 必要な変更をした後、[送信]をクリックします。

プリンタ内蔵フォントを確認したい

プリンタに内蔵しているフォントを確認できます。

操作パネルを使う場合

プリンタに標準で内蔵しているフォント名を印刷します。

注 プリントジョブアカウンティングで[ローカルプリント]が[印刷不可]に設定されている場合には印刷できません。

❶用紙カセットにA4用紙をセットします。

注 A4用紙以外で印刷を行うとすべての内容が印刷されないことがあります。

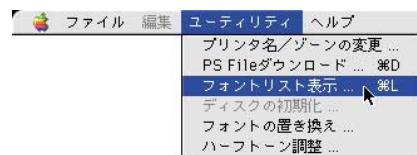
❷「メニュー」スイッチを押し、[インフォ／メニュー]を表示します。

❸「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[PCL　フォント／インサツ](PCLモードの場合)または[PS　フォント／インサツ](PSモードの場合)を表示します。

❹「メニュー選択」スイッチを押します。

フォントリストが印刷されます。

MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

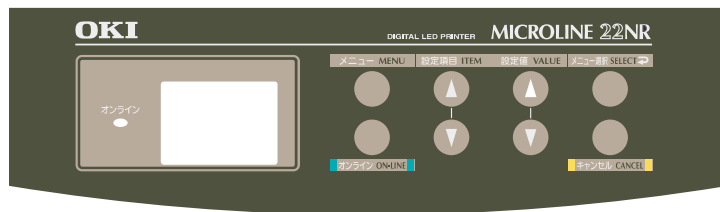
プリンタに内蔵しているすべてのポストスクリプトフォント名を確認することができます。

❶[MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]-[MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

❷[ユーティリティ]メニューから[フォントリスト表示...]を選択するとプリンタに標準で内蔵しているフォントが表示されます。

5

プリンタ内蔵フォントを確認したい

パラレルインタフェースの転送モードを変更したい

コンピュータと転送モードを一致させる場合に変更してください。

双方向セントロを無効にするには

❶「メニュー」スイッチを数回押し、[セントロ／メニュー]を表示します。

❷「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[ソウホウコウ]を表示します。

❸「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、[ムコウ]を表示します。

❹「メニュー選択」スイッチを押し、値の右側に[✱]を付けます。

❺「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

❻プリンタの電源をOFF/ONします。

ECPを無効にするには

❶「メニュー」スイッチを数回押し、[セントロ／メニュー]を表示します。

❷「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[ECP]を表示します。

❸「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、[ムコウ]を表示します。

❹「メニュー選択」スイッチを押し、値の右側に[✱]を付けます。

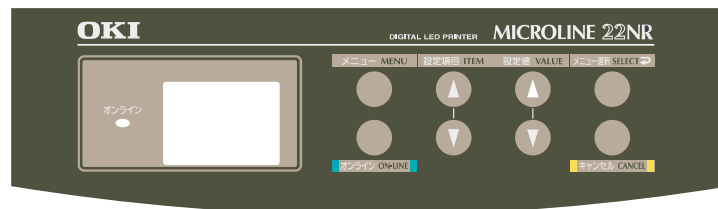
❺「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

❻プリンタの電源をOFF/ONします。

プリンタの操作パネルでIPアドレスを設定したい

プリンタの操作パネルから、プリンタのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定できます。

IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなど、重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と相談の上、IPアドレスを設定してください。

プリンタのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、「AdminManager」で設定することもできます。「AdminManager」での設定方法は、「AdminManager」(16ページ)をご覧ください。

❶「メニュー」スイッチを数回押し、[NETWORK]を表示します。

❷「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[TCP/IP/ENABLE]を表示します。

[TCP/IP/DISABLE]と表示されている場合、「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを押して[TCP/IP/ENABLE]を表示し、「メニュー選択」スイッチを押し、値の右端に[＊]を付けます。

❸「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを押し、[IP　1/4]を表示します。

❹「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、IPアドレスの1桁目の値を表示します。

❺「メニュー選択」スイッチを押し、値の右端に[＊]を付けます。

以後、❸～❺を繰り返し、[IP　2/4]～[IP　4/4]、[MASK　1/4]～[MASK　4/4]、(サブネットマスク)、[GATE　1/4]～[GATE　4/4]、(ゲートウェイアドレス)を設定します。

❻「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

設定変更後、新たに設定した値が有効になるまで時間がかかる場合があります。

6 ネットワーク機能について

ネットワーク設定項目の一覧

プリンタのネットワーク機能で設定できる項目を説明します。
現在設定されている値は、ネットワークの設定情報（Network Information）で確認できます。（160ページ参照）
設定値を変更するには、TELNET, Webブラウザ, AdminManager（Windows）, Quick Setup（Windows）, Setup Utility（Macintosh）を使用します。

TCP/IP

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
TCP/IP Protocol	TCP/IP	TCP/IPプロトコルを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	TCP/IP プロトコルの使用／非使用を設定します。
IP Address	IPアドレス	IPアドレス	192.168.100.100	IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	サブネットマスク	サブネットマスク	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。
Default Gateway	ゲートウェイアドレス	デフォルトゲートウェイ	192.168.100.254	ゲートウェイ（デフォルトルータ）アドレスを設定します。0.0.0.0 はルータなしを意味します。
RARP Protocol	RARP	RARPを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	RARPサーバへIPアドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
DHCP/BOOTP Protocol	DHCP/BOOTP	DHCP/BOOTPを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	DHCP/BOOTPサーバへIPアドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
Auto IP Address	サーバを使用しないアドレス解決	Network PnP 設定IPアドレス自動設定*1	ENABLE（自動設定する） DISABLE（自動設定しない）	サーバを使用しないでIPアドレスを取得する機能の使用／非使用を設定します。
DNS Server(Pri.)	DNSサーバアドレス（プライマリ）	DNSサーバプライマリサーバ*1	0.0.0.0	プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定します。SMTP(E-Mail)プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」をIPアドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
DNS Server (Sec.)	DNSサーバアドレス（セカンダリ）	DNSサーバセカンダリサーバ*1	0.0.0.0	セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。SMTP(E-Mail)プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」をIPアドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。

＊1:　Setup Utilityでは設定できません。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
root Password	パスワード設定	rootパスワード	イーサネットアドレス下6桁	管理者パスワードを変更します。15文字以内の英数字です。大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更できなくなります。
Network PnP	検出機能	Network PnP 設定 Network PnPを使用する*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	ネットワークPlug&Play機能の 使用／非使用を設定します。
Device Name	デバイス名	デバイス名*1	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」	ネットワークPlug&Play機能で、プリンタ名をコンピュータにどのように表示させるかを設定します。

*1: Setup Utilityでは設定できません。

SNMP

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
SysContact	System Contact	SysContact	なし	システム管理者の連絡先を入力します。半角で255文字以内、全角で127文字以内です。
SysName	System Name	SysName	なし	プリンタの名前を入力します。半角で255文字以内、全角で127文字以内です。
SysLocation	System Location	SysLocation	なし	プリンタの設置場所を入力します。半角で255文字以内、全角で127文字以内です。
―	プリンタ管理番号	―	なし	お客様がプリンタを管理するための数値を入力することができます。半角で8文字以内です。

NetWare

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
NetWare Protocol	NetWare	NetWareプロトコルを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	NetWareの使用／非使用を設定します。
Protocol	通信プロトコル	プロトコル*1	IPX TCP/IP	NetWareを動作させるプロトコルをIPXかTCP/IPに設定します。
Frame Type	フレームタイプ	フレームタイプ	AUTO ETHER-II（ETHERNET-II） 802.2（IEEE802.2） 802.3（IEEE802.3） SNAP(SNAP)	NetWare上でプリンタが接続するフレームタイプを設定します。この値は通常変更する必要はありません。
PrinterName	プリンタ名	NetWareプリンタ名	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」+「-prn1」	リモートプリンタを動作させるときの設定項目でプリンタ名を設定します。ファイルサーバの設定内容と合わせる必要があります。
NetWare Mode	印刷モード	動作モード	RPRINTER（リモートプリンタ） PSERVER（プリントサーバ）	動作モードをプリントサーバモードかリモートプリンタモードにするか設定します。

*1: Setup Utilityでは設定できません。

プリントサーバ

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
IP NDS Tree	ツリー	NDSツリー名	なし	NDSのツリー名を設定します。プリントサーバを登録したファイルサーバが属するツリー名を指定してください。31文字以内の英数字です。この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IP NDS Context	コンテキスト	NDSコンテキスト	なし	NDSのコンテキスト名を設定します。プリントサーバの属するコンテキスト名を指定してください。77文字以内の英数字です。この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IP Print Server Name	プリントサーバ名	プリントサーバ名	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」	ファイルサーバの名前を設定します。最大8台のファイルサーバを指定できます。47文字以内の英数字です。この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IP Password	−	−	なし	ファイルサーバにログインするためのパスワードを設定します。31文字以内の英数字です。ファイルサーバにプリンタ用のパスワードを設定した場合にはこの項目の設定が必要です。この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IP Job Polling Time	−	−	2秒 〜 4秒 〜 255秒	キューにジョブを見つけに行く時間間隔を設定します。短くするとすぐに印刷が開始されますが、ネットワーク回線が混みます。この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IPX NDS Tree	ツリー	NDSツリー名	なし	NDSのツリー名を設定します。プリントサーバを登録したファイルサーバが属するツリー名を指定してください。31文字以内の英数字です。この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
IPX NDS Context	コンテキスト	NDSコンテキスト	なし	NDSのコンテキスト名を設定します。プリントサーバの属するコンテキスト名を指定してください。77文字以内の英数字です。この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX Print Server Name	プリントサーバ名	プリントサーバ名	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」	プリントサーバ名を設定します。ファイルサーバに設定したプリントサーバ名と同じに設定してください。31文字以内の英数字です。この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX Password	ファイルサーバのログインパスワード	ログインパスワード	なし	ファイルサーバにログインするためのパスワードを設定します。31文字以内の英数字です。ファイルサーバにプリンタ用のパスワードを設定した場合にはこの項目の設定が必要です。この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX Job Polling Time	ジョブポーリング間隔	ジョブポーリング間隔	2秒 〜 4秒 〜 255秒	キューにジョブを見つけに行く時間間隔を設定します。短くするとすぐに印刷が開始されますが、ネットワーク回線が混みます。この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX Bindery Mode	バインダリモード	バインダリモード	ENABLE(使用する) DISABLE(使用しない)	バインダリモードの使用/非使用を設定します。NetWareのバージョンが、6.0/5.0/4.1のバインダリネットワーク、または3.12へ接続するときには「Enable」、6.0/5.0/4.1のNDSで使用するときには「Disable」を設定します。この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX File Server #1-8	ファイルサーバ名	接続するファイルサーバ #1-8	なし	ファイルサーバの名前を設定します。最大8台のファイルサーバを指定できます。47文字以内の英数字です。この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。

リモートプリンタ

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
IPX PrintServer #1-8	プリントサーバ名	接続するプリントサーバ #1-8	なし	接続するプリントサーバ名を設定します。最大8台のプリントサーバを指定できます。47文字以内の英数字です。この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX JobTimeout	ジョブタイムアウト	ジョブタイムアウト	4秒 〜 10秒 〜 255秒	最後の印刷ジョブパケットを受け取ってからポートを解放するまでの時間を設定します。 通常は初期設定で使用します。この値が小さすぎると印刷が崩れ易くなり、大きすぎると他のプロトコルからの印刷がなかなか始まらなくなります。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。

EtherTalk

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
EtherTalk Protocol	EtherTalk	EtherTalkプロトコルを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	EtherTalkの使用／非使用を設定します。
EtherTalk Printer Name	EtherTalkプリンタ名	EtherTalkプリンタ名	製品名	EtherTalkのプリンタ名を指定します。32文字以内の英数字です。接続するネットワークで唯一の名称で無い場合には自動的に番号が名称の末尾に追加されます。
Zone Name	EtherTalkゾーン名	ゾーン名	*	EtherTalkゾーン名を指定します。32文字以内の英数字です。

NetBEUI

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
NetBEUI Protocol	NetBEUI	NetBEUIプロトコルを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	NetBEUIの使用／非使用を設定します。
Computer Name	コンピュータ名	コンピュータ名	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」	コンピュータ名を設定します。この名前でNet-BEUI上で識別されます。Windowsであればネットワークコンピュータ中のPrintServerグループに表示されます。15文字以内の英数字です。*2
Workgroup Name	ワークグループ名	ワークグループ	PrintServer	ワークグループ名を設定できます。この名称でWindowsのネットワークコンピュータ中に表示されます。15文字以内の英数字です。
Comment	コメント	コメント	EthernetBoard MLETB12	コメントを設定します。Windowsのネットワークコンピュータで表示形式を詳細に設定したときにこのコメントが表示されます。48文字以内の英数字です。
WINS Server(Pri.)	WINSサーバ（プライマリ）	WINSサーバ プライマリサーバ*1	0.0.0.0	Windows環境で、ネームサーバ（コンピュータ名からIPアドレスに変換するためのサーバ）を使用している場合に、ネームサーバのIPアドレスまたはネームサーバ名を設定します。
WINS Server (Sec.)	WINSサーバ（セカンダリ）	WINSサーバ セカンダリサーバ*1	0.0.0.0	Windows環境で、ネームサーバ（コンピュータ名からIPアドレスに変換するためのサーバ）を使用している場合に、ネームサーバのIPアドレスまたはネームサーバ名を設定します。
WINS Scope ID	スコープID	WINSサーバ スコープID*1	なし	WINSのScopeIDを設定します。1〜223文字の英数字です。

*1: Setup Utilityでは設定できません。

6 ネットワーク設定項目の一覧

目次へ 戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

*2: 表示されたアイコンを開くと、下表のようなファイルが存在します。

ディレクトリ	ファイル名	機 能
SETUP	Config.ini	IPアドレスの設定変更ができます。 このファイル中のIPアドレスを変更して、またもとの位置に戻すだけでプリンタのIPアドレスをファイルに記載した値に変更することができます。
	Websetup	プリンタのもつWeb Pageを起動します。
REPORT	Status.txt	プリンタに設定されている設定値の概要を表示します。 このファイルは変更することができません。現在の設計値を表示するファイルですから、Report.txtとは内容が異なる場合があります。
	Report.txt	プリンタに設定されている設定値の詳細を表示します。 このファイルは変更することができません。設定した値を表示するファイルですから、Status.txtとは内容が異なる場合があります。

- 本プリンタのMaster Browser機能は、Workgroup名が「Print Server」の場合にのみ起動します。Master Browser機能は同一Workgroup内に存在するマシンの情報を管理し、他のWorkgroupからの一覧要求に応答する機能です。
- ML22NR以外の機器のWorkgroupに「PrintServer」の名前をつけた場合、その機器は正常に管理されなくなります。(その機器がネットワーク上で見えなくなることがあります。)
- 本プリンタのMaster Browser機能で管理できるプリンタは最大8台です。
- NetBEUIプロトコルでは、他のユーザ(他のプロトコルを含む)からのジョブの印刷中はエラーメッセージが表示され、印刷できません。

printer trap

網かけ部は初期値です。

項 目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
Prn-Trap Community	プリンタTrapコミュニティ名設定	プリンタTrapコミュニティ名*1	public	プリンタTRAPのコミュニティ名を設定します。31文字以内の英数字です。
TCP #1-5 Trap Enable	Trap送信許可 #1-5	TCP #1-5 Printer Trapを有効にする*1	ENABLE (有効にする) DISABLE (有効にしない)	TCP #1-5でプリンタTrapを使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Printer Reboot Trap	プリンタ再起動 #1-5	TCP #1-5 プリンタリブート*1	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタが再起動したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Receive Illegal Trap	不正Trap受信 #1-5	TCP #1-5 受信異常*1	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	「プリンタTrapコミュニティ名設定」で指定した以外のコミュニティ名でプリンタにアクセスしたときにTrapを使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Online Trap	オンライン #1-5	TCP #1-5 オンライン*1	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタがON-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Offline Trap	オフライン #1-5	TCP #1-5 オフライン*1	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタがOFF-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Paper Out Trap	用紙なし #1-5	TCP #1-5 用紙なし*1	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタが用紙切れ状態になったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Paper Jam Trap	用紙ジャム #1-5	TCP #1-5 用紙ジャム*1	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタに用紙がつまったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Cover Open Trap	カバーオープン #1-5	TCP #1-5 カバーオープン*1	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタのカバーが開かれるたびにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Printer Error Trap	プリンタエラー #1-5	TCP #1-5 プリンタエラー*1	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタにエラーが発生したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Trap Address	プリンタTrapアドレス設定 #1-5	TCP#1-5*1	0.0.0.0	TCP/IPの場合のTrap送信先アドレスを設定します。設定値は10進数「***.***.***.***」形式で入力します。IPアドレスが0.0.0.0の場合は、Trapを送信しません。アドレスは5か所まで指定できます。

*1: Setup Utilityでは設定できません。

6

ネットワーク設定項目の一覧

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
IPX Trap Enable	IPX Trap送信許可	IPX Printer Trapを有効にする*1	ENABLE（有効にする） DISABLE（有効にしない）	IPXでプリンタTrapを使用するかどうか設定します。
IPX Printer Reboot Trap	IPX プリンタ再起動	IPX プリンタリブート*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタが再起動したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Receive Illegal Trap	IPX 不正Trap受信	IPX 受信異常*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	「プリンタTrapコミュニティ名設定」で指定した以外のコミュニティ名でプリンタにアクセスしたときにTrapを使用するかどうか設定します。
IPX Online Trap	IPX オンライン	IPX オンライン*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタがON-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
IPX Offline Trap	IPX オフライン	IPX オフライン*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタがOFF-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
IPX Paper Out Trap	IPX 用紙なし	IPX 用紙なし*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタが用紙切れ状態になったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Paper Jam Trap	IPX 用紙ジャム	IPX 用紙ジャム*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタに用紙がつまったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Cover OpenTrap	IPX カバーオープン	IPX カバーオープン*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタのカバーが開かれるたびにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Printer ErrorTrap	IPX プリンタエラー	IPX プリンタエラー*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタにエラーが発生したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Trap Address/Net	IPX プリンタTrapアドレス設定	IPX*1	00000000:000000000000	IPXの場合のTrap送信先アドレスを設定します。設定値は、ネットワークアドレス(8桁)+ノードアドレス(12桁)で入力します。「00000000:000000000000」の場合はトラップを発行しません。アドレスは1か所のみ指定できます。

*1: Setup Utilityでは設定できません。

SMTP（E-Mail）

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
SMTP Transmit	SMTP送信	SMTP送信プロトコルを使用する*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	SMTP(E-Mail)送信プロトコルを使用するかどうか設定します。
SMTP Server Name	SMTPサーバ	SMTPサーバアドレス/サーバ名*1	なし	SMTPサーバ名を設定します。ドメイン名もしくはIPアドレスを指定してください。ドメイン名を指定する場合は、DNS(Pri)(sec)の設定が必要です。
SMTP Port Number	SMTPポート番号	SMTPポート番号*1	25	SMTPのポート番号を設定します。通常は初期設定でご使用ください。
E-Mail Address	プリンタEmail アドレス	E-Mailアドレス*1	なし	プリンタのE-Mailアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを指定してください。
Reply-To Address	返信先Email アドレス	返信用アドレス*1	なし	返信用のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを指定してください。
Event To Address #1-5	Emailアドレス #1-5	送信先アドレス #1-5*1	なし	送信先のアドレスを設定します。アドレスは5ヶ所まで指定できます。
Signature line #1-4	署名 #1-4行目	署名 #1-4*1	なし	送信メールの文末に付加するコメントを設定します。4行設定できます。1行は64文字まで入力でき、それを越える場合は自動的に改行します。
Re-send Interval #1-5	チェック間隔 #1-5	チェック間隔 #1-5*1	DISABLE（無効） 30min 60min 24hour	DISABLE（無効）の場合は、プリンタイベントが発生した時点でのみメールが送信されますが、 30min、60min、24hour に設定した場合は、設定された間隔でプリンタイベントが発生しているかどうか確認し、選択されているプリンタイベントが発生していれば、発生しているプリンタイベントを1通のメールにまとめて送信します。

*1: Setup Utilityでは設定できません。

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
Off Line #1-5	オフライン #1-5	オフライン #1-5*1	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタがオフラインになったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Consum-able Message #1-5	メンテナンス #1-5	メンテナンス #1-5*1	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタの消耗品(ドラムカートリッジ、ベルト、定着器)が寿命になったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Toner Low/Out #1-5	トナー交換 #1-5	トナー交換 #1-5*1	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタのトナーが少なくなった場合やトナーエラー時に、メールを送信するかどうか設定します。
Paper Low/Out #1-5	用紙補充 #1-5	用紙補充 #1-5*1	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタに用紙がなくなったときや少なくなったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Paper Jam #1-5	用紙ジャム #1-5	用紙ジャム #1-5*1	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタに用紙がつまったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Cover Open #1-5	カバーオープン #1-5	カバーオープン #1-5*1	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタのカバーが開いているときに、メールを送信するかどうか設定します。
Stacker Error #1-5	スタッカーエラー#1-5	スタッカーエラー#1-5*1	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタのスタッカに用紙がいっぱいになったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Mass Storage Error #1-5	ストレージエラー#1-5	ストレージエラー#1-5*1	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタのハードディスクがディスクフルエラーになったときに、メールを送信するかどうか設定します。
Recover-able Error #1-5	復旧可能エラー #1-5	復旧可能エラー #1-5*1	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタがエラーになったとき(復旧可能)に、メールを送信するかどうか設定します。
Service Call Req. #1-5	サービスコール要求 #1-5	サービスコール要求 #1-5*1	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタにエラー(復旧不可能)が発生したときに、メールを送信するかどうか設定します。

*1: Setup Utilityでは設定できません。

Maintenance

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
FTP Service	FTPサービス	FTP Serviceを使用する*1	ENABLE(使用する) DISABLE(使用しない)	プリンタに対してFTPでのアクセスの使用/非使用を設定します。
Telnet Service	Telnetサービス	Telnet Serviceを使用する*1	ENABLE(使用する) DISABLE(使用しない)	プリンタに対してTELNETでのアクセスの使用/非使用を設定します。
Web Service	Web(IPP)サービス	Web Serviceを使用する*1	ENABLE(使用する) DISABLE(使用しない)	プリンタに対してWEBブラウザでのアクセスの使用/非使用を設定します。
SNMP Service	SNMPサービス	SNMP Serviceを使用する*1	ENABLE(使用する) DISABLE(使用しない)	プリンタに対してSNMPでのアクセスの使用/非使用を設定します。通常はENABLE(使用する)でお使いください。
LAN Scale	LAN	LAN Scale*1	NORMAL(普通) SMALL(小型)	Normal(普通):通常この設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つHUBに接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピュータが2,3台の小さなLANに接続するとプリンタが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 SMALL(小型):コンピュータが2,3台の小さなLANから大型のLANまで対応しますが、スパニングツリー機能を持つHUBに接続した場合に効率よく動作できない場合があります。
DefaultTTL	–	DefaultTTL	0 〜 255	IPパケット生存値(TTL値)を設定します。この値は通常変更する必要はありません。
–	オペパネのロック	–	ロック解除 ロック	オペレータパネルの殆どの操作を禁止させることが出来ます。
–	HEXダンプモード	–	OFF ON	このモードに設定すると、受信した印刷データをすべて16進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。

*1: Setup Utilityでは設定できません。

printer port

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
BOJ String	―	―	なし	直接出力ポート(lpポート)に出力する前に、プリンタに文字列を送出します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合などに設定します。31文字以内の文字列です。また、文字列以外に次の特殊コードも指定できます。 ¥b: バックスペースコード(0x08) ¥t: タブコード(0x09) ¥n: 改行コード(0x0a) ¥v: 垂直タブコード(0x0b) ¥f: 改頁コード(0x0c) ¥r: 復帰コード(0x0d) ¥xnn nnで表現される16進コード ¥" " コード(0x22) ¥¥ ¥ コード(0x5c)
EOJ String	―	―	なし	直接出力ポート(lpポート)に出力した後に、プリンタに文字列を送出します。印字後に制御コード等を送信する必要がある場合などに設定します。31文字以内の文字列です。また、文字列以外に特殊コードも指定できます。特殊コードは「BOJ string」と同じです。
BOJ String (KANJI)	―	―	なし	漢字フィルタ経由出力ポート(euc, sjisポート)に出力する前に、プリンタに文字列を送出します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合などに設定します。31文字以内の文字列です。また、文字列以外に特殊コードも指定できます。特殊コードは「BOJ string」と同じです。
EOJ String (KANJI)	―	―	¥x04	漢字フィルタ経由出力ポート(euc, sjisポート)に出力した後に、プリンタに文字列を送出します。印字後に制御コード等を送信する必要がある場合などに設定します。31文字以内の文字列です。また、文字列以外に特殊コードも指定できます。特殊コードは「BOJ string」と同じです。

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
Printer Type	―	―	PS(PostScript)固定	漢字フィルタのプリンタTypeを設定します。
TAB Size (char.)	―	―	0 ～ 8 ～ 16	漢字フィルタ経由で出力するときに、タブコード(0x09)を半角スペース(0x20)に変換する文字数を設定します。この文字幅を0にすると、タブ変換処理は行われません。
Page Width (char.)	―	―	0 ～ 78 ～ 255	漢字フィルタ経由で出力するときのページ幅を設定します。
Page Length (line)	―	―	0 ～ 66 ～ 255	漢字フィルタ経由で出力するときのページ長を設定します。
FTP/LPR Banner	―	FTP/LPRバナーを使用する	YES(使用する) NO(使用しない)	LPRやFTPで印刷する場合にバナーページを使用するかどうか設定します。TCP/IPプロトコルのみ有効です。

IP Filtering

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
IP Filtering	IPフィルタリング	IPフィルタを使用する*1	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	IPアドレス毎のアクセスを制限する機能の 使用／非使用を設定します。 ただし、この機能はIPアドレスについて充分な知識を必要とします。 通常は必ずDISABLE(使用しない)になるように設定しておいてください。 ENABLE(使用する)に設定し、以下の設定をしないとTCP/IPによるアクセスが一切できなくなってしまいます。
Filtering range #1-10	IPアドレスの範囲#1-10	IPファイルアドレスの範囲 #1-10*1	なし-なし	プリンタへアクセスを許可するIPアドレスを指定します。 単一のIPアドレスを指定することもできますが、範囲で指定することもできます。アドレスの範囲(「開始アドレス」と「終了アドレス」)を設定してください。0.0.0.0は入力できません。
Start Address	開始アドレス	開始アドレス*1	0.0.0.0	
End Address	終了アドレス	終了アドレス*1	0.0.0.0	
range #1-10 Printing	印刷 #1-10	印刷を許可する #1-10*1	ENABLE（許可する） DISABLE（許可しない）	Filtering range #1-10 で設定したIPアドレスからの印刷を許可します。
range #1-10 Configuration	設定 #1-10	設定を許可する #1-10*1	ENABLE（許可する） DISABLE（許可しない）	Filtering range #1-10 で設定したIPアドレスからの設定変更を許可します。
Admin IP Address	設定される管理者のIPアドレス	管理者のIPアドレス*1	0.0.0.0	管理者のIPアドレスが自動で設定されます。 このアドレスだけは、必ずプリンタにアクセスできます。 ただし、管理者がプロキシ経由でプリンタにアクセスするように設定している場合には、プロキシのアドレスが設定されてしまいます。プロキシのアドレスが設定されるとプロキシ経由でアクセスする人は全て許可となります。 管理者はプリンタに対してプロキシを経由しないでアクセスすることが理想です。

*1: Setup Utilityでは設定できません。

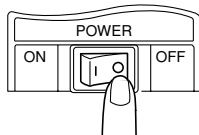
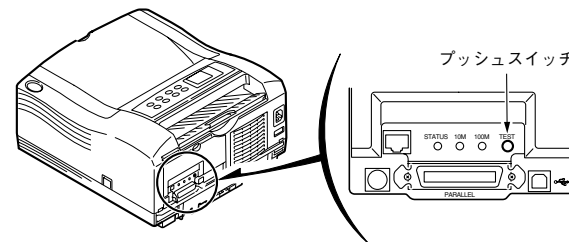
Job List

網かけ部は初期値です。

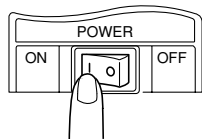
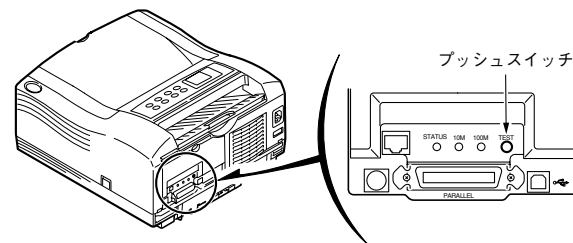
項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager Setup Utility		
−	ジョブキュー表示項目設定	−	ドキュメント名 ジョブ状態 コンピュータ名 ユーザー名	現在プリンタの印刷待ちになっているジョブ(印刷データ)の一覧に表示する項目を選択します。 選択しない場合には、初期値の項目で一覧が表示されます。

ネットワーク機能を初期化します

初期化すると全てのネットワーク設定項目が初期値になります。

1 プリンタの電源を OFF にします。

2 先端の細い道具（ボールペンなど）を使って、プッシュスイッチを押したまま、プリンタの電源を ON にし、操作パネル上に［オンライン］が表示されたら、離します。

ネットワークの設定値が初期化されます。

ネットワークの設定情報(Network Information)を印刷します

1 プリンタの電源をONにし、[オンライン]になったことを確認します。

2 先端の細い道具(ボールペンなど)を使って、プッシュスイッチを3秒間以上押し続けてから、離します。

最初にプリンタのメニューマップが2枚印刷され、続いてネットワークの設定情報(Network Information)が4枚印刷されます。

（例）　　　　イーサネットアドレス（MAC address）

Network Information

System Information

Serial Number
Asset Number
System Contact
System Name
System Location

General Information

Network Function Name	MLETB12	Firmware Version	P1.69
root password			
MAC Address	008087849C9B		
HUB Link Setting			
HUB Link Status	OK (100BASE-TX Half)		
Frame Type	Automatic		
Network Status	Unicast Packets Received	0	
	Packets Transmitted	0	
	Total Packets Received	0	
	Unsendable Packets	0	
	Bad Packets Receive		

TCP/IP Protocol	Enable
NetBEUI Protocol	Enable
NetWare Protocol	Enable

TCP/IP Configuration

Network Plug and Play(NPnP)	
Discovery	Enable
Device Name	ML849C9B
IP Address Set	MANUAL

IP Address	192.168.0.2
Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway	192.168.0.254
Web Address	http://192.168.0.2
DNS Server (Primary)	0.0.0.0
DNS Server (Secondary)	0.0.0.0
DefaultTTL	255

If your computer can not connect this printer with the browse
Step1:Set IP address of your computer to 192.168.0.x
(xxx:exclude 0,254,255 and printer IP add
How to set the IP address of the compute
See the manual of your computer.
Step2:Connect the browser.
Input the Web address to URL field of the
If you will access the local address.set the

NetBEUI Configuration

Computer Name	ML849C9B
Workgroup Name	PrintServer
Comment	EthernetBoard Network Device
Master Browser	
WINS Server Name(Primary)	0.0.0.0
WINS Server Name(Secondary)	0.0.0.0
Scope ID	

IPP Configuration

To print using IPP use the following URIs
http://192.168.0.2/ipp
http://192.168.0.2:631/ipp
http://192.168.0.2/ipp/lp
http://192.168.0.2:631/ipp/lp

SNMP Trap Configuration

Printer Trap Community Name　public

Trap Destination	Trap Enable/Disable	Address
Address 1	Disable	0.0.0.0
Address 2	Disable	0.0.0.0
Address 3	Disable	0.0.0.0
Address 4	Disable	0.0.0.0
Address 5	Disable	0.0.0.0
IPX	Disable	00000000:000000000000

Trap Assignments	Address1	Address2	Address3	Address4	Address5	IPX
Printer Reboot	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Receive Illegal Packet	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Online	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Offline	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Paper Out	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Paper Jam	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Cover Open	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Printer Error	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A

(N/A = Not Available)

Email Setting Configuration

Email Transmit Settings

SMTP Transmit	Disable
SMTP Server	
Printer E-mail Address	
Reply-To Address	
SMTP Port Number	25

Email Recipients

Email Address 1
Email Address 2
Email Address 3
Email Address 4
Email Address 5

Email Alert Assignments	Address1	Address2	Address3	Address4	Address5
Re-send Interval	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Offline	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Consumable Message	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Toner Low/Out	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Paper Low/Out	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Paper Jam	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Cover Open	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Stacker Error	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Mass Storage Error	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Recoverable Error	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Service Call Required	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A

Email Signature

Email Signature Line 1　:
Email Signature Line 2　:
Email Signature Line 3　:
Email Signature Line 4　:

NetWare Configuration

Network No	00000000
Printer Name	ML849C9B-prn1
NetWare Mode	Queue Server Mode (Print server + Bindery/NDS + IPX)

P-Server Mode

Print Server Name	ML849C9B
Password	
Job Polling Rate	4 Sec
Bindery Mode	Enable
NDS Mode	
Tree Name	
Context Name	

	Status	Server Name
File Server1		
File Server2		
File Server3		
File Server4		
File Server5		
File Server6		
File Server7		
File Server8		

R-Printer Mode

Job Timeout　10 Sec

	Status	Server Name
Print Server 1		
Print Server 2		
Print Server 3		
Print Server 4		
Print Server 5		
Print Server 6		
Print Server 7		
Print Server 8		

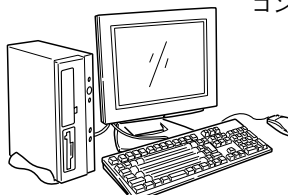
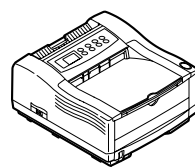
Maintenance

Service Option
If Web and Telnet Service is disable and Operator Panel locked, product configuration is not available.

Web/IPP Service	Enable
Telnet Service	Enable
FTP Service	Enable
SNMP Service	Enable

Operator Panel Lockout　Lock printer's operator panel to prevent menu changes　Enable

LAN scale Setting　NORMAL
Usually set "NORMAL".
If printer connect to small LAN, set "SMALL". Then printer network connection is much more efficient.

Network Chip Check	OK
Flash ROM Check	OK

IPアドレスの設定

IPアドレスとは…

TCP/IPプロトコルを使用してネットワーク接続する場合、コンピュータとプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。IPアドレスはネットワーク上に接続されたコンピュータやプリンタの住所のようなものです。正しく設定しないと必要な情報を届ける住所がわからず、通信ができなくなります。

Macintosh環境でWebブラウザ(74ページ)やSetup Utility(83ページ)を使用する場合には、IPアドレスを設定してください。

(例)

IPアドレスはどんな値でも使えるわけではなく、決まりがあります。3桁の数字が4つに区切られた形で設定します。
例でいうと「192.168.0」までをネットワークアドレスといい、残りの「3」や「2」をホストIDといいます。標準的なネットワークの場合、コンピュータとプリンタのネットワークアドレスが同じでないと通信できません。ホストIDは、どの機器とも重複しないような値で、1〜254の間で設定します。
また、IPアドレス以外に、サブネットマスク、ゲートウェイの設定も必要です。基本的にサブネットマスクは「255.255.255.0」を設定します。ゲートウェイは、接続しているルータのIPアドレスを指定します。通常、コンピュータとプリンタに設定するサブネットマスクとゲートウェイは同じ値にします。

コンピュータのIPアドレス

お手元のコンピュータに設定されているIPアドレスを確認しましょう。

コンピュータのIPアドレスは、接続しているネットワーク環境によって異なります。Internetをご利用の場合、接続しているプロバイダやルータメーカから指定された値に設定されています。何の値が設定されているかやDHCPなどのサーバがあるかどうかは、プロバイダやルータメーカに確認してください。社内などでネットワーク管理者がいる場合は、管理者に確認してください。

多くの場合、コンピュータは初期設定で「IPアドレスを自動取得する」設定になっています。一般の家庭用ルータ(ADSLルータやISDNルータ)にはDHCPサーバが標準で搭載されている場合が多く、お手元のコンピュータに何も設定しなくても、ルータに接続し、コンピュータの電源を入れただけで、サーバより自動的にIPアドレスを取得します。

お手元のコンピュータの取得しているIPアドレスがわからない場合は、下記手順で確認してください。手順はシステム環境のバージョンにより異なりますので、詳細は各システム環境のマニュアルをご覧ください。

Windowsの場合

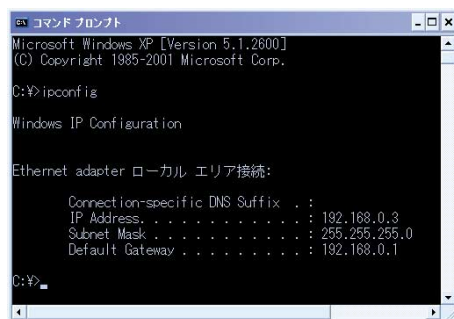
❶ Windowsを起動します。

❷ コマンドプロンプト(MS-DOSプロンプト)を選択します。

WindowsXPの場合は、[スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト]を選択します。
WindowsMeの場合は、[スタート]-[プログラム]-[コマンドプロンプト]-[MS-DOSプロンプト]を選択します。
Windows98/95の場合は、[スタート]-[プログラム]-[MS-DOSプロンプト]を選択します。
Windows2000/Server2003の場合は、[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト]を選択します。
WindowsNT4.0の場合は、[スタート]-[プログラム]-[コマンドプロンプト]を選択します。

❸ WindowsXP/Me/2000/NT4.0/Server2003の場合は、キーボードから[ipconfig]と入力し、[Enter]キーを押します。

Windows98/95の場合は、キーボードから[winipcfg]と入力し、[Enter]キーを押します。

現在設定されているIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが表示されます。

(WindowsXPの場合)

Macintoshの場合

❶ Macintoshを起動します。

❷ Macintoshの場合、[アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[TCP/IP]を選択します。

Mac OS Xの場合、[アップルメニュー]-[システム環境設定]-[インターネットとネットワーク]-[ネットワーク]-[表示]で[内蔵Ethernet]を選択し、[TCP/IP]タブを選択します。

 表示されない場合は、[すべて表示]をクリックしてください。

プリンタのIPアドレスを確認します

現在、プリンタにどんなIPアドレスが設定されているか確認しましょう。

プリンタに設定されているIPアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。ネットワークの設定情報(Network Information)を印刷し、IPアドレスを確認してください。ネットワークの設定情報(Network Information)の詳細は160ページをご覧ください。

Network Information

System Information
Serial Number
Asset Number
System Contact
System Name
System Location

General Information

Network Function Name	MLETB12	Firmware Version	P1.69
root password	******		
MAC Address	008087849C9B		
HUB Link Setting	Auto Negotiation		
HUB Link Status	OK (100BASE-TX Half)		
Frame Type	Automatic		
Network Status	Unicast Packets Received	0	
	Packets Transmitted	0	
	Total Packets Received	0	
	Unsendable Packets	0	
	Bad Packets Received	0	
TCP/IP Protocol	Enable		
NetBEUI Protocol	Enable		
NetWare Protocol	Enable		

TCP/IP Configuration

Network Plug and Play(NPnP)			
Discovery	Enable		
Device Name	ML849C9B		
IP Address Set	MANUAL		
		DHCP/BOOTP	Enable
		RARP	Enable
		Non Server Address Resolution(NPnP)	Enable
IP Address	192.168.0.2		
Subnet Mask	255.255.255.0		
Default Gateway	192.168.0.254		
Web Address	http://192.168.0.2		
DNS Server (Primary)	0.0.0.0		
DNS Server (Secondary)	0.0.0.0		
DefaultTTL	255		

If your computer can not connect this printer with the browser, set the computer as follows.
Step1:Set IP address of your computer to 192.168.0.xxx
(xxx:exclude 0,254,255 and printer IP address 2.)
How to set the IP address of the computer?
See the manual of your computer.
Step2:Connect the browser.
Input the Web address to URL field of the browser as follows. http://192.168.0.2
If you will access the local address.set the proxy server setting to disable.

プリンタのIPアドレスを設定します

ネットワークの環境に応じて、プリンタにIPアドレスを設定しましょう。

(1) 初期設定のまま使用します。

- ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがある場合
  プリンタは初期設定で「IPアドレスを自動取得する」設定になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがある場合は、ネットワークに接続し、プリンタの電源を入れただけで、サーバより自動的にIPアドレスを取得します。
  現在のコンピュータとプリンタの設定が下記のようになっていれば、そのままお使いになれます。プリンタのIPアドレスを設定したり変更をする必要はありません。
  - IPアドレスのネットワークアドレスが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。
  - IPアドレスのホストIDが、コンピュータとプリンタで違う値になっていること。
  - サブネットマスクとゲートウェイが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。

- ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがなく、接続しているコンピュータがすべてWindowsXPの場合
  プリンタは初期設定で「IP ADDRESS SET」が「AUTO」に設定されています。つまり「ネットワークPlug&Play」が使用できる設定になって、「サーバを使用しないアドレス解決」機能を使うことができます。WindowsXPも標準で「ネットワークPlug&Play」機能を搭載しています。そのため、ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがなくても、ネットワークPlug&Play機能を使用し、お互いに通信して自動的にIPアドレスを取得します。
  現在のコンピュータとプリンタの設定が下記のようになっていれば、そのままお使いになれます。プリンタのIPアドレスを設定したり変更をする必要はありません。
  - IPアドレスのネットワークアドレスが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。

- IPアドレスのホストIDが、コンピュータとプリンタで違う値になっていること。
- サブネットマスクとゲートウェイが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。

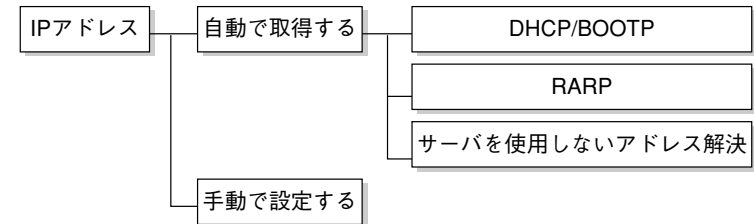
・ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがなく、接続しているコンピュータがすべてMacintoshで、WebブラウザやSetup Utilityを使用しない場合
Macintoshをネットワーク接続する場合は、EtherTalkプロトコルを使用するため、IPアドレスを設定する必要はありません。

(2) IPアドレスを手動で設定します。

・ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがなく、接続しているコンピュータのシステム環境が異なっている、または社内ネットワーク管理者により決められたIPアドレスを指定されたなど、(1)に当てはまらない場合
プリンタに決められたIPアドレスを手動で設定してください。IPアドレスは、プリンタの操作パネルやAdminManager（Windows）、Setup Utility（Macintosh）、TELNETなどで設定できます。

設定の詳細は、「AdminManager」（16ページ）、「Setup Utility」（83ページ）、「TELNET」（67ページ）、「プリンタの操作パネルでIPアドレスを設定したい」（148ページ）をご覧ください。

IPアドレス設定のしくみ（参考）

IPアドレスを設定する機能は次のような構成になっています。

DHCP/BOOTPを使います

DHCPサーバまたはBOOTPサーバからIPアドレスを取得できます。

- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生する恐れがあります。ネットワーク管理者と十分相談の上、設定してください。

DHCPサーバの設定

DHCPとは、TCP/IPネットワーク上の各ホストに動的にIPアドレスを割り当てるためのプロトコルです。IPアドレスの他にサブネットマスクを設定することもできます。

プリンタには、固定のIPアドレスが割り当てられるようにDHCPサーバを設定してください。ランダムにIPアドレスを割り当てると、ネットワーク経由で印刷ができない場合があります。固定のIPアドレスを割り当てる方法については、各DHCPサーバのマニュアルをご覧ください。

動作確認環境

Windows2003 Server日本語版 DHCPサーバ
Windows2000 Server日本語版 DHCPサーバ
Windows2000 Advanced Server日本語版 DHCPサーバ
WindowsNT Server4.0日本語版 DHCPサーバ
WindowsNT Server4.0日本語版 DHCPリレーエージェント
Sun OS 4.1.3+WIDE版DHCPバージョン 1.3.6

以下の説明は、WindowsNT Server4.0日本語版DHCPサーバを例にしています。

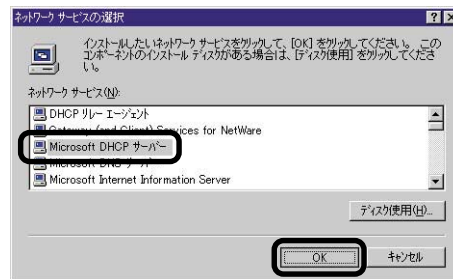
❶ [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。

❷ [ネットワーク]をダブルクリックし、[サービス]タブを開きます。

[ネットワークサービス]に[Microsoft DHCP サーバー]が表示されている場合は？

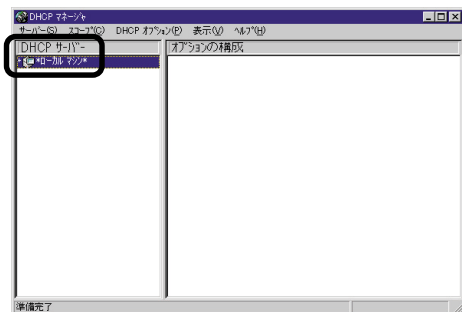
☞ ❻へ進みます。

❸ [追加]をクリックします。

❹ [Microsoft DHCPサーバー]を選択し、[OK]をクリックします。

❺ Windowsを再起動します。

☞ ❷からの続き

❻ [スタート]-[プログラム]-[管理ツール(共通)]-[DHCPマネージャ]を選択します。

❼ [DHCPサーバー]一覧からスコープを作成するサーバをクリックします。

❽ [スコープ]メニューの[作成]を選択し、[IPアドレス　プール]の設定を行い、[OK]をクリックします。

❾ [スコープ]メニューの[予約の追加]を選択し、各項目を入力し、[追加]をクリックします。

① IP アドレスを入力します。

② [一意の ID] に、プリンタのイーサネットアドレスを入力します。

③ [クライアント名]、[クライアントコメント] に任意の名前を入力します。

・必ず[予約の追加]でIPアドレスを割り当ててください。
・イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(160ページ参照)

❿ [閉じる]をクリックします。

⓫ [スコープ]メニューの[アクティブ化]を選択し、作成したスコープをアクティブにします。

⓬ [DHCPマネージャ]を終了します。

BOOTPサーバの設定

BOOTPとは、TCP/IPネットワーク上の各ホストに、BOOTPサーバに登録したIPアドレスを割り付けるプロトコルです。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

ワークステーション	：HP-UX 9.xのBOOTPサーバ
IPアドレス	：192.168.0.2
イーサネットアドレス	：00:80:87:84:9C:9B
ホスト名	：ML22NR

注 イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(160ページ参照)

❶ /etc/hostsファイルに、プリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML22NR
```

❷ /etc/bootptabファイルに次の設定を追加します。

`ML22NR:\`	/etc/hostsに登録したホスト名
`ht=ether:\`	ハードウェアタイプを[ether]にします。
`ha=008087849C9B:\`	イーサネットアドレス
`ip=192.168.0.2:\`	IPアドレス
`sm=255.255.255.0:\`	サブネットマスク
`gw=192.168.0.1:\`	ゲートウェイ

❸ /etc/inetd.confファイルに次の設定を追加します。

```
bootps dgram udp wait root /etc/ bootpd bootpd
```

❹ inetdを再起動します。

```
# kill -1 1
```

❺ プリンタの電源をONにします。

プリンタの設定

以下の説明は、AdminManagerとWindowsXP Home Editionを例にしています。

プリンタの初期設定では、「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」に設定されています。プリンタを初期設定でお使いの場合は、設定の必要はありません。

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ [スタート]-[マイコンピュータ]を選択します。

❹ [リムーバブル記憶域があるデバイス]の[MICROLINE]CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❺ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❻「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❼ [ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❽ [NICセットアップユーティリティ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❾ [日本語]をクリックします。

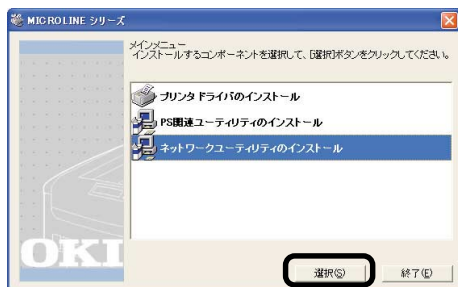
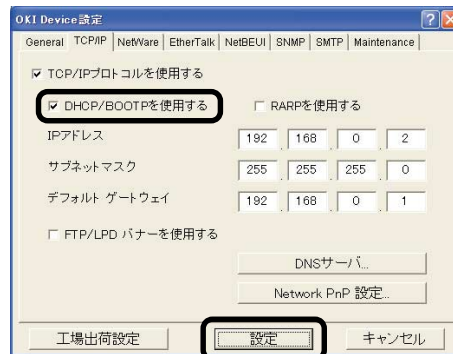
❿ [OKI Device Standard Setup]をクリックします。

⓫［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

AdminManagerが起動します。

⓬一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。機種名には、ML22NRの代わりにMLETB12と表示されます。

メモ イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（160ページ参照）

⓭［設定］メニューの［OKI Deviceの設定］を選びます。

⓮［TCP/IP］タブの［DHCP/BOOTPを使用する］をチェックし、［設定］をクリックします。

⓯設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

⓰設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

6

DHCP/BOOTPを使います

RARPを使います

RARPサーバからIPアドレスを取得できます。

・セットアップにはスーパーユーザの権限が必要です。
・IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生する恐れがあります。ネットワーク管理者と十分相談の上、設定してください。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

ワークステーション	：SunOS4.1.x
IPアドレス	：192.168.0.2
イーサネットアドレス	：00:80:87:84:9C:9B
ホスト名	：ML22NR

メモ イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（160ページ参照）

RARPサーバの設定

RARPとは、TCP/IPネットワーク上の各ホストに、RARPサーバに登録したIPアドレスを割り当てるプロトコルです。プリンタの電源をONにすることでIPアドレスを取得することができます。

❶/etc/hostsファイルに、プリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML22NR
```

❷/etc/ethersファイルにイーサネットアドレスとホスト名の組み合わせを追加します。ホスト名は、/etc/hostsファイルに登録したホスト名と同じにします。

```
00:80:87:84:9C:9B ML22NR
```

❸RARPDを起動します。

```
#rarpd -a
```

・rarpdの起動方法については、UNIXのマニュアルをご覧ください。
・rarpdはUNIXを起動するたびに必要になりますので、/etc/rcなどのファイルから起動するようにしておくと便利です。

❹プリンタの電源をONにします。

プリンタの設定

telnetで設定します。

プリンタの初期設定では「RARP protocol」が「ENABLE」に設定されています。プリンタを初期設定でお使いの場合は、設定の必要はありません。

❶arpコマンドを使って、プリンタに一時的なIPアドレスを設定します。

```
# arp -s 192.168.0.2
00:80:87:84:9C:9B temp
```

❷pingコマンドを使って、プリンタとの接続を確認します。

```
# ping 192.168.0.2
```

応答がない場合は、IPアドレスの設定、またはネットワークの状態に問題があります。ネットワーク管理者にご相談ください。

❸TELNETでプリンタにログインします。

詳細は、「TELNET」（67ページ）をご覧ください。

❹TCP/IP設定画面で[RARP protocol]を[ENABLE]にします。

❺プリンタからログアウトします。

❻設定値を有効にするため、プリンタの電源をOFF/ONします。

プリンタの電源をOFF/ONするまでは、プリンタは送信前の設定値で動作しています。必ず、プリンタの電源をONしてください。

IPアドレスでのアクセス制限機能（IPフィルタ）を使います

プリンタへのアクセスをIPアドレスを用いて管理できます。
NICセットアップユーティリティ（AdminManager）、Webブラウザ、TELNETで設定ができます。

- プリンタの初期設定では、「IPフィルタ」が「DISABLE」に設定されています。
- IPアドレスの入力を間違えると、IPプロトコルを用いてプリンタへアクセスできなくなります。十分注意して設定してください。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

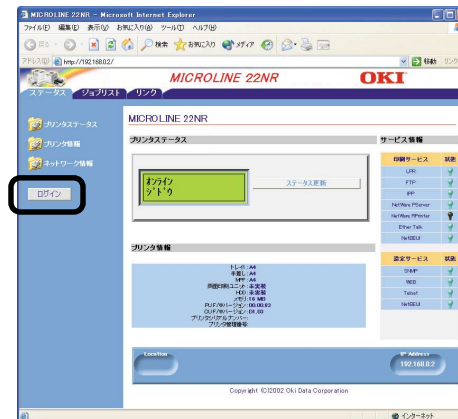
プリンタ	：ML22NR
プリンタのIPアドレス	：192.168.0.2
Webブラウザ	：Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

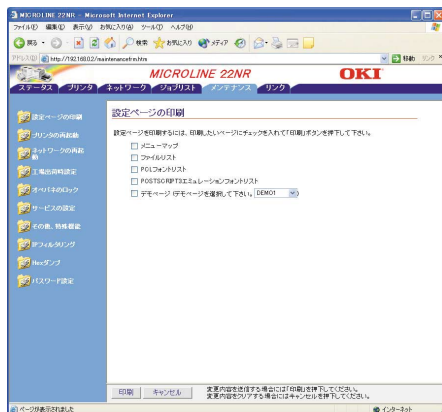
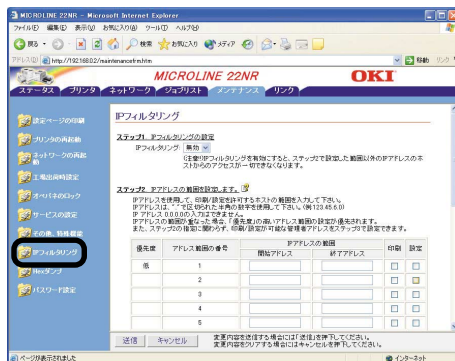
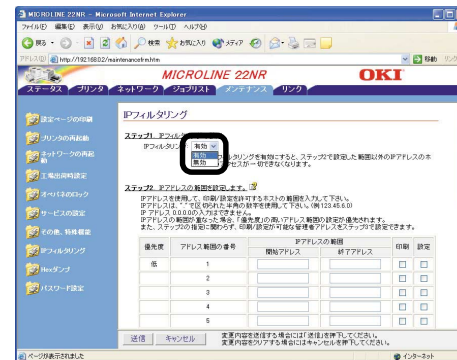
起動と設定方法

❶ Webブラウザを起動します。

❷ [アドレス]にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

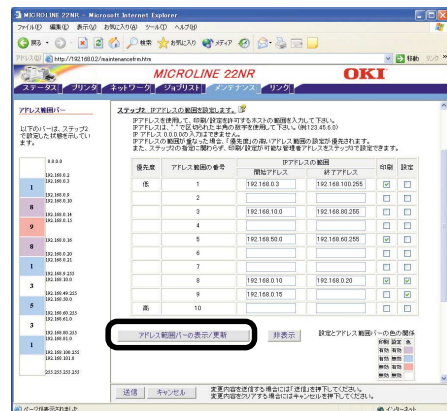
❸ [ログイン]をクリックします。

❹ [ユーザ名]に「root」、[パスワード]に「イーサネットアドレスの下6桁」を入力し、[OK]をクリックします。

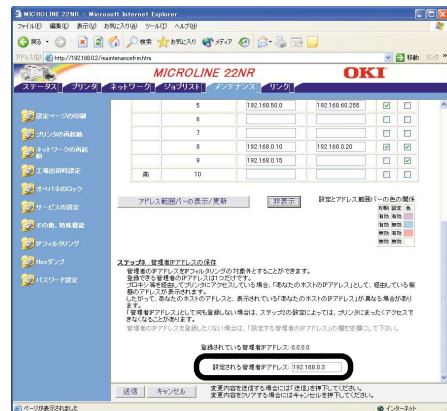
❺「メンテナンス」タブをクリックします。

❻［IPフィルタリング］をクリックします。

❼「ステップ1」で「IPフィルタリングの設定」を［有効］にします。

IP フィルタリングを「有効」にすると、「ステップ 2 」で設定した範囲以外の IP アドレスのホストからのアクセスが一切できなくなります。

❽「ステップ2」でIPアドレスの範囲を設定します。

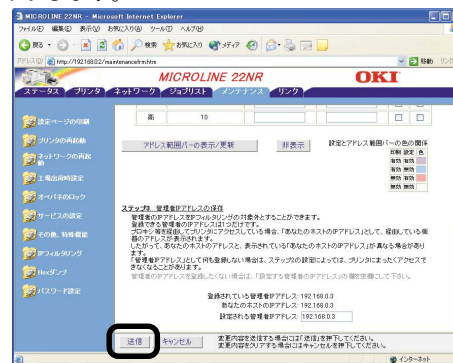
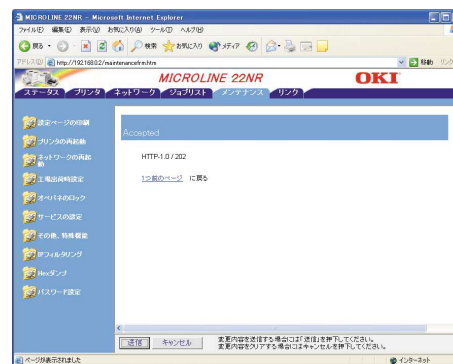
注

- IPアドレスを使用して、印刷/設定を許可するホストの範囲を入力してください。
- IPアドレスは、“.”で区切られた半角の数字を使用してください。
- IPアドレス0.0.0.0の入力はできません。
- IPアドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の設定が優先されます。
- ステップ2の指定に関わらず、印刷/設定が可能な管理者アドレスをステップ3で設定できます。

❾[アドレス範囲バーの表示/更新]をクリックします。

IPアドレスの範囲を修正したい場合は、該当するIPアドレスを入力し直し、再度、[アドレス範囲バーの表示/更新]をクリックしてください。

❿「ステップ3」で「設定される管理者IPアドレス」の値を設定します。

「設定される管理者IPアドレス」に管理者のIPアドレスを入力することにより、万一「Step2」で誤った設定を行ってしまった場合でも、管理者は「設定される管理者IPアドレス」で設定したIPアドレスのホストから再設定することができます。

- プロキシ等を経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホストIPアドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。したがって、あなたのホストのアドレスと表示されている「あなたのホストのIPアドレス」が異なる場合があります。
- 「管理者IPアドレス」として何も登録しない場合は、ステップ2の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。
- 管理者のIPアドレスを登録したくない場合は、「設定する管理者のIPアドレス」の欄を空欄にしてください。

⓫[送信]をクリックします。

新しい設定値がプリンタに送信されると、次のような画面が表示されます。

メール送信機能(SMTP)を使います

メール送信機能(SMTP)を実装しています。プリンタにエラーが発生した場合、メールを送信することができます。
NICセットアップユーティリティ(AdminManager)、Webブラウザ、TELNETで設定ができます。

WindowsXP/2000/NT4.0では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、NICセットアップユーティリティ(AdminManager)、WindowsXP Home Editionを例にしています。

❶プリンタの電源をONにします。

❷Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸[スタート]-[マイコンピュータ]を選択します。

❹[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[MICROLINE]CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❺[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❻「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❼ [ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❽ [NICセットアップユーティリティ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❾ [日本語]をクリックします。

❿ [OKI Device Standard Setup]をクリックします。

⓫ [インストールせずに、直接CD-ROMから起動する]を選択し、[次へ]をクリックします。

AdminManagerが起動します。

⓬ 一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。機種名には、ML22NRの代わりにMLETB12と表示されます。

メモ イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(160ページ参照)

⓭ [設定]メニューの[OKI Deviceの設定]を選びます。

⓮ [パスワード入力]に「イーサネットアドレスの下6桁」を入力し、[OK]をクリックします。

注
- パスワードは、手順⓬で選択した「Ethernetアドレス」の下6桁を入力してください。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⓯ [SMTP]タブを選択し、各項目を設定します。

① 「SMTP 送信プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

② SMTP サーバアドレス / サーバ名を入力します。

③ 返信用アドレスを入力します。

④ E-Mail アドレスを入力します。

「SMTPサーバアドレス/サーバ名」にドメイン名を入力する場合は、[TCP/IP]タブの[DNSサーバ]を設定してください。

⑯ [送信条件1-5]をクリックし、各項目を設定し、[OK]をクリックします。

① メールを送信する条件を設定します。

② 送信先アドレスを入力します。

③ チェック間隔を設定します。

⑰ [詳細設定]をクリックし、各項目を設定し、[OK]をクリックします。

① SMTP のポート番号を設定します。通常は 25（初期設定）でご使用ください。

② メールの文末に付加する署名（コメント）を入力します。

⑱ [設定]をクリックします。

⑲ 設定に間違いがなければ、[OK]をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

ただしこの時点では、プリンタは送信前の設定値で動作しています。

⑳ 設定値を有効にするため、[はい]をクリックします。

ここで[いいえ]を選択した場合、プリンタの電源をOFF/ONすれば設定値が反映されます。

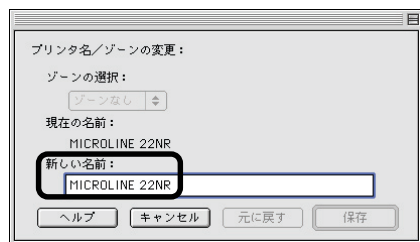
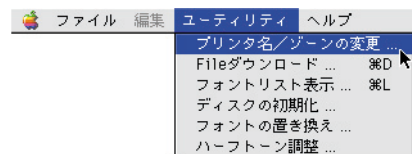
SNMPを使います

ML22NRは、SNMPエージェントを実装しています。市販されているSNMPマネージャでプリンタの設定値の参照・変更をすることができます。
SNMPマネージャで参照・変更可能な設定項目はMIBと呼ばれ、ML22NRはMIB-IIおよび沖データプライベートMIBに対応しています。沖データプライベートMIBについては、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」の[Utility]-[Nic]-[Mib]フォルダの中の「 Readme-j.txt 」を参考にしてください。

EtherTalkプリンタ名を変更したい

EtherTalkの場合に、プリンタに識別しやすい名前を付けることができます。

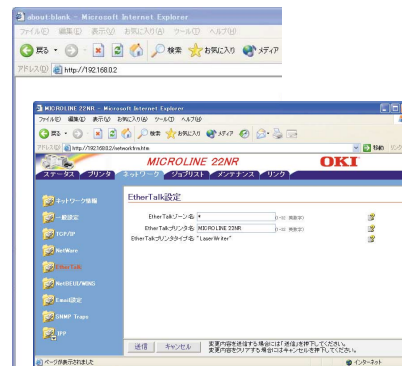
MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

・EtherTalkでネットワークに接続している場合に利用できます。
・Mac OS Xでは利用できません。

❶ [MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]-[MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

❷ [ユーティリティ]メニューから[プリンタ名/ゾーンの変更...]を選択します。

❸ 新しい名前を入力し、[保存]をクリックします。

プリンタ名の文字長は最大31文字にすることができます。ただしプリンタ名に（=:*@˜≈）などの記号は使用できません。
2バイトコードの上下どちらかのバイトに（=:*@˜≈）と一致するコードが含まれるような文字、例えば（円、淳、ァ、法）などはプリンタ名として使用することはできません。

Webブラウザを使う場合

TCP/IPでネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Webブラウザを起動し、[アドレス]にプリンタのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。
「プリンタステータス」画面が表示されます。

❷ [ログイン]をクリックします。

❸ [ユーザ名]に「root」、[パスワード]に現在のパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

・パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。
・イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（160ページ参照）

❹ [ネットワーク]タブの[EtherTalk]をクリックします。

❺ [EtherTalkプリンタ名]に新しい名前を入力し、[送信]をクリックします。

・プリンタ名は32文字以内の英数字で設定できます。
・プリンタ名に（=:*@˜≈）などの記号は使用しないでください。

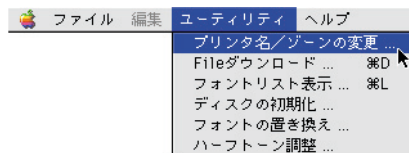
EtherTalkゾーンを変更したい

複数の論理ゾーンで区切られているEtherTalkで、プリンタを現在のゾーンから他のゾーンに変更できます。

 選択できるゾーンは同一セグメント内です。

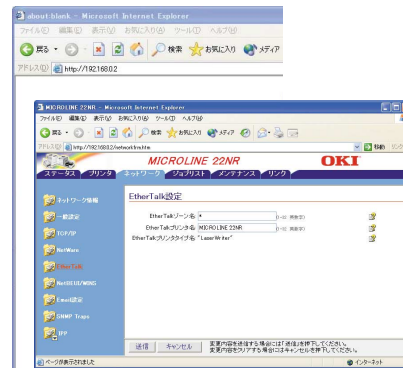
MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

- EtherTalkでネットワークに接続している場合に利用できます。
- Mac OS Xでは利用できません。

❶ [MicrolinePS]-[MicrolinePS Utility]-[MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

❷ [ユーティリティ]メニューから[プリンタ名/ゾーンの変更...]を選択します。

プリンタ名／ゾーンの変更：
ゾーンの選択：
Zone1
✓ Zone2
現在の名前：
MICROLINE 22NR
新しい名前：
MICROLINE 22NR
ヘルプ　キャンセル　元に戻す　保存

❸ 変更したいゾーン名を選び、[保存]をクリックします。

Webブラウザを使う場合

 TCP/IPでネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Webブラウザを起動し、[アドレス]にプリンタのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。「プリンタステータス」画面が表示されます。

❷ [ログイン]をクリックします。

❸ [ユーザ名]に「root」、[パスワード]に現在のパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

- パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。
- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（160ページ参照）

❹ [ネットワーク]タブの[EtherTalk]をクリックします。

❺ [EtherTalkゾーン名]に新しい名前を入力し、[送信]をクリックします。

7 UNIXで使用する場合

LPDプロトコルを利用します

TCP/IPのLPDプロトコル(lpr, lpコマンド)を使用して印刷する方法を説明します。lpr, lpコマンドの詳細はUNIXのマニュアルをご覧ください。

LPDについて

LPD(Line Printer Daemon)はネットワーク上のプリンタに印刷するためのプロトコルです。

論理プリンタについて

本プリンタには3つの論理プリンタがあります。

論理プリンタ	機　能
lp	PostScriptまたはPCL形式のファイルを印刷する場合
sjis	シフトJIS漢字コードのテキストファイルを印刷する場合
euc	euc漢字コードのテキストファイルを印刷する場合

sjis, eucはポストスクリプトプリンタのみの機能です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ　: ML22NR
IPアドレス　: 192.168.0.2
イーサネットアドレス　: 00:80:87:84:9C:9B

プリンタを設定します

TELNETを使用します。

❶ UNIXにルートでログインします。

❷ arpコマンドでプリンタに一時的なIPアドレスを設定します。

```
# arp -s 192.168.0.2
00:80:87:84:9C:9B temp
```

イーサネットアドレスはネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(160ページ参照)

❸ pingコマンドで接続を確認します。

```
# ping 192.168.0.2
```

❹ TELNETでプリンタにログインします。

メモ 「login」名は「root」、「password」は「イーサネットアドレスの下6桁」(初期値)です。

```
telnet  192.168.0.2
Trying 192.168.0.2 ...
Connected to 192.168.0.2
Escape character is '^'.
EthernetBoard MLETB12 Ver P1.09 TELNET server.

login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.

 No.  Message         Value   (level.1)
---------------------------------------
   1 : Setup TCP/IP
   2 : Setup SNMP
   3 : Setup NetWare
   4 : Setup EtherTalk
   5 : Setup NetBEUI
   6 : Setup printer trap
   7 : Setup SMTP(E-Mail)
   9 : Maintenance
  10 : Setup printer port
```

```
  11 : Display status
  12 : IP Filtering Setup
  97 : Network Reset
  98 : Set default(Network)
  99 : Exit setup
Please select(1 - 99)?
```

❺「1」を入力し、「Enterキー」を押し、次のように設定します。

```
Please select(1-99)? _1

 No.  Message       Value    (level.2)
--------------------------------------
  1 : TCP/IP Protocol     : ENABLE
  2 : IP Address          : 192.168.0.2
  3 : Subnet Mask         : 255.255.255.0
  4 : Default Gateway     : 192.168.0.1
  5 : RARP Protocol       : DISABLE
  6 : DHCP/BOOTP Protocol : DISABLE
  7 : Auto IP Address     : DISABLE
  8 : DNS Server(Pri.)    : 0.0.0.0
  9 : DNS Server(Sec.)    : 0.0.0.0
 10 : root Password       : "*******"
 11 : Network PnP Setup
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

❻ログアウトします。

❼新しい設定を有効にするために、プリンタの電源をOFF/ONします。

プリンタの電源をOFF/ONするまでは、プリンタは送信前の設定値で動作しています。必ずプリンタの電源をOFF/ONしてください。

UNIXを設定し印刷します

Sun OS4.X.Xの場合

- スーパーバイザーの権限が必要です。
- SunOS4.1.3を例にしています。

❶UNIXに管理者(root)でログインします。

❷/etc/hostsファイルにプリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸pingコマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹/etc/printcapファイルにプリンタを登録します。

```
ML_lp:¥
 :lp=:rm=ML:rp=lp:¥
 :sd=/usr/spool/ML_lp:¥
 :lf=/usr/spool/ML_lp/ML_lp_errs:
```

〈各変数の意味〉

lp ：プリンタを接続するデバイスファイル名。指定する必要はありません。
rm：リモートプリンタのホスト名。
　　手順❷で登録したホスト名を入力します。
rp ：リモートプリンタのプリンタ名。プリンタの論理プリンタ名で通常はlpを選択します。
sd：スプールディレクトリ。絶対パスで指定します。
lf ：エラーログファイル。絶対パスで指定します。

❺手順❹で登録したスプールディレクトリとエラーログファイルを作成します。

```
# mkdir /usr/spool/ML_lp
# touch /usr/spool/ML_lp/ML_lp_errs
# chown -R daemon /usr/spool/ML_lp
# chgrp -R daemon /usr/spool/ML_lp
```

❻ lpd（プリンタデーモン）が起動しているかどうかを調べます。

```
# PS aux | grep lpd
```

lpdが動作していない場合、スーパーユーザーのアカウントで下記のコマンドを実行してください。

```
# /usr/lib/lpd&
```

❼ 作成したプリントキューを有効にします。

```
# lpc restart ML_lp
```

❽ 印刷します。

```
# lpr -PML_lp〈ファイル名〉
```

❾ 印刷要求を取り消します。

```
# lprm -PML_lp〈ジョブ番号〉
```

❿ プリンタの状態を確認します。

ショートフォーマットの場合

```
# lpq -PML_lp
```

ロングフォーマットの場合

```
#lpq -l -PML_lp
```

- lpqのショートフォーマットはUNIX互換フォーマットですが、ロングフォーマットはプリンタの状態を表示する本プリンタ独自のフォーマットです。
- UNIXの仕様により正常に表示できない場合があります。

Sun Solaris2.6および8の場合

- スーパーバイザーの権限が必要です。
- OpenWindows上よりAdmintoolを使ってリモートプリンタを登録する方法は、出力先とキューの名称が同一になるため本プリンタでは利用できません。リモートプリンタの登録は以下の方法で行ってください。
- Solaris 2.xはシステムの仕様上、リモートプリンタとの接続が長時間滞った場合にエラーとみなし、強制切断するようになっています。従って、印刷中に用紙切れやオフラインなどのエラーによって待ち時間が発生した場合には印刷が打ち切られてしまいます。

❶ UNIXに管理者（root）でログインします。

❷ /etc/hostsファイルにプリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ pingコマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ プリントサーバを登録します。

```
# lpadmin -p ML_lp -m jstandard -o protocol=bsd -o dest=ML:lp -v /dev/null
```

注 「：」に続く「lp」が論理プリンタになります。

❺ プリントキューを有効にします。

```
#/usr/sbin/accept ML_lp
#/usr/bin/enable ML_lp
```

❻ 印刷します。

```
# lp -d ML_lp〈ファイル名〉
```

バナーページが不要な場合は以下のコマンドを使用します。

```
# lp -d ML_lp -o nobanner
```

❼ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp-〈ジョブ番号〉
```

❽ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

UNIXの仕様により正常に表示できない場合があります。

Sun Solaris2.3X～2.5Xの場合

- スーパーバイザーの権限が必要です。
- Sun Solaris2.4を例にしています。
- OpenWindows上よりAdmintoolを使ってリモートプリンタを登録する方法は、出力先とキューの名称が同一になるため本プリンタでは利用できません。リモートプリンタの登録は以下の方法で行ってください。
- Solaris 2.xはシステムの仕様上、リモートプリンタとの接続が長時間滞った場合にエラーとみなし、強制切断するようになっています。従って、印刷中に用紙切れやオフラインなどのエラーによって待ち時間が発生した場合には印刷が打ち切られてしまいます。

❶UNIXに管理者(root)でログインします。

❷/etc/hostsファイルにプリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸pingコマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹プリントスケジューラを停止します。

```
# /usr/sbin/lpshut
```

❺プリントサーバを登録します。

```
# /usr/sbin/lpsystem -R0 -t bsd ML
```

❻プリントキューを設定します。

```
# /usr/sbin/lpadmin -p ML_lp -s ML!lp
```

注

- cshをご使用の場合は、「!」の代わりに「¥!」または「/!」としてください。
- 「!」に続く「lp」が論理プリンタになります。
- lpadminの使い方はお使いのSun OSのマニュアルをご覧ください。

❼プリントスケジューラを起動します。

```
#/usr/bin/sh /etc/init.d/lp start
```

❽プリントキューを有効にします。

```
#/usr/sbin/accept ML_lp
#/usr/bin/enable ML_lp
```

❾印刷します。

```
# lp -d ML_lp〈ファイル名〉
```

❿印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp-〈ジョブ番号〉
```

⓫プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

UNIXの仕様により正常に表示できない場合があります。

HP-UX9.Xおよび10.Xの場合

・スーパーバイザーの権限が必要です。
・HP-UX9.03を例にしています。

❶ UNIXに管理者(root)でログインします。

❷ /etc/hostsファイルにプリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ pingコマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ 使用しているHP-UXマシンに、リモートスプーラが設定されていないときは以下の設定を行ってください。

① プリンタスプーラを停止します。

```
#/usr/lib/lpshut
```

② /etc/inetd.confファイルに以下の行を追加し、リモートスプーラを登録します。

```
printer stream tcp nowait root /usr/lib/rlpdaemon -i
```

③ inetdを再起動します。

```
#/etc/inetd -c
```

❺ プリントキューを設定します。

```
#/usr/lib/lpadmin -pML_lp -mrmodel -ormML -orplp -ocmrcmodel -osmrsmodel -ob3 -v/dev/null
```

「-p」に続く「ML_lp」がプリントキュー名、「-orm」に続く「ML」がホスト名、「-orp」に続く「lp」が論理プリンタ名になります。

❻ プリントキューを有効にします。

```
#/usr/lib/accept ML_lp
#/usr/bin/enable ML_lp
```

❼ プリンタスプーラを起動します。

```
#/usr/lib/lpsched
```

❽ 印刷します。

lp -d ML_lp〈ファイル名〉

❾ 印刷要求を取り消します。

cancel ML_lp-〈ジョブ番号〉

❿ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

UNIXの仕様により正常に表示できない場合があります。

AIX4.1.5および4.3.3の場合

注 スーパーバイザーの権限が必要です。

❶ UNIXに管理者(root)でログインします。

❷ /etc/hostsファイルにプリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ pingコマンドを使って、プリンタとの接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ プリントサーバを登録します。

```
# ruser -a -p ML
```

❺ リモートプリンタデーモンを起動します。

```
# startsrc -s lpd
# mkitab 'lpd:2:once:startsrc -s lpd'
```

❻ smitコマンドを利用してプリントキューの追加を行います。

① smitコマンドを起動し、「印刷待ち行列の追加」の項目へ移行します。

```
# smit mkrque
```

② 「接続タイプ」から「remote」(リモートホストに接続されたプリンタ)を選択します。

③ 「リモート印刷のタイプ」から「標準処理」を選択します。

④ 「標準リモート印刷待ち行列の追加」で以下の項目を設定します(下記以外の設定はご利用環境に応じて変更してください)。

追加する待ち行列	[ML_lp]
リモートサーバのホスト名	[ML]
リモートサーバ上の待ち行列名	[lp]
リモートサーバ上の印刷スプーラのタイプ	[BSD]
リモートサーバ上のプリンタ名記述	[任意のコメント]

「リモートサーバ上の待ち行列名」が論理プリンタになります。

❼ 印刷します。

```
# lp -d ML_lp〈ファイル名〉
```

❽ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp-〈ジョブ番号〉
```

❾ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

UNIXの仕様により正常に表示できない場合があります。

FTPプロトコルを利用します

TCP/IPのFTPプロトコル（ftpコマンド）を使用して印刷する方法を説明します。ftpコマンドの詳細はUNIXのマニュアルをご覧ください。

FTPについて

FTP（File Transfer Protocol）はネットワーク上のホストにファイルを転送するためのプロトコルです。

論理ディレクトリについて

本プリンタには3つの論理ディレクトリがあります。

論理プリンタ	機　能
/lp	PostScriptまたはPCL形式のファイルを印刷する場合
/sjis	シフトJIS漢字コードのテキストファイルを印刷する場合
/euc	euc漢字コードのテキストファイルを印刷する場合

sjis, eucはポストスクリプトプリンタのみの機能です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ　　　　　　　: ML22NR
IPアドレス　　　　　　: 192.168.0.2
イーサネットアドレス　: 00:80:87:84:9C:9B

プリンタを設定します

TELNETを使用します。

❶ UNIXに管理者（root）でログインします。

❷ arpコマンドでプリンタに一時的なIPアドレスを設定します。

```
# arp -s 192.168.0.2
00:80:87:84:9C:9B temp
```

イーサネットアドレスはネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（160ページ参照）

❸ pingコマンドで接続を確認します。

```
# ping 192.168.0.2
```

❹ TELNETでプリンタにログインします。

メモ　「login」名は「root」、「password」は「イーサネットアドレスの下6桁」（初期値）です。

```
telnet  192.168.0.2
Trying 192.168.0.2 ...
Connected to 192.168.0.2
Escape character is '^'.
EthernetBoard MLETB12 Ver P1.09 TELNET server.

login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.

 No.  Message          Value   (level.1)
---------------------------------------
  1 : Setup TCP/IP
  2 : Setup SNMP
  3 : Setup NetWare
  4 : Setup EtherTalk
  5 : Setup NetBEUI
  6 : Setup printer trap
  7 : Setup SMTP(E-Mail)
  9 : Maintenance
 10 : Setup printer port
 11 : Display status
```

```
  12 : IP Filtering Setup
  97 : Network Reset
  98 : Set default(Network)
  99 : Exit setup
 Please select(1 - 99)?
```

❺「1」を入力し、「Enterキー」を押し、次のように設定します。

```
Please select(1-99)? _1

 No.  Message        Value    (level.2)
 --------------------------------------
   1 : TCP/IP Protocol     : ENABLE
   2 : IP Address          : 192.168.0.2
   3 : Subnet Mask         : 255.255.255.0
   4 : Default Gateway     : 192.168.0.1
   5 : RARP Protocol       : DISABLE
   6 : DHCP/BOOTP Protocol : DISABLE
   7 : Auto IP Address     : DISABLE
   8 : DNS Server(Pri.)    : 0.0.0.0
   9 : DNS Server(Sec.)    : 0.0.0.0
  10 : root Password       : "*******"
  11 : Network PnP Setup
  99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

❻ログアウトします。

❼新しい設定を有効にするために、プリンタの電源をOFF/ONします。

注 プリンタの電源をOFF/ONするまでは、プリンタは送信前の設定値で動作しています。必ずプリンタの電源をOFF/ONしてください。

印刷します

❶ プリンタにログインします。

「Name」と「Password」にどのような値を入力しても印刷可能です。ただし、「Name」が「root」の場合は「Password」が必要となります。初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。

```
#ftp ML  (または、ftp 192.168.0.2)
Connected to ML
220 EthernetBoard MLETB12 Ver 01.09 FTP
Server
Name (ML:root):root
331 Password required.
Password:
230 user Logged in.
ftp>
```

❷ 転送先ディレクトリへ移動します。

ルートディレクトリへのファイル転送はできません。

```
ftp>cd /lp
250 Command OK.
ftp>pwd
257"/lp" is current directory.
ftp>
```

❸ 転送モードを設定します。

転送モードには、ファイルの内容をそのまま出力する「BINARYモード」と、LFコードをCR+LFコードに変換する「ASCIIモード」の2種類があります。プリンタドライバで作成したファイルを転送する場合は、「BINARYモード」を使用します。

```
ftp> type binary
200 Type set to I.
ftp> type
Using binary mode to transfer files.
ftp>
```

❹ 印刷します。

例1）印刷データ「test.prn」を転送する場合

```
ftp> put test.prn
```

例2）印刷データを絶対パス「/users/test/test.prn」付きで指定して転送する場合

```
ftp> put /users/test/test.prn
```

❺ ログアウトします。

```
ftp> quit
```

quoteコマンドの「stat」を使って、クライアントのIPアドレス、ログインユーザ名、転送モードの3つの状態を確認することができます。また、statの後に論理ディレクトリ（lp, sjis, euc）を指定すると、プリンタの状態を確認することができます。

```
ftp> quote stat
211-FTP server status:
Connected to: 192,168,0,3,5,112
User logged in: root
Transfer type: BINARY
Data connection: Closed.
211 End of status.
ftp>

ftp> quote stat /lp
211-FTP directory status:
Ready
211 End of status.
ftp>
```

8 NetWareで使用する場合

NetWareのプリントシステム

ノベル社のNetware6J、NetWare5J、NetWare4.1JおよびNetWare3.12Jネットワーク環境を利用して印刷するために必要なNetWareサーバとプリンタの設定を行います。

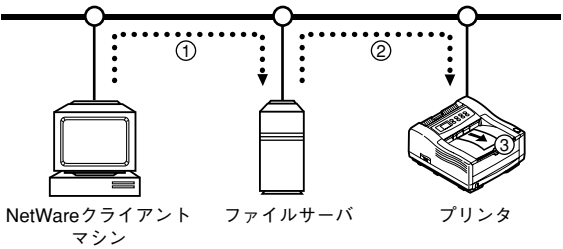
NetWareのネットワークにはNDSネットワークとバインダリネットワークがあります。プリンタのプリントシステムにはプリントサーバモードとリモートプリンタモードがあります。本プリンタで使用できる環境は次のとおりです。

○：使用できます
×：使用できません

		プリンタ	
		プリントサーバモード	リモートプリンタモード
NDSネットワーク	NetWare3.12J		
	NetWare4.1J	○	○
	NetWare5J	○	○
	NetWare6J	○	○
バインダリネットワーク	NetWare3.12J	○	○
	NetWare4.1J	○	×
	NetWare5J	○	×
	NetWare6J	○	×

NetWare6J/5JのNDPS機能には対応していません。NetWare6J/5J付属のNovellプリントゲートウェイをお使いください。

プリントサーバモード（P-Server mode）

①ファイルサーバ上のプリントキューにジョブが記憶されると、②プリントサーバとなったプリンタが、直接プリントキューへアクセスして、ジョブを取り出し、③印刷処理を実行します。
プリンタがプリントサーバの役目をするため、他のプリントサーバ(ファイルサーバ上やプリントサーバ専用のワークステーション)を必要としません。

リモートプリンタモード（R-Printer mode）

①ファイルサーバ上のプリントキューにジョブが記憶されると、②プリントサーバ(ファイルサーバ上、またはプリントサーバ専用ワークステーション)がジョブを取り出し、③プリントキューに割り当てられたプリンタにジョブを転送し、④印刷処理を実行します。
通常のNetWareのプリント機能(PSERVER.NLM/EXE)を利用するモードです。既存のプリントサーバが利用できます。

NetWare6J/5J/4.1J（NDS）プリントサーバモード

- コンピュータはNovell Clientがインストールされている必要があります。
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下のNetWare5J環境を例に、WindowsXP Home Editionでセットアップしています。

NetWare側
- NDSツリー名　：CORPORACIO
- NDSコンテキスト名　：SLP_SCOPE.HCP
- ファイルサーバ名　：HCP_SBD

プリンタ側
- プリントサーバ名　：ML849C9B
- プリントキュー名　：ML849C9B-Q1

プリンタを設定します

AdminManager（Windows）を使います。

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺ 使用許諾契約をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻ [ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [NICセットアップユーティリティ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽ 日本語をクリックします。

❾ [OKI Device Standard Setup]をクリックします。

❿ [インストールせずに、直接CD-ROMから起動する]を選択し、[次へ]をクリックします。

AdminManagerが起動します。

⓫ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。
機種名には、ML22NRの代わりにMLETB12と表示されます。

メモ イーサネットアドレスはネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(160ページ参照)

⓬ [設定]メニューの[OKI Deviceの設定]を選択します。

注
- NetWareファイルサーバが多数あると、一覧に表示されないことがあります。このような場合は検索するネットワークを指定してください。
- [オプション]メニューの[環境設定]を選択し、[NetWare]タブをクリックします。
- [検索するネットワークを指定する]を選択し、プリンタが存在するNetWareネットワークアドレスを入力し、[登録]をクリックします。
- [ファイル]メニューの[検索]をクリックします。

⓭［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

注
- パスワードは、手順⓬で選択した「Ethernetアドレス」の下6桁を入力してください。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⓮［NetWare］タブをクリックし、各項目を入力し、［設定］をクリックします。

①「NetWareプロトコルを使用する」にチェックを付けます。

②「プリントサーバ名」(この例では「ML849C9B」)を入力します。

③「プリントサーバ」にチェックを付けます。

注 「フレームタイプ」、「プリンタ名」を設定する必要はありません。

⓯設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

⓰設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

NetWareファイルサーバを設定します

AdminManagerが起動した状態から説明します。

❶ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択し、[設定]メニューの[NetWareのキュー作成]を選択します。

❷ [次へ]をクリックします。

❸ [NDSモード]を選択し、[次へ]をクリックします。

❹ プリントサーバを作成する[コンテキスト](ここではNDSツリー「CORPORACIO」、NDSコンテキスト「SLP_SCOPE.HCP」)を選択し、[次へ]をクリックします。

❺ [プリントサーバモード]を選択し、[次へ]をクリックします。

❻ [プリントキュー名](ここでは「ML849C9B-Q1」)を入力し、[次へ]をクリックします。キューを新規に作成する場合は、作成する場所を指定します。

❼設定に間違いがなければ、[実行]をクリックします。

メモ　プリンタポート名は、自動的に「プリントサーバ名」+「-prn1」になります。

❽[完了]をクリックします。

❾プリンタの電源をOFF/ONします。

ネットワークプリンタを設定します

❶プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[MCIROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

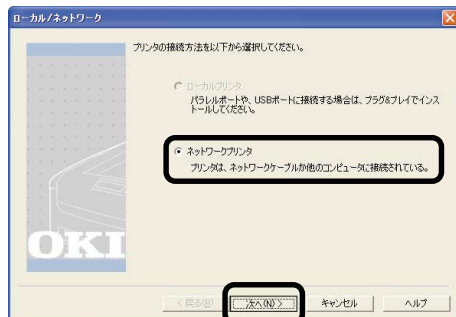
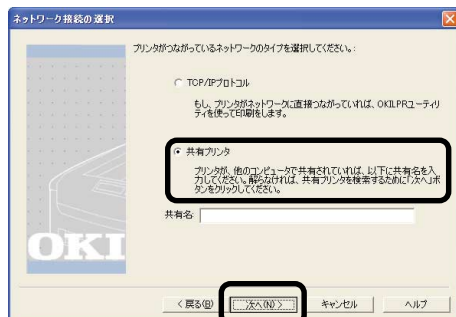
〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

❸[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

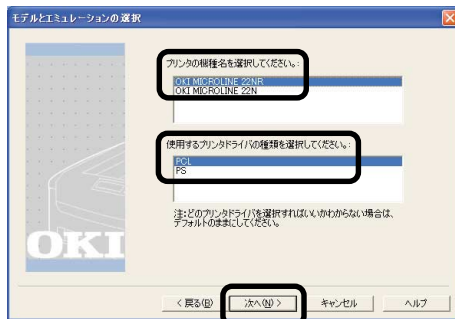
セットアッププログラムが起動します。

❹使用許諾契約をよく読み、[同意する]をクリックします。

❺[プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❻［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❼［共有プリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❽［NetWare］を選択し、［次へ］をクリックします。

コンピュータによっては表示されない場合があります。表示されない場合は❾へ進みます。

❾作成したプリントキュー名（ここでは「ML849C9B」）を選択し、［次へ］をクリックします。

❿プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

プリンタドライバがインストールされます。

⓬[完了]をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

☞ ⓮へ進みます。

⓭[終了]をクリックします。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

☞ ⓬からの続き

⓮ [完了]をクリックし、コンピュータを再起動します。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

NetWare6J/5J/4.1J(NDS)リモートプリンタモード

・コンピュータにNovell Clientがインストールされている必要があります。
・WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下のNetWare5J環境を例に、WindowsXP Home Editionでセットアップしています。

NetWare側

NDSツリー名	：CORPORACIO
NDSコンテキスト名	：SLP_SCOPE.HCP
ファイルサーバ名	：HCP_SBD
プリントサーバ名	：ML849C9B
プリントキュー名	：ML849C9B-Q1

プリンタを設定します

AdminManagerを使います。

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺ 使用許諾契約をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻ [ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [NICセットアップユーティリティ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽ 日本語をクリックします。

❾ [OKI Device Standard Setup]をクリックします。

❿ [インストールせずに、直接CD-ROMから起動する]を選択し、[次へ]をクリックします。

AdminManagerが起動します。

⓫ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。

機種名には、ML22NRの代わりにMLETB12と表示されます。

メモ イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(160ページ参照)

⓬ [設定]メニューの[OKI Deviceの設定]を選択します。

注
- NetWareファイルサーバが多数あると、一覧に表示されないことがあります。このような場合は検索するネットワークを指定してください。
- [オプション]メニューの[環境設定]を選択し、[NetWare]タブをクリックします。
- [検索するネットワークを指定する]を選択し、プリンタが存在するNetWareネットワークアドレスを入力し、[登録]をクリックします。
- [ファイル]メニューの[検索]をクリックします。

⓭ [パスワード入力]に[イーサネットアドレスの下6桁]を入力し、[OK]をクリックします。

注
- パスワードは、手順⓬で選択した「Ethernetアドレス」の下6桁を入力してください。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⓮ [NetWare]タブをクリックし、各項目を入力し、[設定]をクリックします。

① 「NetWareプロトコルを使用する」にチェックを付けます。
② 「リモートプリンタ」にチェックを付けます。

注
- 「プリントサーバ名」はリモートプリンタモードでは使用しません。
- 「フレームタイプ」、「プリンタ名」を設定する必要はありません。

⓯ 設定に間違いがなければ、[OK]をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

⓰ 設定値を有効にするため、[はい]をクリックします。

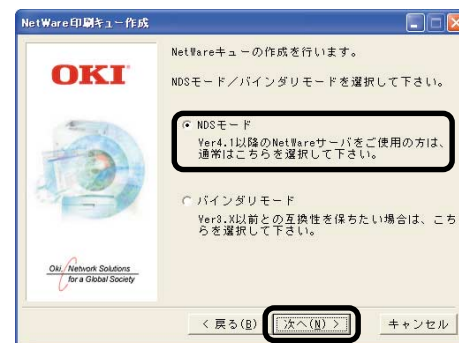
注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

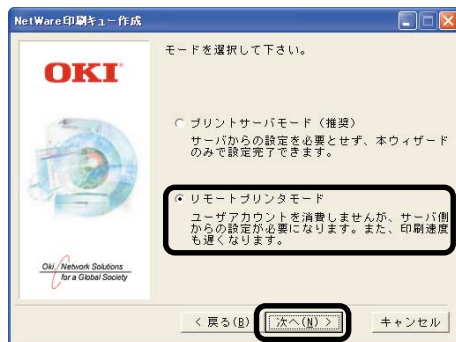
NetWareファイルサーバを設定します

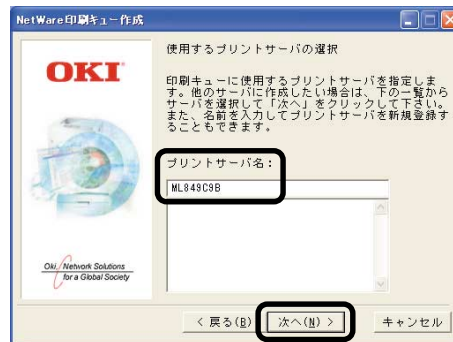
AdminManagerが起動した状態から説明します。

❶ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択し、[設定]メニューの[NetWareのキュー作成]を選択します。

❷ [次へ]をクリックします。

❸ [NDSモード]を選択し、[次へ]をクリックします。

❹プリントサーバを作成する[コンテキスト](ここではNDSツリー「CORPORACIO」、NDSコンテキスト「SLP_SCOPE.HCP」)を選択し、[次へ]をクリックします。

❺[リモートプリンタモード]を選択し、[次へ]をクリックします。

❻[プリントサーバ名](この例では「ML849C9B」)を入力し、[次へ]をクリックします。

既存のプリントサーバを選択することも可能です。

❼[プリントキュー名](この例では「ML849C9B」)を入力し、[次へ]をクリックします。

既存のキューを選択することも可能です。

❽設定に間違いがなければ、[実行]をクリックします。

メモ プリンタポート名は、自動的に「プリントサーバ名」+「-prn1」になります。

❾[完了]をクリックします。

❿NetWareのファイルサーバのコンソールからプリントサーバを再起動します。

⓫プリンタの電源をOFF/ONします。

ネットワークプリンタを設定します

❶プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

❸[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❹使用許諾契約をよく読み、[同意する]をクリックします。

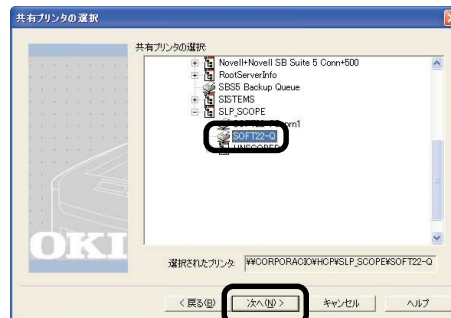
❺[プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❻ [ネットワークプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

❼ [共有プリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

❽ [NetWare]を選択し、[次へ]をクリックします。

コンピュータによっては表示されない場合があります。表示されない場合は❿へ進みます。

❾ 作成したプリントキュー名(ここでは「SOFT22-Q」)を選択し、[次へ]をクリックします。

❿ プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

プリンタドライバがインストールされます。

⓬[完了]をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

☞ ⓮へ進みます。

⓭[終了]をクリックします。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

☞ ⓬からの続き

⓮[完了]をクリックし、コンピュータを再起動します。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

NetWare6J/5J/4.1J(バインダリ)プリントサーバモード

- バインダリサービスを利用するためには、ファイルサーバにバインダリコンテキストの指定が行われている必要があります。あらかじめ、サーバコンソールより次の設定を行ってください。

  バインダリコンテキスト「OU=SLP_SCOPE.0=HCP」の場合

  set Bindery Context = OU=SLP_SCOPE.0=HCP
- コンピュータにはNovell Clientがインストールされている必要があります。
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下のNetWare5J環境を例に、WindowsXP Home Editionでセットアップしています。

NetWare側
　ファイルサーバ名　：HCP_SBD

プリンタ側
　プリントサーバ名　：ML849C9B
　プリントキュー名　：ML849C9B-Q1

プリンタを設定します

AdminManagerを使います。

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺ 使用許諾契約をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻ [ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [NICセットアップユーティリティ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽ 日本語をクリックします。

❾ [OKI Device Standard Setup]をクリックします。

❿ [インストールせずに、直接CD-ROMから起動する]を選択し、[次へ]をクリックします。

AdminManagerが起動します。

⓫ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。
機種名には、ML22NRの代わりにMLETB12と表示されます。

メモ イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(160ページ参照)

⓬ [設定]メニューの[OKI Deviceの設定]を選択します。

注
- NetWareファイルサーバが多数あると、一覧に表示されないことがあります。このような場合は検索するネットワークを指定してください。
- [オプション]メニューの[環境設定]を選択し、[NetWare]タブをクリックします。
- [検索するネットワークを指定する]を選択し、プリンタが存在するNetWareネットワークアドレスを入力し、[登録]をクリックします。
- [ファイル]メニューの[検索]をクリックします。

⓭［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

注
- パスワードは、手順⓬で選択した「Ethernetアドレス」の下6桁を入力してください。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⓮［NetWare］タブをクリックし、各項目を入力し、［設定］をクリックします。

①「NetWareプロトコルを使用する」にチェックを付けます。
②「プリントサーバ名」（この例では「ML849C9B」）を入力します。
③「プリントサーバ」にチェックを付けます。

注 「フレームタイプ」、「プリンタ名」を設定する必要はありません。

⓯設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

⓰設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

NetWareファイルサーバを設定します

AdminManagerが起動した状態から説明します。

❶一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択し、[設定]メニューの[NetWareのキュー作成]を選択します。

❷[次へ]をクリックします。

❸[バインダリモード]を選択し、[次へ]をクリックします。

❹プリントサーバを作成する[ファイルサーバ](ここでは「HCP_SBD」)を選択し、[次へ]をクリックします。

❺[プリントサーバモード]を選択し、[次へ]をクリックします。

注 バインダリネットワークでは、リモートプリンタモードを選択できません。

❻[プリントキュー名](ここでは「ML849C9B」)を入力し、[次へ]をクリックします。既存のキューを選択することも可能です。

❼ 設定に間違いがなければ、[実行]をクリックします。

メモ　プリンタポート名は、自動的に「プリントサーバ名」+「-prn1」になります。

❽ [完了]をクリックします。

❾ プリンタの電源をOFF/ONします。

ネットワークプリンタを設定します

❶ プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

❸ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❹ 使用許諾契約をよく読み、[同意する]をクリックします。

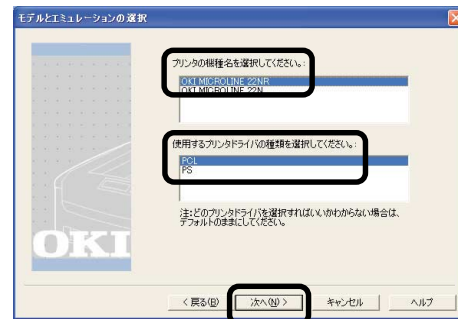
❺ [プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❻［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❼［共有プリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❽［NetWare］を選択し、［次へ］をクリックします。

コンピュータによっては表示されない場合があります。表示されない場合は❿へ進みます。

❾作成したプリントキュー名（この例では「ML849C9B」）を選択し、［次へ］をクリックします。

❿プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

⓫ プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

プリンタドライバがインストールされます。

⓬ [完了]をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

☞ ⓮へ進みます。

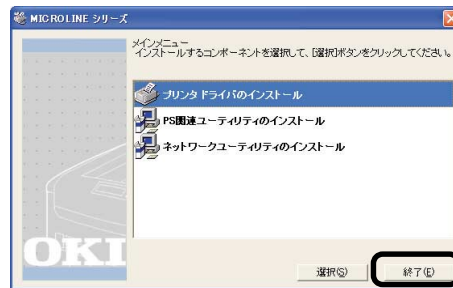
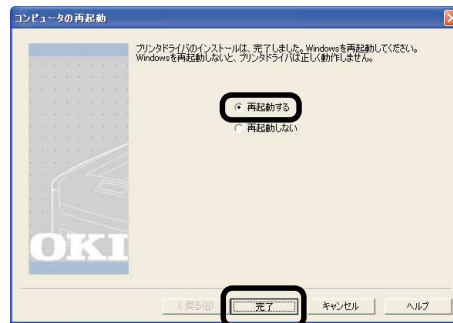
⓭ [終了]をクリックします。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

☞ ⓬からの続き

⓮ [完了]をクリックし、コンピュータを再起動します。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

NetWare3.12J

・コンピュータにNovell Clientがインストールされている必要があります。
・WindowsXP/2000/NT4.0では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。
・NetWareサーバへログインするためのネットワークドライブ名はF：を例にしています。

以下のNetWare環境を例にしています。

ファイルサーバ	：SOFT22-NW312
プリントサーバ	：ML849C9B
プリントキュー	：ML849C9B-Q1
プリンタ名	：ML849C9B-prn1

NetWareファイルサーバを設定します

PCONSOLEを起動します

❶ クライアントマシンからスーパーバイザで、ファイルサーバにログインします。

```
F:¥>LOGIN SOFT22-NW312/supervisor
```

❷ PCONSOLEを起動します。

```
F:¥>pconsole
```

［利用可能な項目］が表示されます。

```
利用可能な項目
ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞの変更
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報
```

プリントキューを作成します

❸［プリントキュー情報］を選択し、Enter キーを押します。

```
利用可能な項目
ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞの変更
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報
```

❹ Ins キーを押して、新しく作成するプリントキュー名（ここでは「ML849C9B-Q1」）を入力し、Enter キーを押します。

```
新ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ名：ML849C9B-Q1
```

プリントキューが作成されます。

```
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ
ML849C9B-Q1
```

プリントサーバを作成します

既存のプリントサーバを利用する場合は、以下の設定を行う必要はありません。「プリントサーバが管理するプリンタを作成します」へ進みます。

❺ [プリントサーバ情報]を選択し、Enter キーを押します。

利用可能な項目
ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞの変更
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報

❻ Ins キーを押して、新しく作成するプリントサーバ名(ここでは「ML849C9B」)を入力し、Enter キーを押します。

新ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名：ML849C9B

プリントサーバが登録されます。

ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ
ML849C9B

プリントサーバが管理するプリンタを作成します

❼ [プリントサーバ情報]を選択し、Enter キーを押します。

利用可能な項目
ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞの変更
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報

❽ 作成したプリントサーバ(ここでは「ML849C9B」)を選択し、Enter キーを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ
ML849C9B

❾ [プリントサーバ構成]を選択し、Enter キーを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの変更
ﾌﾙﾈｰﾑ
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ構成
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞID
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞｵﾍﾟﾚｰﾀ
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞﾕｰｻﾞ

❿ [プリンタの構成]を選択し、Enter キーを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ構成ﾒﾆｭｰ
使用されているﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ
ﾌﾟﾘﾝﾀ通知ﾘｽﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾀでｻｰﾋﾞｽされているｷｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾀの構成

⓫ 他のプリンタがインストールされていないプリンタ番号（ここでは［インストールされていません　0］）を選択し、Enter キーを押します。

```
構成完了ﾌﾟﾘﾝﾀ
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません　0
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません　1
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません　2
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません　3
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません　4
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません　5
```

⓬［名前］の欄に、リモートプリンタの名前（ここでは「ML849C9B-prn1」）を入力します。

```
ﾌﾟﾘﾝﾀ　0　の環境設定
名前：ML849C9B-prn1
ﾀｲﾌﾟ：　定義済み

社別識別子：
IRQ：
ﾊﾞｯﾌｧｻｲｽﾞ(Kﾊﾞｲﾄ)：

開始用紙：
ｷｭｰｻｰﾋﾞｽﾓｰﾄﾞ：

ﾎﾞｰﾚｰﾄ：
ﾃﾞｰﾀﾋﾞｯﾄ：
ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ：
ﾊﾟﾘﾃｨ：
X-On/X-Off 使用有無
```

⓭［タイプ］を選択し、Enter キーを押すと、［プリンタタイプ］が表示されます。

⓮［リモートパラレル，LPT1］を選択し、Enter キーを押します。

```
ﾌﾟﾘﾝﾀﾀｲﾌﾟ
ﾛｰｶﾙﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT1
ﾛｰｶﾙﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT2
ﾛｰｶﾙﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT3
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM1
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM2
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM3
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM4
ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT1
ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT2
ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT3
```

⓯ Esc キーを押し、［変更を保存しますか？］と表示されたら、［Yes］を選択し、Enter キーを押します。

プリンタが作成されます。

```
構成完了ﾌﾟﾘﾝﾀ
ML849C9B-prn1　0
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません　1
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません　2
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません　3
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません　4
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません　5
```

プリンタにプリントキューを割り当てます

⑯ [プリンタでサービスされているキュー]を選択し、Enter キーを押します。

⑰ [定義済みのプリンタ]から、プリントキューを割り当てるプリンタ(ここでは「ML849C9B-prn1」)を選択し、 Enter キーを押します。

⑱ Ins キーを押して、[使用可能キュー]からプリンタに割り当てるプリントキュー(ここでは「ML 849C9B-Q1」)を選択し、Enter キーを押します。

⑲ プリントキューの優先順位(ここでは「1」)を入力し、Enterキーを押します。

プリントキューと優先順位が割当てられます。

⑳ 複数のプリントキューを割り当てる場合は、手順⑱と⑲を繰り返します。

Pconsoleを終了します

㉑ [終了しますか? PConsole]が表示されるまで Esc キーを押し、[Yes]を選択します。

8

NetWare3.12J

プリンタを設定します

プリントサーバモードの場合

❶プリンタを設定します。

NetWare6J/5J/4.1J(バインダリ)プリントサーバモードの「プリンタを設定します」(210ページ)の手順に従ってください。

リモートプリンタモードの場合

❶ファイルサーバコンソールでプリントサーバ(この例では「ML849C9B」)を起動します。

```
:LOAD PSERVER ML849C9B
```

プリントサーバが起動している場合は再起動します。

```
:UNLOAD PSERVER
:LOAD PSERVER ML849C9B
```

❷プリンタを設定します。

NetWare6J/5J/4.1J(NDS)リモートプリンタモードの「プリンタを設定します」(203ページ)の手順に従ってください。

ネットワークプリンタをセットアップします

プリントサーバモードの場合

❶ネットワークプリンタをセットアップします

NetWare6J/5J/4.1J(バインダリ)プリントサーバモードの「ネットワークプリンタを設定します」(214ページ)の手順に従ってください。

リモートプリンタモードの場合

❶ネットワークプリンタをセットアップします

NetWare6J/5J/4.1J(NDS)リモートプリンタモードの「ネットワークプリンタを設定します」(207ページ)の手順に従ってください。

9 困ったときには

操作パネルのメッセージ

プリンタの操作パネルに表示されるメッセージと対処方法を説明します。
ここで説明する処置をしても良くならない場合は、お客様相談センター（セットアップ編）へご連絡ください。

ｘｘｘｘ：プリント言語
ｔｔｔｔ：トレイ
ｍｍｍｍ：用紙サイズ
ｐｐｐｐ：用紙タイプ
ｃｃｃｃ：カバー

ステータス

プリンタの状態を示すメッセージです。

操作パネル表示	内　容
■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■	操作パネルのテストを行っています。しばらくお待ちください。
RAMﾁｪｯｸ ********	RAM チェック中です。
ｲﾆｼｬﾙﾁｭｳ	プリンタの初期化中です。
ｵﾝﾗｲﾝ xxxx	オンラインです。印刷データを受信できます。
ｵﾌﾗｲﾝ xxxx	オフラインです。印刷する場合は「オンライン」スイッチを押してオンラインにしてください。
ﾌｧｲﾙ ｱｸｾｽﾁｭｳ	プリントジョブアカウンティングでフラッシュメモリにアクセスしています。フラッシュメモリが破損する場合がありますので、表示中は電源を OFF しないでください。
ｼﾞｭｼﾝﾁｭｳ xxxx	データ受信中です。
ｼｮﾘﾁｭｳ xxxx	データ受信中または受信したデータを処理しています。
ﾃﾞｰﾀｱﾘ xxxx	受信したデータが残っています。次に送られてくるデータを待っています。
ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	印刷しています。
ｲﾝｻﾂﾁｭｳ kkk/lll	コピー枚数が２部以上のとき、現在印刷しているコピー部数を表示します。
ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱ	受信したデータをキャンセルしています。
ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱ (ｼﾞｬﾑ)	受信したデータをキャンセルしています。（紙づまり復旧後の動作）

ステータス

操作パネル表示	内　容
ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱ (ｷｮｶ ﾅｼ)	プリントジョブアカウンティングで印刷が許可されていないユーザからジョブが送信され、ジョブがキャンセルされました。 (1) 使用制限で印刷不可が設定されているユーザのジョブ (2) 設定された制限値を超えたユーザのジョブ
ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱ (LOGﾌﾙ)	プリントジョブアカウンティングのログフル時の操作が「ジョブをキャンセルする」に設定されているとき、ログを格納する領域が足りなくなり、ジョブがキャンセルされました。
ｳｫｰﾑｱｯﾌﾟ	ウォーミングアップ中です。
ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ	省電力モード中です。
ﾃﾞﾓﾍﾟｰｼﾞ ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	テストページを印刷しています。
ﾌｫﾝﾄ ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	フォントリストを印刷しています。
ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	メニューマップを印刷しています。
ﾌｧｲﾙﾘｽﾄ ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	ファイルリストを印刷しています。
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	クリーニング印刷をしています。
ﾈｯﾄﾜｰｸ ｼｮｷｶﾁｭｳ	ネットワークボードの設定を変更しています。
ｻｲｷﾄﾞｳ n	プリンタが再起動の命令を受信しました。
EEPROM ﾘｾｯﾄﾁｭｳ	EEPROM の初期化中です。

ワーニング

印刷可能なメッセージです。メッセージによってはそのまま使用すると故障の原因になる場合がありますので、対処方法に従って対処してください。

操作パネル表示	内　容
ﾄﾅｰﾛｰ	トナー残量が少なくなっています。トナーカートリッジを交換してください。
ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ	［トナーロー］のまま使用すると表示されます。トナーカートリッジを交換してください。
ﾄﾅｰ ｾﾝｻｰ	トナーセンサに異常があります。電源を OFF/ON してください。イメージドラムカートリッジを交換してください。
ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ	イメージドラムカートリッジの交換時期です。イメージドラムカートリッジおよびトナーカートリッジを交換してください。
ﾑｺｳ ﾃﾞｰﾀ	無効なデータを受信しました。「オンライン」スイッチを押してください。
PSE ｴﾗｰ	データ処理中にポストスクリプトエラーが発生しました。このジョブデータに文法上の誤りがあるか、データが複雑すぎます。データを整理してください。
tttt ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	tttt トレイに用紙がありません。トレイに用紙をセットしてください。
ﾄﾚｲ2 ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	セカンドトレイのフロントカバーが開いています。印刷するときはカバーを閉めてください。
ﾌｧｲﾙｼｽﾃﾑ ﾌﾙ	フラッシュメモリがいっぱいです。 プリントジョブアカウンティングでログの取得をしてください。
ﾌｧｲﾙｶｷｺﾐｷﾝｼ	フラッシュメモリに書き込めません。 プリントジョブアカウンティングでログの取得をしてください。
ｷｮｶｻﾚﾃｲﾅｲID. ｲﾝｻﾂﾄﾘｹｼ	プリントジョブアカウンティングで「データクリア（キョカナシ）」によりジョブがキャンセルされた後、表示されます。「オンライン」スイッチを押すまで表示され続けます。
ﾛｸﾞﾊﾞｯﾌｧﾌﾙ. ｲﾝｻﾂﾄﾘｹｼ	プリントジョブアカウンティングで「データクリア（LOG フル）」によりジョブがキャンセルされた後、表示されます。「オンライン」スイッチを押すまで表示され続けます。
ﾌｧｲﾙｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ ｴﾗｰ nnn	フラッシュメモリに不正なアクセスがありました。 プリントジョブアカウンティングでログの取得をしてください。

エラー

プリンタが停止するメッセージです。対処方法に従って対処してください。

操作パネル表示	内　容
ﾃｻｼ mmmm ﾖｳｼｾｯﾄ	手差しトレイに用紙が入っていません。mmmm の用紙を手差しトレイにセットしてください。
mmmmｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ tttt ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	tttt トレイに用紙が入っていません。mmmm の用紙をセットしてください。
ｶﾊﾞｰｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ ﾄﾚｲ2 ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	セカンドトレイのフロントカバーが開いています。カバーを閉めてください。
mmmm/ppppｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ tttt ﾖｳｼｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	用紙のタイプが違います。表示されているタイプの用紙を tttt トレイに入れてください。
mmmm/ppppｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ tttt ｻｲｽﾞｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	用紙のサイズが違います。表示されているサイズの用紙を tttt トレイに入れてください。
ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	［トナーロー］のまま使用すると表示されます。トナーカートリッジを交換してください。
ﾒﾓﾘｰ ｵｰﾊﾞﾌﾛｰ	印刷データが複雑すぎます。データを整理してください。［オンライン］スイッチを押すと現在の設定で処理できた部分を印刷します。ESC/P の文字定義（ダウンロード）、外字定義に使用するメモリが不足しています。ESC/P の文字定義・外字定義の数を減らしてください。
ﾄｯﾌﾟｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ ﾖｳｼｻｲｽﾞ ｴﾗｰ	用紙サイズが違っているか、複数枚重なって給紙されました。スタッカカバーを開けてつまっている用紙を取り除いて、正しいサイズの用紙と交換してください。
ﾁｪｯｸ tttt ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	tttt トレイから用紙を引き込めませんでした。スタッカカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。
ﾄｯﾌﾟｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	用紙走行中に紙づまりが発生しました。スタッカカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。
ﾄｯﾌﾟｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ ﾊｲｼ ｼﾞｬﾑ	用紙排出中に紙づまりが発生しました。スタッカカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。
ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ	イメージドラムカートリッジの交換時期で、トナーが少なくなりました。イメージドラムカートリッジおよびトナーカートリッジを交換してください。
ﾄﾞﾗﾑｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ ﾄﾞﾗﾑ ｴﾗｰ	ドラムが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
ｶﾊﾞｰｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ ﾄｯﾌﾟｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	スタッカカバーが開いています。カバーを閉めてください。

操作パネル表示	内　容
ﾎｽﾄ I/F NETWORK	ネットワークエラーが発生しています。電源を OFF/ON してください。
ｴﾗｰ nnn	プリンタに異常が発生しています。電源を OFF/ON してください。 復旧しない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。 nnn が下記の場合は、次の処置も行ってください。 180：オプションの拡張給紙ユニット、マルチパーパスフィーダを取り付け直してください。 182：オプションの拡張給紙ユニット、マルチパーパスフィーダを取り付け直してください。 00X（X は 1 ～ 9 または A ～ F）：イーサネット接続をしている場合はプリンタの電源を OFF にし、接続しているイーサネットケーブルを外してプリンタをネットワークから切り離してください。その状態でプリンタの電源を ON にし、操作パネルからメニューマップ印刷を行ってください。メニューマップ印刷が正常にできる場合は、ネットワークシステムがコンピュータウィルスの被害を受けている可能性があります。コンピュータウィルスを駆除してください。プリンタ自体にコンピュータウィルスが感染することはありません。

故障かな？と思ったとき

電源をONにしても「オンライン」にならない。	
電源コードが抜けています。	☞ 電源をOFFにしてから、電源コードをしっかり差し込んでください。
停電しています。	☞ コンセントに電気がきているか、停電していないか確認してください。

印刷処理を開始しない。	
エラーが表示されています。	☞ プリンタの操作パネルにエラーが表示されている場合は、「操作パネルのメッセージ」（224ページ）をご覧ください。
プリンタケーブルが外れています。	☞ プリンタケーブルを差し込んでください。
プリンタケーブルに問題があります。	☞ 予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。
プリンタケーブルが規格に合っていない可能性があります。	☞ IEEE std 1284-1994準拠のパラレルケーブルまたはUSB2.0仕様のUSBケーブル、またはカテゴリ5、ツイストペアケーブル、ストレートのイーサネットケーブルを使用してください。
プリンタの印刷機能に問題がある可能性があります。	☞ プリンタのメニューマップ印刷ができるか確認してください。
インタフェースが無効になっています。	☞ プリンタのメニュー設定で、使用しているインタフェースを［ユウコウ］にしてください。
［オフライン］になっています。	☞ 「オンライン」を押して［オンライン］にしてください。
プリンタドライバが選択されていません。	☞ プリンタドライバを選択してください。Windowsの場合は［通常使うプリンタ］にしてください。
プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	☞ プリンタケーブルを接続した出力ポートを選択してください。
印刷が自動的にキャンセルされます。	☞ プリントジョブアカウンティングを使用している場合、プリントジョブアカウンティングの印刷制限または、プリンタのログバッファがいっぱいになっている可能性があります。詳しくは、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

印刷処理が中断する。	
プリンタケーブルが断線しています。	☞ プリンタケーブルを取り替えてください。
コンピュータのタイムアウトにかかっています。	☞ タイムアウトを長く設定してください。

異常音がする。	
プリンタが傾いています。	☞ 安定した水平な場所に設置してください。
プリンタ内部に用紙くずや異物があります。	☞ プリンタ内部を点検し、取り除いてください。
スタッカカバーが開いています。	☞ スタッカカバーの左右を押して閉じてください。

すぐに印刷を開始しない。印刷を開始するのに時間がかかる。	
省電力モードから復帰するためにウォーミングアップを行っています。	☞ プリンタのメンテナンスメニューで、［パワーセーブ］を［ムコウ］にすると、ウォーミングアップ時間を短くすることができます。
イメージドラムカートリッジのクリーニング動作を行っていることがあります。	☞ 印刷品質を保つための動作です。しばらくお待ちください。
定着器の温度を調整しています。	☞ しばらくお待ちください。
他のインタフェースからのデータを処理しています。	☞ 印刷処理が終了するまでお待ちください。

用紙送りがおかしい

紙づまりがよく起きる。複数枚同時に引き込まれる。斜めに引き込まれる。	
プリンタが傾いています。	☞ 安定した水平な場所に設置してください。
用紙が薄すぎるか厚すぎます。	☞ プリンタに適した用紙を使用してください。
用紙が湿気が含んでいたり、静電気を帯びています。	☞ 適切な湿度、湿度に保管した用紙を使用してください。
用紙に折り目やしわや反りがあります。	☞ プリンタに適した用紙を使用してください。反りがある場合は修正してください。
裏面が印刷された用紙を使用しています。	☞ 一度印刷した用紙は印刷できません。新しい用紙を使用してください。
用紙がそろっていません。	☞ 用紙の上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙カセット、マルチパーパスフィーダに用紙を1枚だけセットしています。	☞ 用紙は複数枚でセットしてください。
用紙カセット、マルチパーパスフィーダに用紙が入ったまま追加しています。	☞ 先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙がまっすぐにセットされていません。	☞ 用紙カセットの用紙ストッパと用紙ガイドを用紙に合わせてください。手差しトレイ、マルチパーパスフィーダ（オプション）の手差しガイドを用紙に合わせてください。
はがきや封筒のセット方向が間違っています。	☞ 正しくセットしてください。
はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートを用紙カセットにセットしています。	☞ はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートは用紙カセットから印刷できません。手差しトレイまたはマルチパーパスフィーダ（オプション）にセットし、フェイスアップスタッカへ排出してください。

用紙が送られない。	
プリンタドライバの［給紙方法］の選択が間違っています。	☞ 用紙をセットしてある給紙方法を選択してください。
プリンタのメニュー設定が間違っています。	☞ プリンタのメニュー設定の［** サイズ］（**はトレイ）で、セットした用紙サイズを設定してください。

つまった用紙を取り除いても復旧しない。	
用紙を取り除くだけでは復旧しません。	☞ スタッカカバーを開閉してください。

用紙がまるまってしまう。シワが出る。	
用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
薄い用紙を使用しています。	☞ プリンタのメニュー設定で［** ウェイト］（**はトレイ）を1つ薄い紙の値にしてください。 Macintosh PCLプリンタドライバ、Mac OS X PCLプリンタドライバを使用する場合は、プリンタドライバの［用紙厚］で［薄い紙］を選択してください。

Windowsから印刷できない

アプリケーションに関する問題については、各アプリケーションの発売元へお問い合わせください。

印刷できない。	
プリンタの電源がOFFになっています。	☞ プリンタの電源をONにしてください。
インタフェースが無効になっています。	☞ プリンタのメニュー設定で［セントロ］または［USB］を［ユウコウ］にしてください。
プリンタケーブルが外れています。	☞ プリンタケーブルを差し込んでください。
［オフライン］になっています。	☞ 「オンライン」を押して［オンライン］にしてください。
プリンタケーブルに問題があります。	☞ 予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。
切替器、バッファ、延長ケーブル、USBハブを使用しています。	☞ プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	☞ プリンタケーブルを接続した出力ポートを指定してください。
他のインタフェースからの印刷を処理しています。	☞ 印刷処理が完了するまでお待ちください。
プリンタドライバが［通常使うプリンタ］になっていません。	☞ ［通常使用するプリンタ］にしてください。
双方向パラレルまたはUSBで動作する他のプリンタドライバがインストールされています。	☞ 他のプリンタドライバを削除してみてください。
I-PRIMEの設定がコンピュータに合っていません。	☞ プリンタのメニュー設定で［I-PRIME］を［3u SEC］または［5u SEC］にしてください。

PSプリンタドライバで印刷すると、文字の種類が画面と印刷結果で異なる。	
書類中にシステムに存在しないフォントを使用しています。。	☞ 書類中で使用しているフォントをシステムにインストールしてください。または、書類中で使用しているフォントをシステムに存在するものに変更してください。

メモリ不足になる。	
複数のアプリケーションを同時に起動してます。	☞ 使用していないアプリケーションを終了してください。

印刷が遅い。	
印刷処理をコンピュータ側でも行っています。	☞ 処理速度の速いコンピュータを使用してください。
［印刷品質］もしくは［解像度］で［きれい］を選択しています。	☞ プリンタドライバの［印刷品質］もしくは［解像度］で［ふつう］もしくは［はやい］を指定してください。
印刷データが複雑です。	☞ 印刷データを簡単にしてください。

ネットワーク接続でセットアップできない。印刷できない。	
セットアップ、印刷方法などに問題があります。	☞ 「ネットワーク経由で印刷できない」（233ページ）をご覧ください。

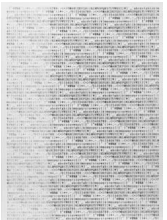
Macintoshから印刷できない

アプリケーションに関する問題については、各アプリケーションの発売元へお問い合わせください。

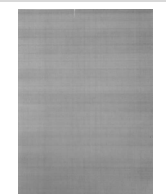
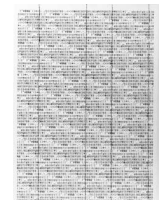
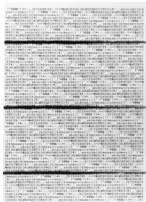
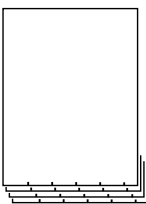
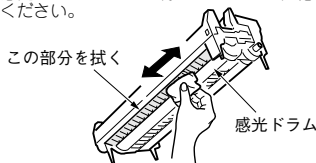
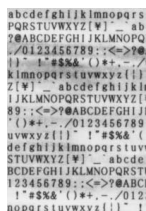
PSプリンタドライバで印刷すると、文字の種類が画面と印刷結果で異なる。	
書類中にシステムに存在しないフォントを使用しています。	☞ 書類中で使用しているフォントをシステムにインストールしてください。または、書類中で使用しているフォントをシステムに存在するものに変更してください。

多くの書体を使用した文書を印刷すると、PostScriptエラーになる。	
MacOSの制限です。	☞ ［用紙設定］-［PostScriptオプション］で［ダウンロード可能フォントの制限なし］にチェックを付けてください。

メモリエラーになる。	
デスクトップ・プリントモニタのメモリサイズが不足しています。	☞ メモリサイズを大きくしてください。

印刷が遅い。	
印刷処理をMacintosh側でも行っています。	☞ 処理速度の速いMacintoshを使用してください。
［印刷品位］の［きれい］を選択しています。	☞ プリンタドライバの［印刷品位］もしくは［解像度］で［ふつう］または［はやい］を指定してください。
印刷データが複雑です。	☞ 印刷データを簡単にしてください。

ネットワーク接続でセットアップできない。印刷できない。	
セットアップ、印刷方法などに問題があります。	☞ 「ネットワーク経由で印刷できない」（233ページ）をご覧ください。

印刷が不鮮明なとき

縦方向に白いスジが入る。		
	LEDヘッドが汚れています。	☞ LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞ イメージドラムにトナーカートリッジを取り付けた状態でトナーカートリッジを軽くたたいてください。 それでも改善しない場合は、トナーカートリッジを交換してください。
	異物がつまっています。	☞ イメージドラムカートリッジを交換してください。

縦方向にかすれる。		
	LEDヘッドが汚れています。	☞ LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞ イメージドラムにトナーカートリッジを取り付けた状態でトナーカートリッジを軽くたたいてください。 それでも改善しない場合は、トナーカートリッジを交換してください。
	用紙がプリンタに適していません。	☞ 推奨紙を使用してください。

印刷が薄い。		
	トナーカートリッジが正しくセットされていません。	☞ トナーカートリッジを取り付け直してください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞ イメージドラムにトナーカートリッジを取り付けた状態でトナーカートリッジを軽くたたいてください。 それでも改善しない場合は、トナーカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を含んでいます。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	用紙がプリンタに適していません。	☞ 推奨紙を使用してください。
	印刷濃度の設定が不適切です。	☞ プリンタのメニュー設定で［インサツノウド］を［+1］または［+2］に設定してください。 Macintosh PCLプリンタドライバ、Mac OS X PCLプリンタドライバを使用する場合は、プリンタドライバの［印刷濃度］で［やや濃い］または［濃い］に設定してください。

部分的にかすれる。ベタを印刷すると白い点が現れる。		
	用紙が湿気を含んでいます。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	「セッティング」の設定が不適切です。	☞ プリンタのメンテナンスメニューで［セッティング］の値を変更してみてください。
	はがきの下の方の印刷がかすれることがあります。	☞ プリンタの故障ではありません。

縦方向にスジが入る。		
	イメージドラムカートリッジに傷がついています。	☞ イメージドラムカートリッジを交換してください。

横方向にスジや点が周期的に入る。

原因	対処
約94mm周期の場合は、イメージドラム（緑の筒の部分）に傷または汚れがついています。	☞ クリーニングページを数回行ってください。イメージドラム(緑の筒の部分)に汚れがついていたら、柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。傷がついていたら、イメージドラムカートリッジを交換してください。
約30mm周期の場合は、イメージドラムカートリッジ内にゴミが混入しています。	☞ クリーニングページを数回行ってください。
約62mm周期の場合は、定着器に傷がついています。	☞ お客様相談センターにお問い合わせください。
イメージドラムカートリッジが光にさらされました。	☞ イメージドラムカートリッジをプリンタの内部に戻し、数時間プリンタを使用しないでください。それでも直らない場合は、イメージドラムカートリッジを交換してください。

用紙後端部が点状に汚れる。用紙を重ねると筋状に黒くなる。

原因	対処
イメージドラムカートリッジの底面にトナーが付着しています。	☞ イメージドラムカートリッジの底面（図の部分）を乾いた布やティッシュペーパーで拭いてください。 ※感光ドラムにキズを付けないように注意してください。

この部分を拭く

感光ドラム

白地の部分が薄く汚れる。

原因	対処
用紙が静電気を帯びています。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
用紙が厚すぎます。	☞ より薄手の用紙を使用してください。
トナーが残り少なくなっています。	☞ イメージドラムにトナーカートリッジを取り付けた状態でトナーカートリッジを軽くたたいてください。 それでも改善しない場合は、トナーカートリッジを交換してください。

文字の周辺がにじむ。

原因	対処
LEDヘッドが汚れています。	☞ LEDレンズクリーナまた柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
印刷濃度の設定が不適切です。	☞ プリンタのメニュー設定で［インサツノウド］を［-1］または［-2］に設定してください。 Macintosh PCLプリンタドライバ、Mac OS X PCLプリンタドライバを使用する場合は、プリンタドライバの［印刷濃度］で［やや薄い］または［薄い］を選択してください。

はがき、封筒を印刷すると全体的に薄く汚れる。擦ると文字の周辺が汚れる。

原因	対処
はがき、封筒に印刷すると、全体的にトナーが付着（かぶり）することがあります。	☞ プリンタの故障ではありません。
用紙厚の設定が不適切です。	☞ プリンタのメニュー設定の［ヨウシアツ］で［ヨリアツイカミ］を選択してください。 Macintosh PCLプリンタドライバ、Mac OS X PCLプリンタドライバを使用する場合は、プリンタドライバの［用紙厚］で［より厚い紙］を選択してください。

ネットワーク経由で印刷できない

UNIX

- 「etc/hostsファイル」にプリンタの[IPアドレス]と[ホスト名]が登録されているか確認します。
- lpプロトコルを利用する場合は、「etc/printcapファイル」にリモートプリンタの論理プリンタ名(例:rp=lp)が登録されているか確認します。論理プリンタ名には「lp」「sjis」「euc」があり、「lp」は無変換出力設定用、「sjis」はシフトJIS PostScript漢字変換出力用、「euc」はEUC PostScript漢字変換出力用です。それ以外は全て無効です。
- ftpプロトコルを利用する場合は、出力先(イーサネットボードの論理ディレクトリ名)が指定されているか確認します。出力先には「lp」「sjis」「euc」があり、「lp」は無変換出力設定用、「sjis」はシフトJIS PostScript漢字変換出力用、「euc」はEUC PostScript漢字変換出力用です。それ以外は全て無効です。

NetWare

◆プリントサーバモードを利用する場合

- ファイルサーバ上にプリントサーバが起動しているか確認します。
- ネットワークの設定情報(Network Information)(160ページ)の「File Server#」が、利用している「ファイルサーバ名」と同じか確認します。
- ネットワークの設定情報(Network Information)(160ページ)の「Printer Name」が、ファイルサーバの「プリンタ名」と同じか確認します。
- ネットワークの設定情報(Network Information)(160ページ)の「Print Server Name」がファイルサーバの「プリントサーバ名」と同じか確認します。
- イーサネットボードが複数存在する場合はイーサネットボード同士の「Printer Name」が同じにならないようにします。

◆リモートプリンタモードを利用する場合

- ファイルサーバ上にプリントサーバが起動しているか確認します。
- ネットワークの設定情報(Network Information)(160ページ)の「Print Server#」がファイルサーバ上の「プリントサーバ名」と同じか確認します。
- ネットワークの設定情報(Network Information)(160ページ)の「Printer Name」がファイルサーバのプリントサーバモニタに表示されている「プリンタ名」と一致しているか確認します。

ユーティリティ

- AdminManager(Windows)でプリンタを検出できるか確認します。
- Setup Utility(Macintosh)でプリンタを検出できるか確認します。
- Webブラウザでプリンタを検出できるか確認します。(58, 74ページ)
- telnetでプリンタを検出できるか確認します。
- pingでプリンタを検出できるか確認します。Windowsのコマンドプロンプト(MS-DOSプロンプト)で「ping xxx.xxx.xxx.xxx」(xxx.xxx.xxx.xxxはプリンタのIPアドレス)と入力し、Enterキーを押します。

付　録

仕様

USBインタフェース仕様

基本仕様

USB

コネクタ

プリンタ側　Ｂレセプタクル(メス)アップストリームポート
UBB-4R-D14T-1(日本圧着端子製造株式会社製)相当品
ケーブル側　Ｂプラグ(オス)

ケーブル

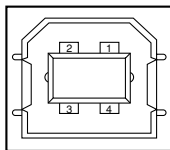
2m以下のUSB2.0仕様のケーブル
（シールドされているケーブル線を使用してください。）

伝送モード

フルスピード(最大12Mbps ± 0.25%)

電力制御

セルフパワーデバイス

コネクタピン配列

インタフェース信号

	信号名	機　能
1	Vbus	電源（+5V）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド
Shell	Shield	

ネットワークインタフェース仕様

基本仕様

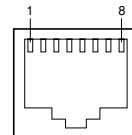
ネットワークプロトコル
TCP/IP仕様　ネットワーク層　ARP､RARP､IP､ICMP
　　　　　　トランスポート層　TCP､UDP
　　　　　　アプリケーション層　LPR､FTP､TELNET､HTTP､IPP､BOOTP､SMTP､WINS､DHCP､SNMP､POP3
NetBEUI仕様　SMB、NetBIOS
NetWare仕様　リモートプリンタモード(最大８プリントサーバ)
　　　　　　プリントサーバモード(最大８ファイルサーバ・32キュー)
　　　　　　暗号化パスワードに対応(プリントサーバモード時)
　　　　　　NetWare6J/5J/4.1J(NDS、バインダリ)
　　　　　　SNMP
EtherTalk仕様　ELAP､AARP､DDP､AEP､NBP､ZIP､RTMP､ATP､PAP

コネクタ

100 BASE-TX / 10 BASE-T（自動切り替え、同時使用不可）

ケーブル

RJ-45コネクタ付き非シールドツイストペアケーブル

コネクタピン配列

インタフェース信号

ピンNo.	信号名	方　向	機　能
1	TXD+	FROM PRINTER	送信データ+
2	TXD-	FROM PRINTER	送信データ-
3	RXD+	TO PRINTER	受信データ+
4	−	−	使用していません。
5	−	−	使用していません。
6	RXD-	TO PRINTER	受信データ-
7	−	−	使用していません。
8	−	−	使用していません。

パラレルインタフェース仕様

基本仕様

IEEEstd1284 -1994 準拠パラレルインタフェース

コネクタ

プリンタ側　　36 極レセプタクル(メス)
57RE-40360-830B-D29 型(第一電子工業製または相当品)

ケーブル側　　36 極プラグ(オス)
57FE-30360 型(第一電子工業製または相当品)

ケーブル

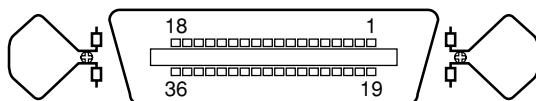
1.8m 以下の IEEEstd 1284-1994 適合ケーブルまたは相当品
(シールドされているケーブル線を使用してください。)

伝送モード

コンパチブル
ニブル
ECP

インタフェースレベル

ローレベル　　＋0.0～＋0.4V
ハイレベル　　＋2.4～＋5.0V

コネクタピン配列

インタフェース信号

ピンNo.	信号名	方　向	機　能
1	nStrobe (HostClk)	TO PRINTER	データを読み込むためのパルスです。後縁でデータを読み込みます。
2	DATA 1	Bi-direction	8ビットのパラレルデータです。ハイレベルが“1”、ローレベルが“0”です。
3	DATA 2		
4	DATA 3		
5	DATA 4		
6	DATA 5		
7	DATA 6		
8	DATA 7		
9	DATA 8		
10	nAck(PtrClk)	FROM PRINTER	データの受信完了を示す信号です。
11	Busy(PtrBusy)	FROM PRINTER	プリンタがデータを受け取れる状態かどうかを示す信号です。ハイレベルのときはデータを受け取れません。
12	PError(AckDataReq)	FROM PRINTER	ハイレベルのときは、用紙のエラーを示します。
13	Select(Xflag)	FROM PRINTER	パラレルインタフェースが有効な場合、常にハイレベルです。
14	nAutoFd(HostBusy)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。
15	—	—	使用していません。
16	GND	—	信号グランド
17	FG	—	シャーシグランド
18	+5V	FROM PRINTER	外部へ電源を供給できません。
19～30	GND	—	信号グランド
31	nInit(nInit)	TO PRINTER	ローレベルで、プリンタが初期化されます。
32	nFault(nDataAvail)	FROM PRINTER	プリンタがアラーム状態のときローレベルになります。
33	GND	—	信号グランド
34	—	—	使用していません。
35	HILEVEL	FROM PRINTER	プリンタ内部で3.3KΩで+5Vにプルアップされています。
36	nSelectIn (IEEE1284 active)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。コンパチブルモード時はローレベルでなければなりません。

- カッコ内はニブルモードの信号名です。
- コンパチブルモードの機能のみ説明しています。
- 米国電気電子技術者協会が規定するIEEEstd1284-1994のニブルモードをサポートしています。この規格に適合しないコンピュータやケーブルを使用すると、予期しない動作をすることがあります。

フォントサンプル（PostScript3エミュレーションモード）

日本語2書体

平成角ゴシック体™W5
株式会社　沖データ

平成明朝体™W3
株式会社　沖データ

欧文136書体

AlbertusMT
AlbertusMT-Italic
AlbertusMT-Light

AntiqueOlive-Roman
AntiqueOlive-Italic
AntiqueOlive-Bold
AntiqueOlive-Compact

Apple-Chancery

ArialMT
Arial-ItalicMT
Arial-BoldMT
Arial-BoldItalicMT

AvantGarde-Book
AvantGarde-BookOblique
AvantGarde-Demi
AvantGarde-DemiOblique

Bodoni
Bodoni-Italic
Bodoni-Bold
Bodoni-BoldItalic
Bodoni-Poster
Bodoni-PosterCompressed

Bookman-Light
Bookman-LightItalic
Bookman-Demi
Bookman-DemiItalic

Candid

Chicago

Clarendon
Clarendon-Bold
Clarendon-Light

CooperBlack
CooperBlack-Italic
Copperplate-ThirtyThreeBC
Copperplate-ThirtyTwoBC

Coronet-Regular

Courier
Courier-Oblique
Courier-Bold
Courier-BoldOblique

Eurostile
Eurostile-Bold
Eurostile-ExtendedTwo
Eurostile-BoldExtendedTwo

Geneva

GillSans-Light
GillSans-LightItalic
GillSans
GillSans-Italic
GillSans-Bold
GillSans-BoldItalic
GillSans-ExtraBold
GillSans-Condensed
GillSans-BoldCondensed

Goudy
Goudy-Italic
Goudy-Bold
Goudy-BoldItalic
Goudy-ExtraBold

Helvetica
Helvetica-Oblique
Helvetica-Bold
Helvetica-BoldOblique

Helvetica-Condensed
Helvetica-Condensed-Oblique
Helvetica-Condensed-Bold
Helvetica-Condensed-BoldObl
Helvetica-Narrow
Helvetica-Narrow-Oblique
Helvetica-Narrow-Bold
Helvetica-Narrow-BoldOblique

HoeflerText-Regular
HoeflerText-Italic
HoeflerText-Black
HoeflerText-BlackItalic
HoeflerText-Ornaments

JoannaMT
JoannaMT-Italic
JoannaMT-Bold
JoannaMT-BoldItalic

LetterGothic
LetterGothic-Slanted
LetterGothic-Bold
LetterGothic-BoldSlanted

LubalinGraph-Book
LubalinGraph-BookOblique
LubalinGraph-Demi
LubalinGraph-DemiOblique

Marigold

Monaco

MonaLisa-Recut

NewCenturySchlbk-Roman
NewCenturySchlbk-Italic
NewCenturySchlbk-Bold
NewCenturySchlbk-BoldItalic

NewYork

Optima
Optima-Italic
Optima-Bold
Optima-BoldItalic

Oxford

Palatino-Roman
Palatino-Italic
Palatino-Bold
Palatino-BoldItalic

StempelGaramond-Roman
StempelGaramond-Italic
StempelGaramond-Bold
StempelGaramond-BoldItalic

Symbol　ΑΘΥΙΧΚΒΡΟΩΝ

Taffy

Times-Roman
Times-Italic
Times-Bold
Times-BoldItalic

TimesNewRomanPSMT
TimesNewRomanPS-ItalicMT
TimesNewRomanPS-BoldMT
TimesNewRomanPS-BoldItalicMT

Univers-Light
Univers-LightOblique
Univers
Univers-Oblique
Univers-Bold
Univers-BoldOblique
Univers-Condensed
Univers-CondensedOblique
Univers-CondensedBold
Univers-CondensedBoldOblique
Univers-Extended
Univers-ExtendedObl
Univers-BoldExt
Univers-BoldExtObl

Wingdings-Regular
Wingdings2
Wingdings3
ZapfChancery-MediumItalic

ZapfDingbats

フォントサンプル(PCLエミュレーションモード)

Macintosh環境では使用できません。

日本語4書体

平成明朝
株式会社 沖データ

平成角ゴシック
株式会社 沖データ

P平成明朝
株式会社 沖データ

P平成角ゴシック
株式会社 沖データ

欧文84書体

- OSによって使用できる書体に制限があります。
- OCR-A、OCR-B、USPS POSTNET Bar CodesはWindows環境では使用できません。
- ビットマップフォントは、固定サイズです。
- PCL Font Listに印刷されているKoufi、Naskh、Ryadhは使用できません。

スケーラブルフォント(80書体)

Font No.	
004	Courier
005	Courier Bold
006	Courier Italic
007	Courier Bold Italic
008	CG Times
009	CG Times Bold
010	CG Times Italic
011	CG Times Bold Italic
012	CG Omega
013	CG Omega Bold
014	CG Omega Italic
015	CG Omega Bold Italic
016	Coronet
017	Clarendon Condensed
018	Univers Medium
019	Univers Bold
020	Univers Medium Italic
021	Univers Bold Italic
022	Univers Medium Condensed
023	Univers Bold Condensed
024	Univers Medium Condensed Italic
025	Univers Bold Condensed Italic
026	Antique Olive
027	Antique Olive Bold
028	Antique Olive Italic
029	Garamond Antique
030	Garamond Halbfett
031	Garamond Kursiv
032	Garamond Kursiv Halbfett
033	Marigold
034	Albertus Medium
035	Albertus Extra Bold
036	Letter Gothic
037	Letter Gothic Bold
038	Letter Gothic Italic
039	Arial
040	Arial Bold
041	Arial Italic
042	Arial Bold Italic
043	Times New
044	Times New Bold
045	Times New Italic
046	Times New Bold Italic
047	ITC Avant Garde Gothic Book
048	ITC Avant Garde Gothic Demi
049	ITC Avant Garde Gothic Book Oblique
050	ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique
051	ITC Bookman Light
052	ITC Bookman Demi
053	ITC Bookman Light Italic
054	ITC Bookman Demi Italic
055	CourierPS
056	CourierPS Bold
057	CourierPS Oblique
058	CourierPS Bold Oblique
059	Helvetica
060	Helvetica Bold
061	Helvetica Oblique
062	Helvetica Bold Oblique
063	Helvetica Narrow
064	Helvetica Narrow Bold
065	Helvetica Narrow Oblique
066	Helvetica Narrow Bold Oblique
067	New Century Schoolbook Roman
068	New Century Schoolbook Bold
069	New Century Schoolbook Italic
070	New Century Schoolbook Bold Italic
071	Palatino Roman
072	Palatino Bold
073	Palatino Italic
074	Palatino Bold Italic
075	Times Roman
076	Times Bold
077	Times Italic
078	Times Bold Italic
079	ITC Zapf Chancery Medium Italic
080	Symbol ABXΔEφγηιφ12345
081	SymbolPS ABXΔEφγηιφ12345
082	Wingdings
083	ITC Zapf Dingbats

ビットマップ フォント(3書体)

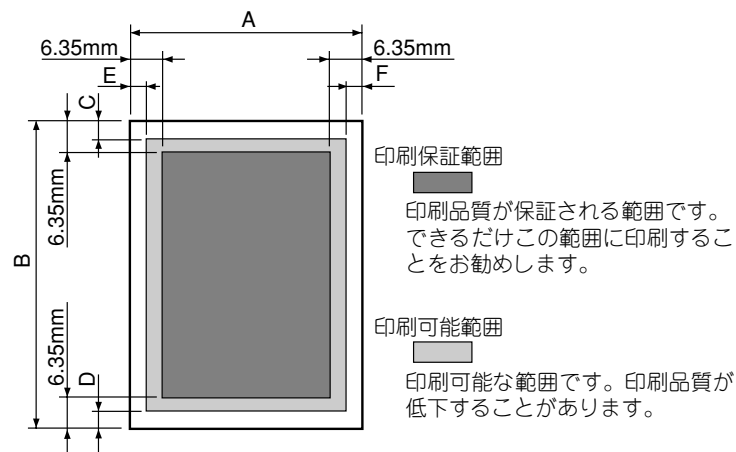
Font No.	
084	Line Printer ABCDEfghij12345
085	OCR-A ABCDEfghij12345
086	OCR-B ABCDEfghij12345

USPS POSTNET Bar Codes

Font No.	
087	USPS POSTNET Bar Codes

印刷範囲と印刷精度（PostScript3エミュレーションモード、PCLエミュレーションモード）

プリンタドライバの印刷範囲は次のとおりです。
実際の印刷範囲は、アプリケーションにより異なることがあります。

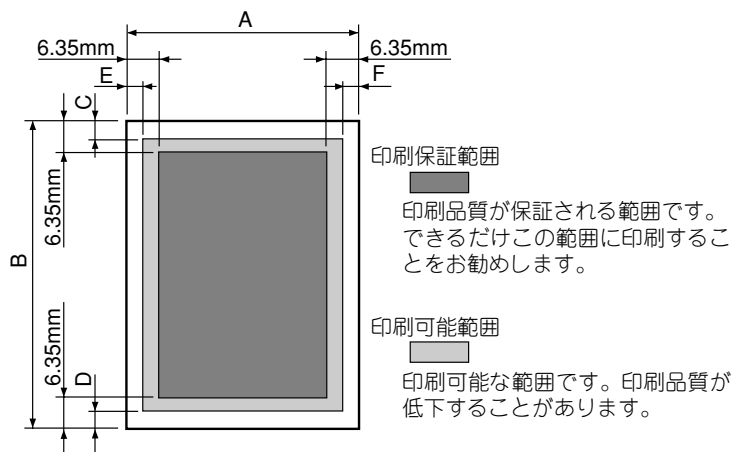
- 印刷精度は、書き出し位置 ±2mm、用紙の斜行 ±1mm/100mm、画像伸縮 ±1mm/100mm（連量70kgの場合）です。
- 両面印刷時の表裏の印刷位置精度は±2.5mmです。

単位：mm

用紙サイズ	幅	長さ	PSプリンタドライバ				PCLプリンタドライバ			
			上余白	下余白	左余白	右余白	上余白	下余白	左余白	右余白
	A	B	C	D	E	F	C	D	E	F
A4	210	297	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
A5	148	210	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
A6	105	148	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
B5	182	257	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
レター	215.9	279.4	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（13インチ）	215.9	330.2	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（14インチ）	215.9	355.6	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
エグゼクティブ	184.2	266.7	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
フリー*1*2	90～215.9	148～355.6	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
はがき	100	148	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
往復はがき	148	200	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒1（長形3号）	120	235	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒2（長形4号）	90	205	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒3（洋形4号）	105	235	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-9	98.4	225.4	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-10	104.8	241.3	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
DL	110	220	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
C5	162	229	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Monarch	98.4	190.5	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23

*1：トレイ2は、幅148～215.9、長さ210～355.6です。
*2：マルチパーパスフィーダは長さ148～297です。

印刷範囲と印刷精度（ESC/Pエミュレーションモード）

実際の印刷範囲は、アプリケーションにより異なることがあります。

- 印刷精度は、書き出し位置 ±2mm、用紙の斜行 ±1mm/100mm、画像伸縮 ±1mm/100mm（連量70kgの場合）です。
- 両面印刷時の表裏の印刷位置精度は±2.5mmです。

単位：mm

用紙サイズ	幅	長さ	上余白	下余白	左余白	右余白
	A	B	C	D	E	F
A4	210	297	8.50	5.08	5.08	5.08
A5	148	210	8.50	5.08	5.08	5.08
A6	105	148	8.50	5.08	5.08	5.08
B5	182	257	8.50	5.08	5.08	5.08
レター	215.9	279.4	8.50	5.08	5.08	5.08
リーガル（13インチ）	215.9	330.2	8.50	5.08	5.08	5.08
リーガル（14インチ）	215.9	355.6	8.50	5.08	5.08	5.08
エグゼクティブ	184.2	266.7	8.50	5.08	5.08	5.08
フリー*1*2	90～215.9	148～355.6	8.50	5.08	5.08	5.08
はがき	100	148	8.50	5.08	5.08	5.08
往復はがき	148	200	8.50	5.08	5.08	5.08
封筒1（長形3号）	120	235	8.50	5.08	5.08	5.08
封筒2（長形4号）	90	205	8.50	5.08	5.08	5.08
封筒3（洋形4号）	105	235	8.50	5.08	5.08	5.08
Com-9	98.4	225.4	8.50	5.08	5.08	5.08
Com-10	104.8	241.3	8.50	5.08	5.08	5.08
DL	110	220	8.50	5.08	5.08	5.08
C5	162	229	8.50	5.08	5.08	5.08
Monarch	98.4	190.5	8.50	5.08	5.08	5.08

*1：トレイ2は、幅148～215.9、長さ210～355.6です。
*2：マルチパーパスフィーダは長さ148～297です。

- [アタマダシイチ]と[タテオフセット]との設定によりCが変化します。表中の8.50mmは、デフォルト値です。最小値は4.08mmです。
- [Xホセイ]、[Yホセイ]の設定により印刷可能範囲が変化します。

仕様

ESC/Pエミュレーションコマンド一覧

このプリンタのESC/Pモードでサポートしているコマンドを以下に示します。
コマンドの詳細については、「EPSON ESC/Pリファレンスマニュアル（セイコーエプソン株式会社）」をご覧ください。

書式設定・実行

機　能	コマンド
行単位ページ長設定	ESC C
インチ単位ページ長設定	ESC C 0
右マージン設定	ESC Q
左マージン設定	ESC ℓ
1/8インチ改行量設定	ESC 0
1/6インチ改行量設定	ESC 2
n/180インチ改行量設定	ESC 3
n/60インチ改行量設定	ESC A
垂直タブ位置設定	ESC B
水平タブ位置設定	ESC D
印字復帰	CR
改行	LF
改ページ	FF
n/180インチ順方向紙送り	ESC J
n/180インチ逆方向紙送り	ESC j
水平タブ実行	HT
垂直タブ実行	VT
絶対位置指定	ESC $
相対位置指定	ESC ¥

ANK・漢字テキスト処理

機　能	コマンド
自動解除付き倍幅拡大指定	SO
	ESC SO
	FS SO
自動解除付き倍幅拡大解除	DC4
	FS DC4
倍幅拡大指定/解除	ESC W
強調指定	ESC E
強調解除	ESC F
二重印字指定	ESC G
二重印字解除	ESC H
文字スタイル選択	ESC q
イタリック指定	ESC 4
イタリック解除	ESC 5
一括指定	ESC !

ANKテキスト処理

機　能	コマンド
12CPI指定	ESC M
10CPI指定	ESC P
15CPI指定	ESC g
国際文字選択	ESC R
スーパー/サブスクリプト指定	ESC S
スーパー/サブスクリプト解除	ESC T
文字品位選択	ESC x
書体選択	ESC k
プロポーション指定/解除	ESC p
文字コード表選択	ESC t
ダウンロード文字セット指定/解除	ESC %
ダウンロード文字定義	ESC &
文字セットコピー	ESC :
文字間スペース量指定	ESC SP
縦倍拡大指定/解除	ESC w
縮小指定	SI
縮小解除	DC2
アンダーライン指定/解除	ESC -

漢字テキスト処理

機　能	コマンド
縦書き指定	FS J
横書き指定	FS K
半角縦書き指定2文字指定	FS D
4倍角指定/解除	FS W
漢字アンダーライン指定/解除	FS -
漢字一括指定	FS !
漢字モード指定	FS &
漢字モード解除	FS .
半角文字指定	FS SI
半角文字解除	FS DC2
1/4角文字指定	FS r
漢字書体選択	FS k
外字定義	FS 2
全角文字スペース量設定	FS S
半角文字スペース量設定	FS T

補助機能

機　能	コマンド
初期化	ESC @
カットシートフィーダ制御	ESC EM
デバイスコントロール1	DC1
デバイスコントロール3	DC3
上位側コントロール解除	ESC 6
上位側コントロール指定	ESC 7
位置揃え指定	ESC a
VFUタブ位置設定	ESC b
VFUチャンネル選択	ESC /
半角文字スペース量補正	FS U
半角文字スペース量補正解除	FS V
データ抹消	CAN
一文字削除	DEL
後退	BS
MSB=0指定	ESC =
MSB=1指定	ESC >
MSBコントロール解除	ESC #

ビットイメージ処理

機　能	コマンド
ビットイメージ選択	ESC *
ビットイメージ変換	ESC ?
8ドット単密度ビットイメージ	ESC K
8ドット倍密度ビットイメージ	ESC L
8ドット倍速倍密度ビットイメージ	ESC Y
8ドット4倍密度ビットイメージ	ESC Z

ESC/Pエミュレーションモードの初期状態

項　目	初期化状態
ページ長	メニューで設定した用紙サイズ
ミシン目スキップ	解除
右マージン	用紙サイズの右端または136桁（10CPIの文字幅による）＊
左マージン	0
改行量	1/6インチ/行
水平タブ位置	8文字毎の水平タブ
垂直タブ位置	無指定
文字ピッチ	10文字/インチ
プロポーショナル	解除
英数カナ文字書体	ローマンまたはサンセリフ*
文字品位	高品位
国際文字選択	日本
文字コード表	カタカナコードまたは拡張グラフィックス*
文字間スペース量	0
文字装飾	解除
縮小	解除
漢字モード	解除
漢字書体	平成明朝体または平成角ゴシック体*
縦書き／横書き	横書き
全角文字／半角文字／1/4角文字	全角文字
全角文字の左右スペース量	左スペース量：0　右スペース量：3（180dpi相当）
半角文字の左右スペース量	左スペース量：0　右スペース量：3（180dpi相当）
1/4角文字の左右スペース量	左スペース量：0　右スペース量：2（180dpi相当）
漢字装飾	解除

＊：メニュー設定によります。

初期化動作の発生条件と範囲を下表に示します。

項　目	I-PRIME受信時 データクリア	「キャンセル」スイッチ
受信バッファ	クリアする	クリアする
入力バッファ（ESC/Pのみ）	クリアする	クリアしない
印刷バッファ（編集中）	クリアする	クリアしない
印刷バッファ（編集済）	クリアする	クリアしない
印刷バッファ（印刷中）	クリアしない	クリアしない
ダウンロード文字定義（ESC/P）	クリアしない	クリアしない
外字定義（ESC/P）	クリアしない	クリアしない
その他の設定	メニュー設定に初期化	メニュー設定に初期化
アラーム	クリアしない	「オンライン」スイッチにて解除できるもののみクリアする。

メモ　工場出荷時の設定ではI-PRIME信号は無視されます。

文字コード表（PostScript3エミュレーションモード）

- ***-83pv-RKSJ-Hは、主にMacintoshで使用します。（***はフォント名）
  -90ms-RKSJ-H、-RKSJ-Hおよび***-Ext-RKSJ-Hは、主にWindowsで使用します。（***はフォント名）
- プリンタの文字コード表にない文字は、出力できなかったり、文字化けするなど、思わぬ結果になることがあります。
- アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションソフトは独自の文字コード表を使用することがあります。
- 漢字コード表は「プリンタソフトウェアCD-ROM」の以下のフォルダにPDFファイルで入っています。
  ［Windows］............ ［MICROLINE］-［DOC］フォルダ
  ［Macintosh］.......... ［MICROLINE］-［漢字コード表］フォルダ
- 各PDFファイルが示すプリンタのフォントは以下のとおりです。

ファイル名（Windows）	ファイル名（Macintosh）	プリンタフォント名
HG-83pv.pdf	HeiseiKakuGo-W5-83pv-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-83pv-RKSJ-H
HG-90ms.pdf	HeiseiKakuGo-W5-90ms-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-90ms-RKSJ-H
HGExRKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-Ext-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-Ext-RKSJ-H
HG-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-RKSJ-H
HM-83pv.pdf	HeiseiMin-W3-83pv-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-83pv-RKSJ-H
HM-90ms.pdf	HeiseiMin-W3-90ms-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-90ms-RKSJ-H
HMExRKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-Ext-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-Ext-RKSJ-H
HM-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-RKSJ-H

欧文標準

Low code / High code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
5	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
6	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
7	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	~	
8																
9																
A		¡	¢	£	⁄	¥	ƒ	§	¤	'	“	«	‹	›	ﬁ	ﬂ
B		–	†	‡	·		¶	•	‚	„	”	»	…	‰		¿
C		`	´	ˆ	˜	¯	˘	˙	¨		˚	¸		˝	˛	ˇ
D	—															
E		Æ		ª					Ł	Ø	Œ	º				
F		æ				ı			ł	ø	œ	ß				

Symbol

Low code (columns) / High code (rows)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	∀	#	∃	%	&	∋	(	)	∗	+	,	−	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	≅	Α	Β	Χ	Δ	Ε	Φ	Γ	Η	Ι	ϑ	Κ	Λ	Μ	Ν	Ο
5	Π	Θ	Ρ	Σ	Τ	Υ	ς	Ω	Ξ	Ψ	Ζ	[	∴	]	⊥	_
6	‾	α	β	χ	δ	ε	φ	γ	η	ι	ϕ	κ	λ	μ	ν	ο
7	π	θ	ρ	σ	τ	υ	ϖ	ω	ξ	ψ	ζ	{	|	}	∼	
8																
9																
A	€	ϒ	′	≤	⁄	∞	ƒ	♣	♦	♥	♠	↔	←	↑	→	↓
B	°	±	″	≥	×	∝	∂	•	÷	≠	≡	≈	…	⏐	⎯	↵
C	ℵ	ℑ	ℜ	℘	⊗	⊕	∅	∩	∪	⊃	⊇	⊄	⊂	⊆	∈	∉
D	∠	∇	®	©	™	∏	√	⋅	¬	∧	∨	⇔	⇐	⇑	⇒	⇓
E	◊	〈	®	©	™	∑	⎛	⎜	⎝	⎡	⎢	⎣	⎧	⎨	⎩	⎪
F		〉	∫	⌠	⎮	⌡	⎞	⎟	⎠	⎤	⎥	⎦	⎫	⎬	⎭	

ZapfDingbats

Low code (columns) / High code (rows)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		✁	✂	✃	✄	☎	✆	✇	✈	✉	☛	☞	✌	✍	✎	✏
3	✐	✑	✒	✓	✔	✕	✖	✗	✘	✙	✚	✛	✜	✝	✞	✟
4	✠	✡	✢	✣	✤	✥	✦	✧	★	✩	✪	✫	✬	✭	✮	✯
5	✰	✱	✲	✳	✴	✵	✶	✷	✸	✹	✺	✻	✼	✽	✾	✿
6	❀	❁	❂	❃	❄	❅	❆	❇	❈	❉	❊	❋	●	❍	■	❏
7	❐	❑	❒	▲	▼	◆	❖	◗	❘	❙	❚	❛	❜	❝	❞	
8	❨	❩	❪	❫	❬	❭	❮	❯	❰	❱	❲	❳	❴	❵		
9																
A		❡	❢	❣	❤	❥	❦	❧	♣	♦	♥	♠	①	②	③	④
B	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼	❽	❾	❿
C	➀	➁	➂	➃	➄	➅	➆	➇	➈	➉	➊	➋	➌	➍	➎	➏
D	➐	➑	➒	➓	➔	→	↔	↕	➘	➙	➚	➛	➜	➝	➞	➟
E	➠	➡	➢	➣	➤	➥	➦	➧	➨	➩	➪	➫	➬	➭	➮	➯
F		➱	➲	➳	➴	➵	➶	➷	➸	➹	➺	➻	➼	➽	➾	

文字コード表（PCLエミュレーションモード）

- アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションは独自の文字コード表を使用することがあります。
- 漢字コード表は「プリンタソフトウェアCD-ROM」の以下のフォルダにPDFファイルで入っています。
  [Windows] .... [MICROLINE]-[DOC]フォルダ
  [Macintosh] .... [MICROLINE]-[漢字コード表]フォルダ
- 各PDFファイルが示すプリンタのフォントは以下のとおりです。

ファイル名（Windows）	ファイル名（Macintosh）	プリンタフォント名
平成角ゴ.pdf	平成角ゴシック.pdf	平成角ゴシック
平成明朝.pdf	平成明朝.pdf	平成明朝

シンボルセット

Roman-8
PC-8
ISO L1
PC-8 Dan/Nor
PC-850
Legal
ISO-2 IRV
ISO-4 UK
ISO-6 ASC
ISO-10 S/F
ISO-11 Swe
ISO-14 JASC
ISO-15 Ita
ISO-16 Por
ISO-17 Spa
ISO-21 Ger
ISO-25 Fre
ISO-57 Chi
ISO-60 Nor
ISO-61 Nor
ISO-69 Fre
ISO-84 Por
ISO-85 Spa
German
Spanish
ISO Dutch
Roman Ext
ISO Swedish1
ISO Swedish2
ISO Swedish3
IBM-437
IBM-850
IBM-860
IBM-863
IBM-865
PC Set1
PC Ext US
PC Ext D/N
PC Set2 US
PC Set2 D/N
VN Math
VN Int'l
VN US
PS Math
PS Text
Math-8
Pi Font
MS Publish
Win 3.0
DeskTop
Win 3.1 L1
MC Text
PC-852
Win 3.1 L5
Win 3.1 L2
CWI Hung
PC-857 TK
ISO L2
ISO L5
PC-8 TK
Kamenicky
Hebrew NC
Hebrew OC
Plska Mazvia
ISO L6
Win 3.1 Cyr
PC-866
Win 3.1 Grk
PC-869
PC-855
Greek-437
Greek-437 Cy
Greek-928
Win 3.1 Heb
Serbo Croat2
Ukrainian
Bulgarian
PC-1004
WIN BALTIC
PC-775
Serbo Croat1
ISO L9
HP ZIP
USPSZIP
USPSFIM
USPSSTP
Wingdings
Symbol
OCR-A
OCR-B
Win3.1J
PC858
Roman-9
Ding MS
Greek-737

標準欧文（PC-8）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		►		0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1	☺	◄	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	ß	±
2	☻	↕	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3	♥	‼	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4	♦	¶	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5	♣	§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6	♠	▬	&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	μ	÷
7	•	↨	'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	◘	↑	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	○	↓	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	Θ	∙
A	◙	→	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	♂	←	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	♀	∟	,	<	L	\	l	|	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	ⁿ
D	♪	↔	-	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	φ	²
E	♫	▲	.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	ε	■
F	☼	▼	/	?	O	_	o	⌂	Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	

Symbol

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	≅	Π	‾	π				°	ℵ	∠	◊	
1			!	1	Α	Θ	α	θ			ϒ	±	ℑ	∇	〈	〉
2			∀	2	Β	Ρ	β	ρ			′	″	ℜ	®	®	∫
3			#	3	Χ	Σ	χ	σ			≤	≥	℘	©	©	⌠
4			∃	4	Δ	Τ	δ	τ			⁄	×	⊗	™	™	⎮
5			%	5	Ε	Υ	ε	υ			∞	∝	⊕	∏	∑	⌡
6			&	6	Φ	ς	φ	ϖ			ƒ	∂	∅	√	⎛	⎞
7			∍	7	Γ	Ω	γ	ω			♣	•	∩	⋅	⎜	⎟
8			(	8	Η	Ξ	η	ξ			♦	÷	∪	¬	⎝	⎠
9			)	9	Ι	Ψ	ι	ψ			♥	≠	⊃	∧	⎡	⎤
A			∗	:	ϑ	Ζ	ϕ	ζ			♠	≡	⊇	∨	⎢	⎥
B			+	;	Κ	[	κ	{			↔	≈	⊄	⇔	⎣	⎦
C			,	<	Λ	∴	λ	|			←	…	⊂	⇐	⎧	⎫
D			−	=	Μ	]	μ	}			↑	⏐	⊆	⇑	⎨	⎬
E			.	>	Ν	⊥	ν	~			→	⎯	∈	⇒	⎩	⎭
F			/	?	Ο	_	ο				↓	↵	∉	⇓	⎪	

Wingdings

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				📁	🖎	🏱	♊	🞐	⓪	❺	▪	⯐	🕙	🙖	🡪	⇨
1			✏	📂	✌	✈	♋	❑	①	❻	○	⌖	🕚	🙐	🡩	⇧
2			✂	📄	👌	☼	♌	❒	②	❼	⭕	✧	🕛	🙑	🡫	⇩
3			✁	🗏	👍	💧	♍	⬧	③	❽	🞆	⌑	⮰	🙒	🡬	⬄
4			👓	🗐	👎	❄	♎	⧫	④	❾	🞈	⯑	⮱	🙓	🡭	⇳
5			🕭	🗄	☜	🕆	♏	◆	⑤	❿	◎	✪	⮲	⌫	🡯	⬁
6			📖	⌛	☞	✞	♐	❖	⑥	🙢	🔿	✰	⮳	⌦	🡮	⬀
7			🕯	🖮	☝	🕈	♑	⬥	⑦	🙠	▪	🕐	⮴	⮘	🡸	⬃
8			☎	🖰	☟	✠	♒	⌧	⑧	🙡	◻	🕑	⮵	⮚	🡺	⬂
9			✆	🖲	✋	✡	♓	⍓	⑨	🙣	🟂	🕒	⮶	⮙	🡹	🢬
A			🖂	🖳	☺	☪	🙰	⌘	⑩	🙞	✦	🕓	⮷	⮛	🡻	🢭
B			🖃	🖴	😐	☯	🙵	❀	⓿	🙜	★	🕔	🙪	⮈	🡼	🗶
C			📪	🖫	☹	ॐ	●	✿	❶	🙝	✶	🕕	🙫	⮊	🡽	✓
D			📫	🖬	💣	☸	❍	❝	❷	🙟	✴	🕖	🙕	⮉	🡿	🗷
E			📬	✇	☠	♈	■	❞	❸	·	✹	🕗	🙔	⮋	🡾	🗹
F			📭	✍	🏳	♉	□		❹	•	✵	🕘	🙗	🡨	⇦	⊞

文字コード表（ESC/Pエミュレーションモード）

ESC/Pに準拠した以下の文字コードをもっています。
文字コードの詳細は、「EPSON ESC/Pリファレンスマニュアル（セイコーエプソン株式会社）」をご覧ください。

カタカナコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			SP	0	@	P	`	p	▁	┴		ー	タ	ミ	＝	╳
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▁	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2		DC2	"	2	B	R	b	r	▂	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3		DC3	#	3	C	S	c	s	▃	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4		DC4	$	4	D	T	d	t	▄	▔	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▅	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▆	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7	BEL		'	7	G	W	g	w	▇	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		-	=	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SO		.	>	N	^	n	~	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	░
F	SI		/	?	O	_	o	DEL	┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
デンマーク１	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペイン１	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマーク２	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペイン２	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

拡張グラフィックスコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			SP	0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	β	±
2		DC2	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3		DC3	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4		DC4	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5		§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6			&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7	BEL		'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	θ	·
A	LF		*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	ŋ
D	CR		−	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	φ	²
E	SO		.	>	N	ˆ	n	˜	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	ε	■
F	SI		/	?	O	_	o	DEL	Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	

	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	ˆ	`	{	¦	}	˜
フランス	#	$	à	°	ç	§	ˆ	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	ˆ	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	\	]	ˆ	`	{	¦	}	˜
デンマーク1	#	$	@	Æ	Ø	Å	ˆ	`	æ	ø	å	˜
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	\	é	ˆ	ù	à	ò	è	ì
スペイン1	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	ˆ	`	¨	ñ	}	˜
日本	#	$	@	[	¥	]	ˆ	`	{	¦	}	˜
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマーク2	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペイン2	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

消耗品・メンテナンスユニット・オプション一覧

これらの消耗品、メンテナンスユニット、オプションは、お近くの販売店でお求めください。

品　名	型　名	内　容
A4用紙	ML PAPER(A4)	500枚包×5包/1箱
B5用紙	ML PAPER(B5)	500枚包×5包/1箱
トナーカートリッジ	TNR-M4A	トナーカートリッジ LEDレンズクリーナ クリーニングペーパ
イメージドラムカートリッジ　※	ID-M4A	イメージドラムカートリッジ
拡張給紙ユニット	MLTRY-M4A	拡張給紙ユニット
マルチパーパスフィーダ	MLMPF01	マルチパーパスフィーダ
プリントジョブアカウンティング	MLSFT-PJA01	

※ イメージドラムカートリッジ交換時には、トナーカートリッジも交換が必要です。

- トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。(純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。)
- トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジは、開封後1年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品を準備してください。
- ご使用になるまで、開封しないでください。
- 直射日光をさけ、温度 : 0～35˚C、湿度 : 20～85%RH範囲にある場所で保管してください。
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化したりする場所では保管しないでください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。
- 用紙の保管方法は、セットアップ編を参照してください。

プリントジョブアカウンティングの使用について

- オプションのプリントジョブアカウンティングが必要です。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバでプリントジョブアカウンティング機能を使用するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

プリンタがプリントジョブアカウンティングに追加されている場合は、メニューマップ印刷で「JobAccounting：ON」と印刷されます。

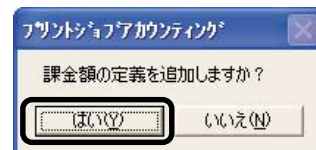
最大登録可能なユーザID数、および最大保存可能ログ数

ユーザIDの最大登録可能数およびログの最大保存可能数は以下のとおりです。ただし、ユーザIDとログは保存領域が同じため、両方の最大値まで保存できるわけではありません。

登録可能ユーザID数	保存可能ログ数
5000ID	約280ログ

課金額の定義の追加

ML22NRの各消耗品の標準価格と寿命枚数から算出した課金額の定義を追加するには、プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアがインストールされているコンピュータで以下を行ってください。課金額の設定方法は「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

❶ プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアが起動していたら終了します。

❷ 「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ [スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選択します。

❹ [名前]に「D:¥UTILITY¥PRINTJA¥CPADD」(CD-ROMドライブがD:のとき)を入力し、[OK]をクリックします。

❺ 確認画面で[はい]をクリックします。

❻ 完了画面で[はい]をクリックします。

❼ プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアを起動します。

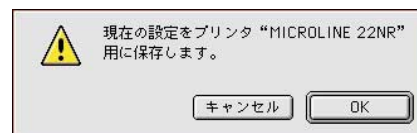
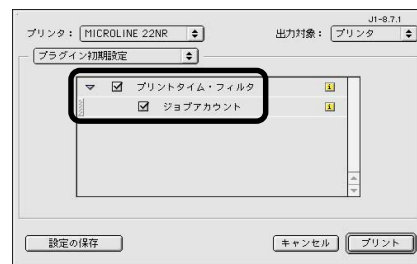
❽ [プリンタ]メニューから[課金額の定義]を選択します。

❾ 課金額の定義一覧に「22N/22NR」が追加されていることを確認します。

Macintoshでのユーザ名、ユーザIDの設定方法

Macintoshプリンタドライバ、Mac OS Xプリンタドライバでのユーザ名、ユーザIDの設定方法です。Windowsプリンタドライバでの設定方法は、「プリントジョブアカウンティング ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

- ML22NRでは、Macintoshでのユーザ名、ユーザIDの設定方法が「プリントジョブアカウンティング ユーザーズマニュアル」に記述された方法と異なります。
- 設定しないで印刷した場合、ユーザ名は空白、ユーザIDは0でログに残ります。
- Mac OS X PSプリンタドライバはユーザ名、ユーザIDを設定することができません。ユーザ名はログイン名(Mac OS X 10.2未満では空白)、ユーザIDは0でログに残ります。

Macintosh PSプリンタドライバ

❶ [ファイル]メニューの[デスクトップのプリント]を選択します。

❷ [プラグイン初期設定]パネルで[プリントタイム・フィルタ]と[ジョブアカウント]にチェックを付けます。

❸ [ジョブアカウント]パネルでユーザ名、ユーザIDを設定し、[設定の保存]をクリックします。

❹ [OK]をクリックします。

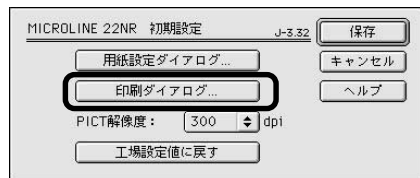
❺ [キャンセル]をクリックし、ダイアログを閉じます。

Macintosh PCLプリンタドライバ

❶ [アップル]メニューの[セレクタ]を選択します。

❷ [ML22NR(USB)]アイコンをクリックします。

❸ 右側のボックスからプリンタ名を選択し、[設定]をクリックします。

❹ [印刷ダイアログ]をクリックします。

❺ [ジョブアカウント]パネルでユーザ名、ユーザIDを設定し、[設定]をクリックします。

❻ [保存]をクリックし、セレクタを閉じます。

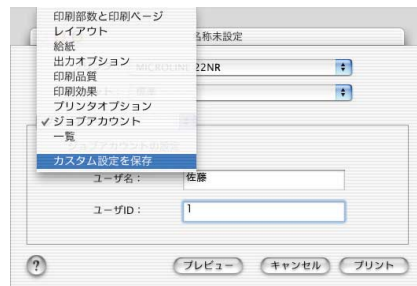
Mac OS X PCLプリンタドライバ

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [ジョブアカウント]パネルでユーザ名、ユーザIDを設定します。

ユーザ名は半角および全角で40文字以内にしてください。

❹ Mac OS X 10.1.5以前の場合は、[カスタム設定を保存]を選択します。

Mac OS X 10.2以降の場合は、[プリセット]で[別名で保存]を選択し、「プリセットを保存」画面で適当な設定名を入力し、[OK]をクリックします。

❺ [キャンセル]をクリックします。

印刷時に[プリセット]で保存した設定名(Mac OS X 10.1.5以前の場合は[カスタム])を選択してください。

索　引

索引

記号

A

B

D

E

F

G

H

I

J

L

う

え

お

か

き

く

索引

索引

索引

て

と

に

ね

は

ひ

索引

り

れ

ろ

わ

オキページプリンタ

MICROLINE 22NR

ユーザーズマニュアル（応用編）

発行日　2007年 3月　第4版
発行者　株式会社 沖データ

42871901EE